

FUJIFILM

DIGITAL CAMERA

X-A7

使用説明書

はじめに

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき、ありがとうございます。ご使用前に、この使用説明書をよくお読みの上、正しくご使用ください。お読みになったあとは、いつでも見られるように大切に保管してください。

最新情報について

本製品の最新の使用説明書はこちらをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/ja/manual/>



上記サイトでは、最新情報の使用説明書が用意されており、カラーの作例などもご用意しています。また、スマートフォンやタブレットからのアクセスも可能となっていますので、是非アクセスしてみてください。ソフトウェアのライセンスに関する情報も記載しています。



本製品のファームウェア更新情報はこちらをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/>



章目次


メニュー一覧	iv
1 このカメラの概要	1
2 撮影の準備	19
3 基本的な撮影と再生	33
4 動画の撮影と再生	39
5 撮影に関する設定	45
6 撮影メニュー	91
7 画像の再生と再生メニュー	129
8 セットアップメニュー	151
9 ショートカット機能	173
10 オプション品・外部機器の使い方	181
11 他機器との接続	187
12 資料	199




メニュー一覧

このカメラで使用できるメニューの一覧です。

撮影メニュー

撮影時に使用できるメニューです。


 設定方法の詳細は撮影メニューをご覧ください (📖 91)。

 画質設定		 フォーカス設定		
1 ²	画像サイズ	92	フォーカスエリア選択	102
	画質モード	93	フォーカスモード	102
	フィルムシミュレーション	94	AFモード	103
	美肌レベル	95	フォーカス点数切り替え	104
	ブライトモード	95	プリ AF	104
	ダイナミックレンジ	96	AF 補助光	104
	ホワイトバランス	97	顔検出 / 瞳 AF 設定	105
	ハイライトトーン	100	AF+MF	106
2 ²	シャドウトーン	100	MF アシスト	106
	カラー	100	フォーカスチェック	107
	シャープネス	100	測光&フォーカスエリア連動	107
	ノイズリダクション	101	レリーズ優先 / フォーカス優先	107
	長秒時ノイズ低減	101	タッチパネルモード	107
	色空間	101		

📷 撮影設定		📖
	シーン選択	108
	アドバンスフィルター	109
	セルフタイマー	110
	インターバルタイマー撮影	111
1/2	タイムラプス動画モード	113
	AE ブラケティング設定	114
	フィルムシミュレーション BKT	115
	ライトトレイル撮影設定	116
	測光	116
	シャッター方式	117
	ブレ防止モード	118
2/2	感度	118
	マウントアダプター設定	120
	タッチズーム	122
	ワイヤレス通信	122
📹 動画設定		📖
	動画モード	124
	HD ハイスピード撮影	125
	カウントダウン動画	125
1/2	📷 フォーカスモード	126
	動画 AF モード	126
	電子式手ブレ補正	126
	📷 感度	127
	HDMI 出力情報表示	127
	4K 映像出力先	127
2/2	HDMI レックコントロール	128
	マイクレベル設定	128
	マイク / リモートリリース設定	128
📷 フラッシュ設定		📖
	フラッシュモード	123
	フラッシュ調光補正	123
	赤目補正	123

再生メニュー

再生時に使用できるメニューです。

 詳細は再生メニューをご覧ください (📖 135)。

再生メニュー		📖
1/2	RAW 現像	135
	消去	137
	トリミング	139
	リサイズ	140
	プロテクト	141
	画像回転	142
	赤目補正	143
	画像転送予約	144

再生メニュー		📖
2/2	ワイヤレス通信	145
	スライドショー	145
	フォトブックアシスト	146
	PC 保存	147
	プリント予約 (DPOF)	148
	instax プリンタープリント	149
	表示比率	150

セットアップメニュー

カメラの基本的な設定や表示などを変更するメニューです。

 設定方法の詳細はセットアップメニューをご覧ください (P.151)。

基本設定 		操作ボタン設定 		
	フォーマット	152	フォーカスレバー設定	162
	日時設定	153	クイックメニュー登録 / 編集	163
	世界時計	153	ファンクション (Fn) 設定	164
	 言語/LANG.	154	レンズなしリリース	165
	センサークリーニング	154	フォーカスリング	165
	電子音 & フラッシュ	154	タッチパネル設定	165
	リセット	155		
音設定 		消費電力設定 		
	AF 合焦音量	156	自動電源 OFF	166
	セルフタイマー音量	156	パフォーマンス	166
	操作音量	156		
	シャッター音量	157	保存設定 	
	シャッター音	157	コマ NO.	167
	再生音量	157	処理前画像記録	168
			ファイル名編集	168
			日付書き込み	168
表示設定 		接続設定 		
	LCD 明るさ	158	Bluetooth 設定	169
	LCD 鮮やかさ	158	PC 保存	170
	撮影画像表示	158	instax プリンター接続設定	171
	マニュアル時モニター露出 /		USB 画像転送設定	171
1/2	WB 反映	159	共通設定	172
	ナチュラルライブビュー	159	情報表示	172
	フレーミングガイド	160	ワイヤレス設定初期化	172
	縦横自動回転再生	160		
	距離指標の単位	160		
2/2	画面のカスタマイズ	161		






目次

はじめに	ii
最新情報について	ii
章目次	iii
メニュー一覧	iv
撮影メニュー	iv
再生メニュー	vi
セットアップメニュー	vii
目次	viii
付属品一覧	xvi
本書について	xvii
本書で使われている記号について	xvii
画面のイラストや写真について	xvii
表記について	xvii

1 このカメラの概要 1

カメラの各部名称と機能	2
モードダイヤル	4
フォーカスレバー	5
DRIVE ボタン	5
コマンドダイヤル	6
インジケーターランプ	7
液晶モニター	7
撮影時の表示画面	8
通常モードの撮影画面	8
タッチメニュー画面	10
LCDの明るさ・鮮やかさ調整	11
情報表示の切り替え	11
「スタンダード」画面の表示について	12
メニューの使い方	14
タッチ操作について	15
撮影時のタッチ操作について	15
タッチ操作による再生	18

2	撮影の準備	19
	ショルダーストラップを取り付ける.....	20
	レンズを取り付ける.....	21
	バッテリーとメモリーカードを入れる.....	22
	使用可能なメモリーカード.....	25
	バッテリーを充電する.....	26
	電源をオンにする / オフにする.....	28
	バッテリー残量の表示.....	29
	初期設定を行う.....	30
	言語を変更する.....	32
	日時を変更する.....	32
3	基本的な撮影と再生	33
	静止画を撮影する.....	34
	静止画を再生する.....	36
	画像を消去する.....	37
4	動画の撮影と再生	39
	動画を撮影する.....	40
	動画の設定について.....	42
	動画を再生する.....	43
5	撮影に関する設定	45
	モードダイヤルで撮影モードを変更.....	46
	 (アドバンスド SR オート).....	46
	P (プログラム).....	47
	S (シャッタースピード優先).....	48
	A (絞り優先).....	50
	M (マニュアル).....	51
	 (パノラマ).....	54
	SP (シーンポジション) / 	57
	Adv. (アドバンスドフィルター).....	60
	オートフォーカスに関する設定.....	62
	フォーカスモード.....	63
	AF モードの選択.....	65
	フォーカスエリアの変更.....	67
	マニュアルフォーカス撮影.....	71
	ピントの確認方法.....	72

露出補正	73
AE/AF ロック撮影	74
ファンクションボタンによる AE/AF ロック	74
ホワイトバランス	75
ホワイトバランスの設定	76
カスタムホワイトバランス	77
K 色温度を設定する	78
セルフタイマー	79
2 秒後撮影 /10 秒後撮影	80
フェイスオートシャッター	80
スマイル撮影	81
カップルタイマー撮影	81
グループタイマー撮影	82
ブラケット撮影	83
AE ブラケット撮影	84
ISO ISO ブラケット撮影	84
F フィルムシミュレーション BKT	84
WB ホワイトバランス BKT	84
DR ダイナミックレンジ BKT	85
HDR HDR	85
連続撮影 (連写)	86
フラッシュ撮影	88
自分撮り (セルフイー)	90

6 撮影メニュー 91

撮影メニュー (画質設定)	92
画像サイズ	92
画質モード	93
フィルムシミュレーション	94
美肌レベル	95
ブライトモード	95
ダイナミックレンジ	96
ホワイトバランス	97
ハイライトトーン	100
シャドウトーン	100
カラー	100
シャープネス	100

ノイズリダクション.....	101
長秒時ノイズ低減.....	101
色空間.....	101
撮影メニュー（フォーカス設定）.....	102
フォーカスエリア選択.....	102
フォーカスモード.....	102
AFモード.....	103
フォーカス点数切り替え.....	104
プリ AF.....	104
AF 補助光.....	104
顔検出 / 瞳 AF 設定.....	105
AF+MF.....	106
MF アシスト.....	106
フォーカスチェック.....	107
測光 & フォーカスエリア連動.....	107
リリース優先 / フォーカス優先.....	107
タッチパネルモード.....	107
撮影メニュー（撮影設定）.....	108
シーン選択.....	108
アドバンストフィルター.....	109
セルフタイマー.....	110
インターバルタイマー撮影.....	111
タイムラプス動画モード.....	113
AE ブラケットティング設定.....	114
コマ数 / ステップ数設定.....	114
1 コマ / 連続.....	114
撮影順序設定.....	114
フィルムシミュレーション BKT.....	115
ライトトレイル撮影設定.....	116
最長露光時間設定.....	116
リリース操作.....	116
測光.....	116
シャッター方式.....	117
ブレ防止モード.....	118
感度.....	118
マウントアダプター設定.....	120
タッチズーム.....	122
ワイヤレス通信.....	122

撮影メニュー（フラッシュ設定）.....	123
フラッシュモード.....	123
フラッシュ調光補正.....	123
赤目補正.....	123
撮影メニュー（動画設定）.....	124
動画モード.....	124
HD ハイスピード撮影.....	125
カウントダウン動画.....	125
📷 フォーカスモード.....	126
動画 AF モード.....	126
電子式手ブレ補正.....	126
📷 感度.....	127
HDMI 出力情報表示.....	127
4K 映像出力先.....	127
HDMI レックコントロール.....	128
マイクレベル設定.....	128
マイク/リモートリリース設定.....	128

7 画像の再生と再生メニュー 129

再生時の表示画面.....	130
情報表示の切り替え.....	131
再生方法.....	133
再生ズーム.....	134
マルチ再生.....	134
再生メニュー.....	135
RAW 現像.....	135
消去.....	137
トリミング.....	139
リサイズ.....	140
プロテクト.....	141
画像回転.....	142
赤目補正.....	143
画像転送予約.....	144
ワイヤレス通信.....	145
スライドショー.....	145
フォトブックアシスト.....	146
PC 保存.....	147

プリント予約 (DPOF).....	148
instax プリンタープリント.....	149
表示比率.....	150
8 セットアップメニュー	151
セットアップメニュー (基本設定)	152
フォーマット.....	152
日時設定.....	153
世界時計.....	153
🗣️ 言語/LANG.....	154
センサークリーニング.....	154
電子音 & フラッシュ.....	154
リセット.....	155
セットアップメニュー (音設定)	156
AF 合焦音量.....	156
セルフタイマー音量.....	156
操作音量.....	156
シャッター音量.....	157
シャッター音.....	157
再生音量.....	157
セットアップメニュー (表示設定)	158
LCD 明るさ.....	158
LCD 鮮やかさ.....	158
撮影画像表示.....	158
マニュアル時モニター露出 /WB 反映.....	159
ナチュラルライブビュー.....	159
フレーミングガイド.....	160
縦横自動回転再生.....	160
距離指標の単位.....	160
画面のカスタマイズ.....	161
セットアップメニュー (操作ボタン設定)	162
フォーカスレバー設定.....	162
クイックメニュー登録 / 編集.....	163
ファンクション (Fn) 設定.....	164
レンズなしリリース.....	165
フォーカスリング.....	165
タッチパネル設定.....	165

セットアップメニュー（消費電力設定）.....	166
自動電源 OFF	166
パフォーマンス	166
セットアップメニュー（保存設定）.....	167
コマ NO.....	167
処理前画像記録	168
ファイル名編集	168
日付書き込み	168
セットアップメニュー（接続設定）.....	169
Bluetooth 設定	169
PC 保存	170
instax プリンター接続設定	171
USB 画像転送設定	171
共通設定	172
情報表示	172
ワイヤレス設定初期化	172

9 ショートカット機能 173

ショートカット機能について	174
クイックメニュー	175
クイックメニュー画面	175
設定の確認と変更	176
クイックメニューの割り当て変更	177
ファンクションボタン	178
タッチボタンファンクション	179

10 オプション品・外部機器の使い方 181

交換レンズ	182
レンズの各部名称	182
電動ズームレンズについて	183
レンズキャップの取り外し方	183
レンズフード付きのレンズについて	184
絞りリング付きレンズについて	184
手ブレ補正対応レンズについて	185
フォーカスリングの移動により MF 撮影が可能なレンズについて	185
交換レンズのお手入れ	186

11 他機器との接続	187
HDMI 出力.....	188
HDMI 機器との接続.....	188
撮影画面の出力.....	189
再生画面の出力.....	189
無線通信で接続 (Bluetooth®/ 無線 LAN (Wi-Fi)).....	190
スマートフォンと通信する (FUJIFILM Camera Remote)	190
パソコンに画像を保存する (FUJIFILM PC AutoSave)	192
USB ケーブルで接続.....	193
パソコンと接続.....	193
メモリーカードに撮影した画像を転送する.....	195
スマートフォンと接続.....	195
instax SHARE プリンターと接続.....	197
プリンターとの接続を設定する.....	197
画像をプリントする.....	198
12 資料	199
カメラで使えるアクセサリ.....	200
別売アクセサリ.....	200
カメラで使えるソフトウェア.....	202
FUJIFILM Camera Remote.....	202
FUJIFILM PC AutoSave.....	202
Capture One Express Fujifilm.....	202
RAW FILE CONVERTER EX.....	202
お取り扱いにご注意ください.....	203
お手入れについて.....	217
センサークリーニング.....	218
ファームウェア更新情報.....	219
ファームウェアバージョンの確認方法.....	219
トラブルシューティング/FAQ.....	220
警告表示.....	229
標準撮影枚数 / 記録時間.....	233
主な仕様.....	234
索引.....	239
ソフトウェアのお問い合わせ.....	244
アフターサービスについて.....	245

付属品一覧

ご使用前に箱の中の付属品がすべてそろっているかを確認してください。

- 充電式バッテリー NP-W126S (1 個)
- ボディキャップ (1 個)
- USB ケーブル (1 本)
- ϕ 3.5mm マイク用変換アダプター (1 個)
- ショルダーストラップ (1 本)
- 使用説明書 (基本操作編)
- 保証書 (1 部)






- レンズキットをお買い上げいただいたときは、交換レンズが付属していることをご確認ください。
- ϕ 3.5mm マイク用変換アダプターはマイク使用時などに ϕ 3.5mm から ϕ 2.5mm に変換できます。

本書について

この説明書には、富士フイルムデジタルカメラ X-A7 の使い方がまとめられています。内容をご理解の上、正しくご使用ください。

本書で使われている記号について

-  カメラを使用するときに、故障などを防ぐために注意していただきたいことを記載しています。
-  カメラを使用するにあたって知っておくと便利なこと、参考になることを記載しています。
-  参照ページを記載しています。

画面のイラストや写真について

- 本書では、画面の表示を簡略化して記載しています。
- 本書に掲載している写真は、機能を説明するためのもので、実際の機種で撮影したものとは限りません。

表記について

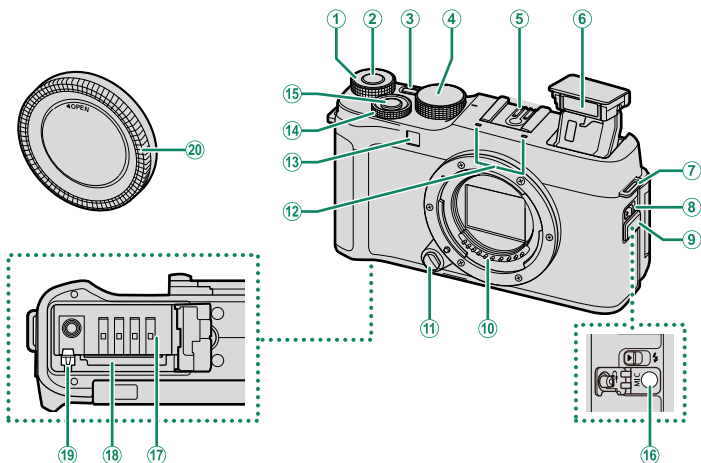
- このカメラでは、市販の SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードをお使いになれます。本書では、これらのカードを総称して「メモリーカード」と表記します。
- 本書では、液晶モニターを「LCD」と表記する場合があります。


このカメラの概要

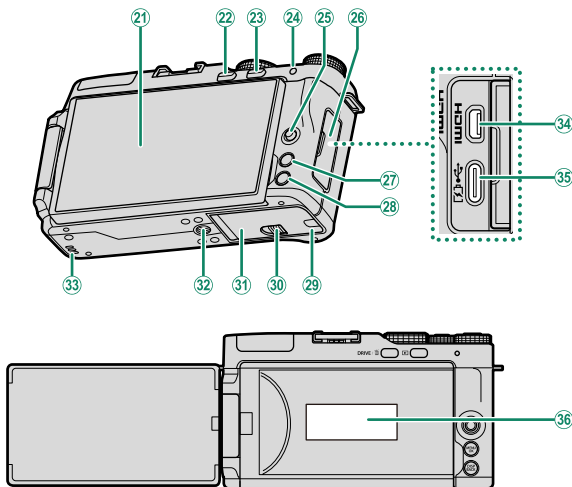


カメラの各部名称と機能

カメラの各部の名称は以下のとおりです。



① リアコマンドダイヤル.....	6	⑫ マイク.....	40
② Fn1 ボタン.....	178	⑬ AF 補助光ランプ.....	34、104
③ ON/OFF (電源) ボタン.....	28	セルフタイマーランプ.....	79、110
④ モードダイヤル.....	4、34、46	⑭ フロントコマンドダイヤル.....	6
⑤ ホットシュー.....	89、201	⑮ シャッターボタン.....	35
⑥ フラッシュ.....	88、123	⑯ マイク/リモートリリース端子 (φ 2.5)	
⑦ ストラップ取り付け部.....	20	40、49、53
⑧  (フラッシュポップアップ) スイッチ	88	⑰ バッテリー挿入部.....	22
⑨ 端子カバー.....	40、49、53	⑱ メモリーカードスロット.....	22
⑩ レンズ信号接点.....	21、182	⑲ バッテリー取り外しつまみ.....	24
⑪ レンズ取り外しボタン.....	21	⑳ ボディキャップ.....	21

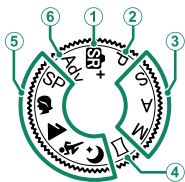


- | | |
|--|---|
| ②① バリアングル式液晶モニター (LCD)7、8 | ②⑧ DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン 11、131 |
| タッチパネル15、107、165 | ②⑨ DC カブラーカバー |
| ②② DRIVE ボタン5、83、86 | ③⑦ パッケージロック22 |
| ☒ (消去) ボタン (再生時)37 | ③⑧ パッケージカバー22 |
| ②③ ▶ (再生) ボタン36 | ③② 三脚用ねじ穴 |
| ②④ インジケータランプ 7 | ③③ スピーカー43、157 |
| ②⑤ フォーカスレバー 5 | ③④ HDMI マイクロ端子 (Type D)188 |
| ②⑥ 端子カバー26、188 | ③⑤ USB 端子 (Type C)26、193 |
| ②⑦ MENU/OK (メニュー / 決定) ボタン
.....14、91、135、151 | ③⑥ 銘板プレート 下記参照 |

! 銘板プレートには FCC ID、KC マーク、CMIIT ID、シリアル番号などが印刷されていますので取り外さないでください。

モードダイヤル

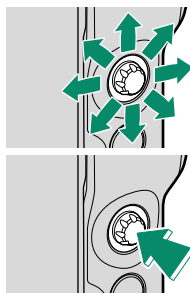
モードダイヤルを回して、使用するモードアイコンを指標に合わせて、撮影モードを設定できます。





モードダイヤル	内容	📖
① Adv+ (アドバンストSRオート)	カメラが撮影シーンに合わせて、自動で最適な撮影モードを設定して撮影できます。	46
② P (プログラム)	プログラムシフトができるオートモードです。	47
③ S (シャッタースピード優先) A (絞り優先) M (マニュアル)	シャッタースピードや絞り値を自分で設定して撮影できます。	48 50 51
④ □ (パノラマ)	カメラを動かしながら撮影した複数の画像を合成し、高画質な1枚のパノラマ写真を作成します。	54
⑤ SP (シーンポジション) 📷/▲/🌄/🌅	いろいろな撮影シーンに合わせて、カメラの設定を最適な状態にするシーンポジションを選択できます。	57
⑥ Adv. (アドバンストフィルター)	さまざまなフィルター効果を加えて撮影できます。	60

フォーカスレバー

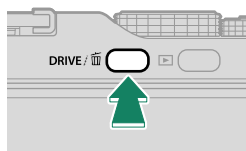
フォーカスレバーを八方向に動かしたり、中央を押したりしてフォーカスエリアを設定できます。メニューを表示しているときは、メニュー項目の選択に使用できます。














 フォーカスレバーの設定は、 **操作ボタン設定** > **フォーカスレバー設定** で変更できます (📖 162)。

DRIVE ボタン

DRIVE ボタンを押すと、ドライブモード選択画面が表示され、ドライブモードを変更できます。



ドライブモード		
	1 コマ撮影	46
	連写	86
	AE ブラケットング	84
	ISO ブラケットング	84
	フィルムシミュレーション BKT	84

ドライブモード		
	ホワイトバランス BKT	84
	ダイナミックレンジ BKT	85
	HDR	85
	動画	40

コマンドダイヤル

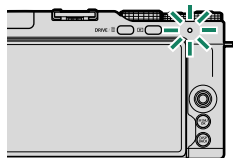
フロントコマンドダイヤルまたはリアコマンドダイヤルの回転で、以下の操作ができます。




	フロントコマンドダイヤル	リアコマンドダイヤル
撮影時	<ul style="list-style-type: none">プログラムシフト絞り値の変更シャッタースピードの変更	<ul style="list-style-type: none">シャッタースピードの変更露出補正
メニュー操作時	メニュータブ、ページの切り替え	メニュー項目の選択
Qメニュー操作時	クイックメニューの設定値を変更	
再生時	前後の画像を表示	<ul style="list-style-type: none">画像を再生ズーム画像をマルチ再生

インジケータランプ


インジケータランプの色や点灯 / 点滅で、カメラの状態がわかります。

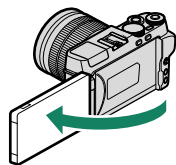




インジケータランプ	カメラの状態
緑色点灯	被写体にピントが合っています。
緑色点滅	AF 警告、シャッター低速警告です（撮影できます）。
緑と橙色の交互点滅	電源オン時：メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できます）。 電源オフ後：画像をスマートフォンに転送しています（転送予約した画像がある場合）。
橙色点灯	メモリーカードに画像を記録しています（続けて撮影できません）。
橙色点滅	フラッシュ充電中です（フラッシュは発光しません）。
赤色点滅	画像記録異常、またはレンズ異常です。

 画面にも、警告表示が表示されます。

液晶モニター

液晶モニターの向きや角度を調整して撮影できます。自分撮り（セルフイー）を行うときに便利です（ 90）。液晶モニターを動かすときは、指などが挟まらないようにご注意ください。



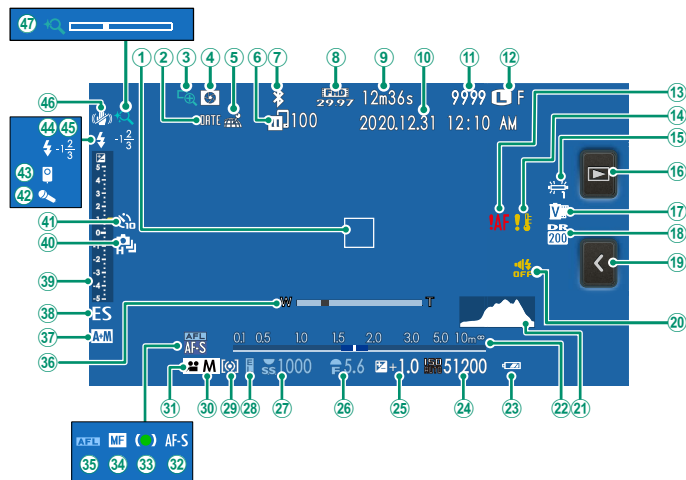
 液晶モニターはタッチパネルとして操作できます（ 15）。

撮影時の表示画面

撮影時は、液晶モニターの表示を通常モードとタッチメニューに切り替えることができます。

❗ 説明のため情報はすべて表示しています。

通常モードの撮影画面



① AF フレーム.....	67、74	②④ ISO 感度.....	118
② 日付書き込み.....	168	②⑤ 露出補正.....	73
③ フォーカスチェック.....	72、107	②⑥ 絞り値.....	47、50、51
④ 被写界深度確認.....	50	②⑦ シャッタースピード*.....	47、48、51
⑤ 位置情報取得状態.....	172	②⑧ AE ロック.....	74
⑥ 画像転送状況.....	144	②⑨ 測光モード.....	116
⑦ Bluetooth ON/OFF.....	169	③⑩ 撮影モード.....	4、46
⑧ 動画モード*.....	40、124	③⑪ 動画モード.....	5、40
⑨ 動画撮影の残り時間.....	40	③⑫ フォーカスモード.....	63
⑩ 日付・時刻.....	30、153	③⑬ 合焦マーク.....	64
⑪ 撮影可能枚数* ¹	233	③⑭ マニュアルフォーカス.....	71
⑫ 画像サイズ.....	92	③⑮ AF ロック.....	74
画質モード.....	93	③⑯ 電動ズームバー.....	35
⑬ AF 警告.....	35	③⑰ AF+MF.....	106
⑭ 温度警告.....	232	③⑱ シャッター方式.....	117
⑮ ホワイトバランス.....	75、97	③⑲ 露出補正ゲージ.....	51、73
⑯ 再生モード* ²	36	④⑰ 連写モード.....	86
⑰ フィルムシミュレーション.....	94	④⑱ セルフタイマー.....	79、110
⑱ ダイナミックレンジ.....	96	④⑲ マイク.....	40
⑲ タッチメニューボタン* ³	10	④⑲ リモートレリーズ.....	49、53
⑳ 電子音 & フラッシュ.....	154	④⑲ フラッシュモード*.....	88、123
㉑ ヒストグラム.....	13	④⑲ 調光補正.....	88、123
㉒ 距離指標バー.....	72	④⑲ プレ防止.....	118
㉓ バッテリー残量表示.....	29	④⑲ タッチズーム* ⁴	17

*¹ 撮影可能枚数が 9999 枚以上でも「9999」と表示されます。

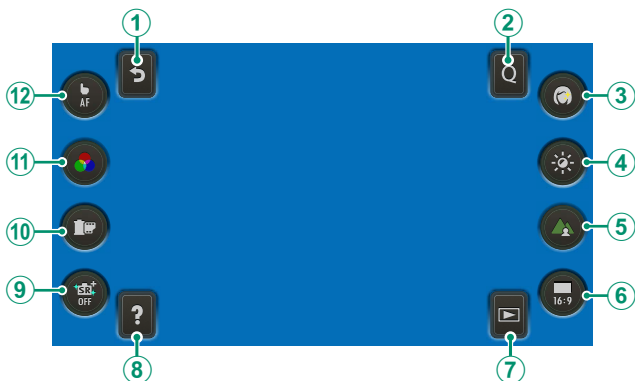
*² タッチすると、再生モードになります（自分撮り（セルフイー）時）。

*³ タッチすると、タッチメニューの画面になります（見 10）。


*⁴ デジタルズームが設定できます。

タッチメニュー画面

タッチメニュー画面では、タッチ操作による設定ができます。



タッチボタン	意味
① 戻る	通常モードの撮影画面に戻ります (8)。
② Qメニュー	Qメニューで割り当てられている機能を表示します (175)。
③ 美肌レベル	美肌効果のレベルを変更できます (95)。
④ 露出補正	画像の明るさを調整できます (73)。
⑤ ボケ調整 (絞り)	背景のボケ具合を調整できます。
⑥ 画像アスペクト	撮影画像の縦横比を切り替えます。
⑦ 再生モード	再生モードに切り替えます (36)。
⑧ ヘルプ	各ファンクションボタンの説明を表示します。
⑨ ブライトモード	ブライトモードの ON/OFF を切り替えます。
⑩ T.B. Fn2 ボタン	操作ボタン設定 > ファンクション (Fn) 設定 で割り当てた機能を表示します (179)。
⑪ T.B. Fn1 ボタン	
⑫ タッチパネルモード	タッチパネルモード (ショット / AF / エリア選択 / OFF) を変更します (15)。

 画像アスペクト (6) は、タッチするごとに画像の縦横比 (1 : 1、3 : 2、4 : 3、16 : 9) が切り替わります。

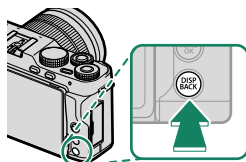
LCD の明るさ・鮮やかさ調整

屋外で使用するときは、太陽光などの影響によって画面が見えにくくなる場合があります。その場合は、**表示設定 > LCD 明るさ、LCD 鮮やかさ**で液晶モニター（LCD）の明るさや鮮やかさを調整します。

撮影画面では DISP/BACK ボタンを長押しすると LCD 明るさが +5 に設定され、LCD 明るさの設定画面が表示されます。

情報表示の切り替え

撮影モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。



スタンダード



情報表示なし



「スタンダード」画面の表示について

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目は、**表示設定 > 画面のカスタマイズ**で選択できます。

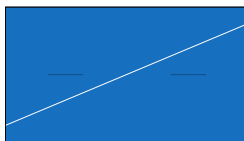
- 1 **DISP/BACK** ボタンを押して、「スタンダード」画面に切り替えます。
- 2 セットアップメニューから **表示設定 > 画面のカスタマイズ** を選びます。
- 3 表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
画面に表示される項目には、**✓** が表示されています。**✓** が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

表示項目	工場出荷時	表示項目	工場出荷時
フレーミングガイド	<input type="checkbox"/>	シャッター方式	<input checked="" type="checkbox"/>
電子水準器	<input type="checkbox"/>	フラッシュ	<input checked="" type="checkbox"/>
AF フレーム	<input checked="" type="checkbox"/>	連写モード	<input checked="" type="checkbox"/>
AF 時の距離指標	<input type="checkbox"/>	ブレ防止	<input checked="" type="checkbox"/>
MF 時の距離指標	<input checked="" type="checkbox"/>	ホワイトバランス	<input type="checkbox"/>
ヒストグラム	<input type="checkbox"/>	フィルムシミュレーション	<input type="checkbox"/>
撮影モード	<input checked="" type="checkbox"/>	ダイナミックレンジ	<input checked="" type="checkbox"/>
絞り/シャッター速度/ISO	<input checked="" type="checkbox"/>	撮影可能枚数	<input checked="" type="checkbox"/>
情報表示背景	<input type="checkbox"/>	画像サイズ & 画質モード	<input type="checkbox"/>
露出補正表示	<input type="checkbox"/>	動画モード & 録画時間	<input checked="" type="checkbox"/>
露出補正ゲージ	<input checked="" type="checkbox"/>	画像転送予約	<input checked="" type="checkbox"/>
フォーカスモード	<input type="checkbox"/>	バッテリー残量表示	<input type="checkbox"/>
測光	<input type="checkbox"/>		

- 4 各項目を設定し、**DISP/BACK** ボタンを押します。
設定が保存されます。
- 5 **DISP/BACK** ボタンを押して撮影画面に戻り、表示内容を確認してください。

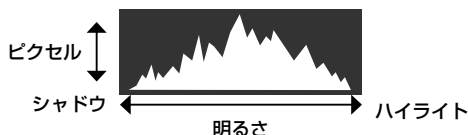
電子水準器について

カメラの傾きを感知して表示します。三脚設置時など、カメラを水平にしたいときは、2本の線が重なるよう、カメラの傾きを調整してください。カメラのレンズ面を上下に向けたときは、表示が消えることがあります。

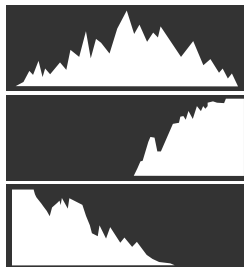


ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ / 縦軸：ピクセル数）に表したものです。被写体によってグラフ形状は異なります。



- **適正露出の場合**：全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。
- **露出オーバーの場合**：ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。
- **露出アンダーの場合**：シャドウのピクセル数が多く、左に偏ります。



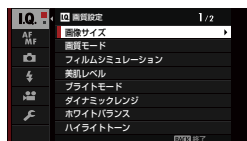
メニューの使い方

MENU/OK ボタンを押すと、メニューが表示されます。

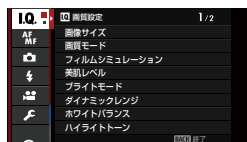


使用するメニュータブへの移動は以下の手順で行います。

1 MENU/OK ボタンを押して、メニューを表示します。



2 フォーカスレバーを左に動かしてタブ選択に移ります。



タブ

3 フォーカスレバーで使用する項目のメニュータブ (IQ/AF/MF/📷/📷/📷/📷/📷/📷) を選びます。

4 フォーカスレバーを右に動かしてメニューに戻ります。

- メニュー操作はタッチ操作でも行えます。
- メニュー画面表示中は、フロントコマンドダイヤルでタブ、ページの切り替え、リアコマンドダイヤルで項目の選択ができます。

タッチ操作について

このカメラでは、液晶モニター（LCD）をタッチパネルとして使用できます。

撮影時のタッチ操作について

タッチ操作による撮影設定の変更

撮影の設定をタッチ操作で行うときは、タッチメニュー画面にします。通常モードの撮影画面でタッチメニューボタンをタッチすると、タッチメニュー画面になります。







タッチ操作による撮影

タッチ操作で静止画を撮影したり、フォーカスエリアを変更したりすることができます。タッチメニューのタッチパネルモードをタッチするごとに、タッチ操作を変更できます。







- **操作ボタン設定 > タッチパネル設定 > タッチパネル設定が OFF** のときは、タッチパネルモードアイコンは非表示になり、タッチ操作の切り替えはできません。
- **操作ボタン設定 > タッチパネル設定 > ダブルタップ拡大が ON** のときは、タッチパネルを2回タッチすると、画像を拡大表示できます。
- **フォーカス設定 > タッチパネルモード** でもタッチ操作を切り替えることができます。

静止画の撮影

モード	意味
 ショット	シャッターボタンを押す代わりに、ピントを合わせたいところの画面をタッチして撮影します。連写撮影では、画面を押し続けている間、連続撮影します。
 AF	タッチした場所にピントを合わせ、AF ロックします。シャッターボタンを全押しして撮影します。
 エリア選択	フォーカスエリアに設定したい場所をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動し、ピントを合わせる位置や拡大表示の位置が変更できます。
 OFF	タッチ操作を使用しません。


動画の撮影


モード	意味
 AF	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画設定 > フォーカスモードがシングル AF のときは、動画撮影中に画面をタッチすると、タッチした場所でピントを合わせ直します。 ● 動画設定 > フォーカスモードがコンティニュアス AF のときは、動画撮影中にタッチした場所にピントを合わせ続けます。
 エリア選択	<ul style="list-style-type: none"> ● 動画設定 > フォーカスモードがシングル AF のときは、動画撮影中に画面をタッチすると、タッチした場所にフォーカスエリアが移動します。シャッターボタンを半押しするとピントを合わせ直します。 ● 動画設定 > フォーカスモードがコンティニュアス AF のときは、動画撮影中にタッチした場所にピントを合わせ続けます。
 OFF	タッチ操作を使用しません。


 動画撮影中にタッチ操作を行う場合は、**動画設定 > 動画 AF モードをエリア選択**にすることをおすすめします。タッチパネルモードによっては、**動画 AF モードがオートエリアのままでも自動的にエリア選択に変更**される場合があります。

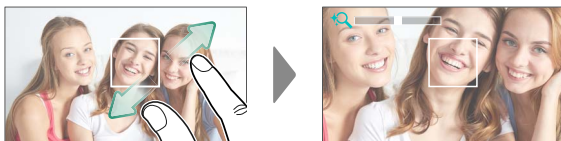
タッチズーム撮影


タッチ操作でデジタルズーム撮影ができます。

 **フォーカス設定のタッチパネルモード**がどのモードに設定されていてもタッチズーム撮影は可能です。

1  撮影設定のタッチズームを ON にします。

2 画面をマルチタッチ（ピンチアウト； 18）して、デジタルズームの倍率を調整します。



-  ・画面のどの場所にマルチタッチしても、デジタルズームは画面中央で行います。
- ・フォーカスエリアは **フォーカス設定のフォーカスエリア選択** で設定されている位置になります。**フォーカス設定のタッチパネルモード** が **エリア選択** に設定されているときは、デジタルズーム中でもタッチ操作でフォーカスエリアを変更できます。

3 撮影します。

タッチ操作による再生

☑ 操作ボタン設定 > タッチパネル設定 > ▶ タッチパネル設定が ON のときは、1 コマ再生時に以下のタッチ操作ができます。

スワイプ



画面上を指で掃くように動かすと、前後の画像を表示できます。

ダブルタップ



画面を2回タッチすると、ピントを合わせた位置を拡大表示できます。

マルチタッチ (ピンチアウト)



画面上に2本の指を置き、指の間隔を広げるように動かし、画像を拡大表示できます。

ドラッグ



拡大表示中に、表示される画像の範囲を移動できます。

マルチタッチ (ピンチイン)



画面上に2本の指を置き、指の間隔を狭めるように動かし、画像を縮小表示できます。

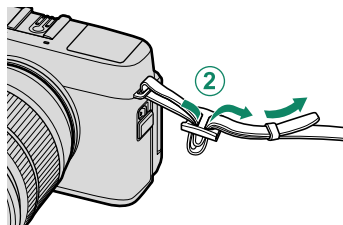
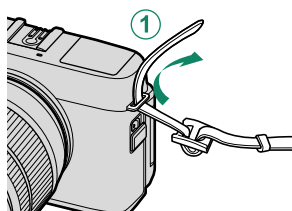
📄 元の表示画像より縮小した画像は表示できません。

撮影の準備

2

ショルダーストラップを取り付ける

ショルダーストラップは、次のようにカメラのストラップ取り付け部（2箇所）に取り付けます。

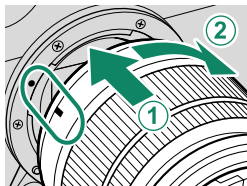


- 取り付けは上記の手順で行ってください。
- ストラップの取り付け方を間違えると、カメラが落下するおそれがありますので、しっかりと取り付けてください。

レンズを取り付ける

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM X マウント対応のレンズが使用できます。

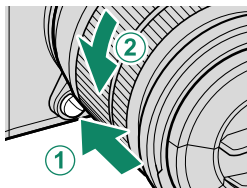
カメラのボディキャップとレンズのリアキャップを外してカメラとレンズの指標に合わせて (①)、レンズを回し (②) カメラにレンズを取り付けます。



- レンズを取り付けるときは、ゴミやほこりの付着に注意してください。
- カメラ内部には触れないでください。
- 「カチッ」とはまるまで、レンズを回してください。
- レンズを取り付けるときは、レンズ取り外しボタンを押さないでください。

レンズの取り外し方

カメラの電源をオフにしてからレンズ取り外しボタンを押して (①)、矢印の方向にレンズを回してください (②)。



レンズを取り外してカメラを保管するときは、ゴミやほこりの付着を防ぐためにボディキャップとレンズキャップを取り付けてください。

別売アクセサリーについて

このカメラでは、富士フィルム製の FUJIFILM X マウント対応のレンズやアクセサリーが使用できます。



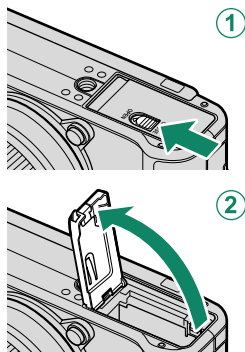
- レンズを取り付けたり取り外したりするとき (レンズ交換) は、以下のことにご注意ください。
- ゴミやほこりの付着に注意してください。
- 直射日光など強い光源が当たらないところで行ってください。光源がカメラ内部に入り込むと、カメラ内部で焦点を結んで故障の原因になります。
- レンズキャップを取り付けて行ってください。

バッテリーとメモリーカードを入れる

カメラにバッテリーとメモリーカードを入れます。

1 バッテリーカバーロックをスライドさせて、バッテリーカバーを開けます。

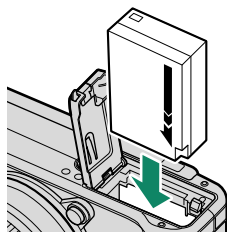
- ❗ カメラの電源がオンになっているときは、バッテリーを抜かないでください。画像ファイルやメモリーカードが壊れることがあります。
- バッテリーカバーに無理な力を加えないでください。



2 バッテリーを入れます。

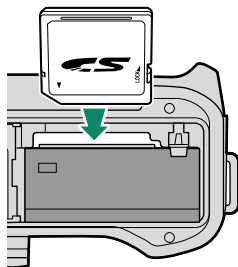
図のように金色の端子を下にして、バッテリー取り外しつまみをバッテリーで押すようにして、バッテリーを入れます。

- ❗ バッテリーの向きを間違えるとカメラが破損するおそれがあります。正しい向きで挿入してください。
- バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。



3 メモリーカードを入れます。

- ❗ • メモリーカードの向きが正しいことを確認してください。斜めに差し込んだり、無理な力を加えたりしないでください。
- 「カチッ」と音（感触）がするまで、メモリーカードを確実に奥まで差し込みます。
- 未使用のメモリーカードや、パソコンやその他の機器で使用したメモリーカードは、必ずカメラでフォーマットしてからご使用ください。

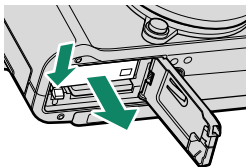


4 バッテリーカバーを閉めます。

- ❗ • バッテリーカバーが閉まらないときは、無理に閉めずにバッテリーの挿入方向を確認してください。

バッテリーを取り出すときは

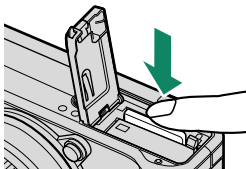
カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開け、バッテリー取り外しつまみを指で動かしてロックを外してください。



⚠ 高温環境下で使用するとバッテリーが熱くなっている場合があります。取り出すときは注意してください。

メモリーカードを取り出すときは

カメラの電源をオフにしてからバッテリーカバーを開けます。メモリーカードを指で押し込み、ゆっくり指を放すと、ロックが外れて取り出せます。



⚠

- メモリーカードを取り出すときは、カードの中央を押してください。
- メモリーカードを取り出すときに、押し込んだ指を急に放すと、メモリーカードが飛び出すことがあります。指は静かに放してください。

使用可能なメモリーカード

- このカメラでは、SD/SDHC/SDXC メモリーカードの使用をおすすめします。
- このカメラでは、UHS-I のメモリーカードに対応しています。
- 動画を撮影するときは、UHS スピードクラス 3 以上のメモリーカードをご使用ください。
- 今後の対応メモリーカードについては、富士フィルムのホームページに掲載しています。詳しくは <http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/compatibility/index.html> を参照してください。

! ● メモリーカードのフォーマット中や、データの記録 / 消去中は、カメラの電源をオフにしたり、メモリーカードを取り出したりしないでください。カード損傷の原因になることがあります。

- メモリーカードをカメラで記録、消去するときは、書き込み禁止スイッチのロックを解除してください。書き込み禁止スイッチを LOCK 側へスライドさせると、画像の記録や消去、カードのフォーマットができなくなります。



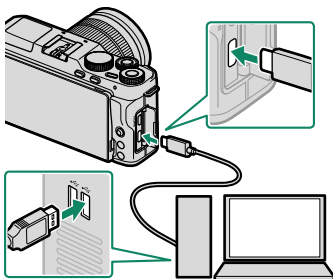
- メモリーカードは小さいため、乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万が一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- 外形寸法が SD メモリーカード規格から外れている miniSD アダプターや microSD アダプターを使うと、まれに抜けなくなることがあります。その場合、無理に抜こうとすると故障につながりますので、富士フィルム修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
- メモリーカードにラベルなどははらないでください。はがれたラベルが、カメラの誤動作の原因になることがあります。
- メモリーカードの種類によっては、動画の記録が中断されることがあります。
- カメラでメモリーカードをフォーマットすると、初回撮影時に画像を保存するフォルダが作られます。このフォルダの名前を変更したり、削除したりしないでください。また、パソコンやその他の機器で、画像ファイルの編集 / 削除または名前変更をしないでください。画像のファイル名を変更すると、カメラでの再生時に支障をきたす場合があります。

バッテリーを充電する

ご購入時にはバッテリーは充電されていません。カメラをお使いになる前にバッテリーを充電してください。

- このカメラに付属されているバッテリーは NP-W126S です。
- 充電する前に、カメラの電源をオフにしてください。

- このカメラは、USB 充電に対応しています。パソコンメーカーが動作保証する OS および USB インターフェイスで使用できます。



充電するときは、パソコンの電源をオンにしてください。

- カメラの電源がオンのときは充電できません。
- 付属の USB ケーブルを接続します。
- USB ハブやキーボードを経由せずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- 充電中にパソコンが休止状態（スリープ状態）になると、充電が中止されます。充電を続ける場合は、パソコンの休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USB ケーブルを接続しなおしてください。
- パソコンの仕様や設定、または状態によって、バッテリーを充電できないことがあります。

- コンセントから充電したい場合は、別売のバッテリーチャージャー BC-W126S をご使用ください。

充電状態の表示

インジケータランプでバッテリーの充電状態を示します。

インジケータランプ	バッテリーの状態
点灯	充電中
消灯	充電完了
点滅	バッテリー異常

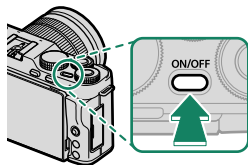


- バッテリーにラベルなどをはらないでください。カメラから取り出せなくなる場合があります。
- バッテリーの端子同士を接触（ショート）させないでください。発熱して危険です。
- バッテリーについてのご注意は「お取り扱いにご注意ください」を参照してください。
- 必ず専用の充電式バッテリーをお使いください。弊社専用品以外の充電式バッテリーをお使いになると故障の原因になることがあります。
- 外装ラベルを破ったり、はがしたりしないでください。
- バッテリーは使わなくても少しずつ放電しています。撮影の直前(1～2日前)には、バッテリーを充電してください。
- 使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。
- 充電前に、バッテリーの端子の汚れを乾いたきれいな布などで拭いてください。端子が汚れていると、充電できないことがあります。
- 低温時および高温時は充電時間が長くなる場合があります。

電源をオンにする / オフにする

カメラの電源をオンにします。

ON/OFF（電源）ボタンを押すと、電源がオンになります。もう一度押すと、電源がオフになります。



! レンズに指紋が付かないようにご注意ください。撮影画像の画質低下の原因になります。






- ◆**
- 撮影中に **▶**（再生）ボタンを押すと、再生モードになります。
 - 再生中にシャッターボタンを半押しすると、撮影モードになります。
 - 一定時間カメラを操作しないと、自動的にカメラの電源がオフになります。
- ⚙** **消費電力設定 > 自動電源 OFF** では、自動的に電源がオフになるまでの時間を設定できます。自動的にカメラの電源がオフになった場合、シャッターボタンを半押し、または再度 **ON/OFF**（電源）ボタンを押すと撮影モードでオンになります。

バッテリー残量の表示

画面の表示で、バッテリー残量を確認できます。

画面に表示されるバッテリー残量表示の目盛でバッテリー残量を表します。



表示	意味
 (白点灯)	バッテリーの残量は十分にあります。
 (白点灯)	バッテリーの残量は約 2/3 です。
 (白点灯)	バッテリーの残量は約 1/3 です。できるだけ早く充電してください。
 (赤点灯)	バッテリーの残量が不足しています。できるだけ早く充電してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。カメラの電源をオフにして、バッテリーを交換してください。

初期設定を行う

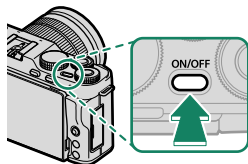
ご購入後初めて電源をオンにすると、言語や日時を初期設定として設定できます。また、このカメラでは、初期設定でスマートフォンとカメラをペアリングすることで、日時の自動設定やスマートフォンへの画像送信が簡単にできるようになります。以下の手順で初期設定を行ってください。

 ペアリングを行う場合は、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールして、起動しておいてください。「FUJIFILM Camera Remote」については、以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/

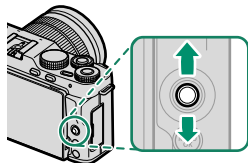
1 電源をオンにします。

言語設定画面が表示されます。



2 言語を設定します。

フォーカスレバーで使用する言語を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。



3 スマートフォンとペアリングを行います。

MENU/OK ボタンを押して、「FUJIFILM Camera Remote」のペアリング登録を押します。



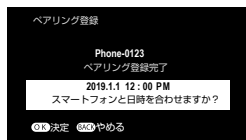
 ペアリングを行わない場合は、**DISP/BACK** ボタンを押して、設定をスキップしてください。

4 ペアリングが完了すると、時刻の確認画面が表示されます。

表示されている時刻を確認します。



DISP/BACK ボタンを押すと、手動で時刻を設定できます (頁 32)。



5 カメラの設定情報をスマートフォンと同期します。



接続設定 > Bluetooth 設定 であとから設定することもできます。



6 MENU/OK ボタンを押します。

確認した時刻がカメラに設定され、撮影画面が表示されます。





バッテリーを取り外してしばらく保管すると、設定した内容がクリアされる場合があります。その場合は、初期設定の設定画面が表示されますので、再設定してください。

設定のスキップ

スキップした設定は、次にカメラを起動したときに再度、設定画面を表示させるかどうかを選べます。次回起動時に設定画面を表示させたくない場合は確認画面で**表示しない**を選んでください。


言語を変更する

言語を変更するときは、以下の手順で変更します。

- 1  **基本設定** >  **言語/LANG.** を選びます。
- 2 言語を設定します。
フォーカスレバーで使用する言語を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押します。
設定した言語表示になります。

日時を変更する

日時設定を変更するときは、以下の手順で変更します。

- 1  **基本設定** > **日時設定** を選びます。
- 2 日時を設定します。
フォーカスレバーの左右で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、フォーカスレバーの上下で設定する数字を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押します。
日時が設定されます。

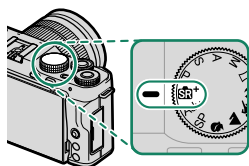
基本的な撮影と再生

3

静止画を撮影する

ここでは、撮影の基本的な流れを説明します。

- 1 モードダイヤルを **SR+** に合わせると、アドバンスド SR オートの撮影画面が表示されます。



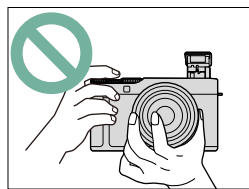
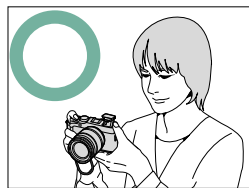
カメラが認識した最適なシーンが表示されます。



- !** アドバンスド SR オート (**SR+**) で撮影するときは、常にピント合わせを続けるためレンズの駆動音がします。また、バッテリーの消耗が早くなりますので、残量にご注意ください。

- 2 カメラを構えます。

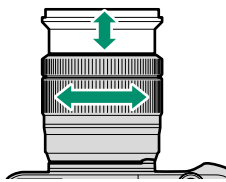
- 手ブレを防ぐため、カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズや AF 補助光ランプに指などがかかると、ピンぼけや暗い写真になることがあります。ご注意ください。



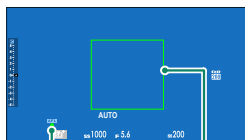
3 構図を決めます。

ズームリングがあるレンズを使用している場合

ズームリングを回して構図を調整します。広い範囲を写したいときは左方向、被写体を大きく写したいときは右方向に、ズームリングを回してください。



4 シャッターボタンを半押しして、被写体にピントと露出を合わせます。



合焦マーク

フォーカス
フレーム

- **ピントが合うと**、ピピッと音が鳴り、フォーカスフレームが緑色に点灯し、合焦マークが緑色に点灯します。
- **ピントが合わないときは**、フォーカスフレームが赤色に変わり、**!AF**が画面に表示され、合焦マークが白色に点滅します。



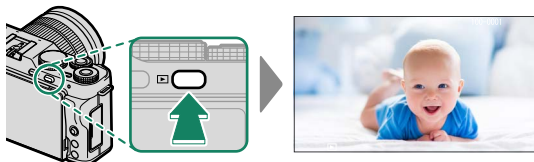
- 暗い被写体のピントを合わせやすくするために AF 補助光が発光する場合があります。
- シャッターボタンを半押ししている間、ピントと露出は固定されます。そのまま半押しを続けて、ピントを固定することを「AF ロック」、明るさを決めて固定することを「AE ロック」といいます。
- レンズのマクロ領域から標準撮影距離範囲の全領域で、ピントが合います。

5 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込みます（全押しします）。


▶ 静止画を再生する

撮影した画像を再生します。


▶ ボタンを押すと、撮影した画像が表示（1コマ再生）されます。





1つ前の画像を見るにはフォーカスレバーを左に動かします。次の画像を見るにはフォーカスレバーを右に動かします。フォーカスレバーを動かしたままにすると、早送りします。

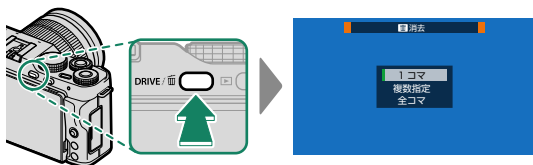
- ▶ フロントコマンドダイヤルやタッチパネルのスワイプ操作でも前後の画像を表示できます。
- ▶ 他のカメラで撮影した画像をこのカメラで再生すると、液晶モニターに  (プレゼントアイコン) が表示されます。他のカメラで撮影した画像はきれいに表示されなかったり、拡大表示できなかったりする場合があります。

画像を消去する

1 コマ再生時に  (消去) ボタンを押すと、画像を消去できます。


 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

1 1 コマ再生中に  ボタンを押して、1 コマを選びます。



2 消去する画像を選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

- **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようご注意ください。
- **MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像を選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

-  ● プロテクトされた画像は消去できません。消去するには、プロテクトを解除してください (141)。
- **再生メニュー** > **消去**でも、画像を消去できます。複数指定 / 全コマ消去による消去方法は **再生メニュー** > **消去**をご覧ください (137)。


動画の撮影と再生

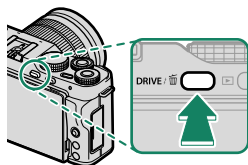
4




動画を撮影する

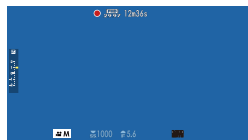
音声付きの動画を撮影できます。

- 1 **DRIVE** ボタンを押して、ドライブモード選択画面から  動画を選びます。



- 2 シャッターボタンを全押しして、動画撮影を開始します。

- 撮影中は、 が表示されます。
- 動画撮影の残り時間（カウントダウン）が表示されます。



- 3 もう一度シャッターボタンを押すと、撮影が終了します。

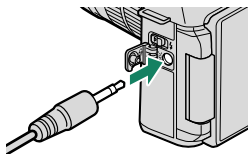
残り時間がなくなるか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。



工場出荷時の設定では、**Fn1** ボタンに動画リリースが割り当てられています (p.178)。**Fn1** ボタンを押すと、**DRIVE** モードの設定が  動画以外でも動画を撮影できます。

外部マイクについて

- このカメラでは、外部マイクを使用できます。外部マイクのプラグはプラグインパワーを必要としない $\phi 2.5\text{mm}$ ピンで取り付けるものをご使用ください。詳しくはステレオマイクの使用説明書をご覧ください。
- ご使用のマイクが $\phi 3.5\text{mm}$ の場合は付属の「 $\phi 3.5\text{mm}$ マイク用変換アダプター」を使うと、 $\phi 2.5\text{mm}$ に変換できます。





- 動画を撮影するときは、UHS スピードクラス 3 以上のメモリーカードをご使用ください。
- タッチズーム撮影で動画は撮影できません。
- 動画設定 > 電子式手ブレ補正が ON** のときは、撮影される範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- 音声も同時に記録されるので、撮影中に指などでマイクをふさがないようにご注意ください。
- 動画撮影中は、カメラの動作音が録音されることがあります。
- 高輝度の被写体を撮影すると、縦スジや横スジが入ることがありますが故障ではありません。



- 動画の記録中は背面のインジケータランプが点灯します。
- ズームリングがあるレンズを使用している場合は、動画撮影中もズームリングでズーム操作が行えます。
- 動画撮影中に露出補正を変更できますが、補正段数は±2の範囲となります。
- 撮影モードや撮影の設定によっては、動画撮影できない場合や設定が反映された動画が撮影されない場合があります。

動画の設定について


- 動画の設定は **動画設定** で変更できます。
- 動画の種類や動画サイズ、フレームレートは **動画設定 > 動画モード** で変更できます。
- 動画撮影時のピント合わせの方法は **動画設定 > 動画 AF モード** で **オートエリア** または **エリア選択** を選べます。
- 動画撮影時は、**動画設定 > フォーカスモード** を **シングル AF** にしても、**フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定** の **顔検出** が **ON** のときは、自動的に **コンティニュアス AF** になります。また、フォーカスモードが **マニュアルフォーカス** のときは、**顔検出** を **ON** にしても顔検出は行われません。

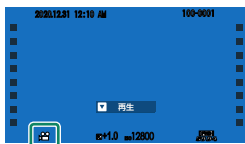
背景ボケを生かした動画について

絞りをできるだけ開放側に設定することでボケを生かした動画を撮影できます。撮影モードを **A**（絞り優先）または **M**（マニュアル）に設定し、絞り値を調整します。絞り値の設定は動画撮影前に行ってください。

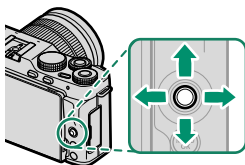
▶ 動画を再生する

撮影した動画をカメラで再生します。

画像の再生時に動画を選択すると、が表示されます。1コマ再生時に動画を選択してフォーカスレバーを下に動かすと、動画を再生できます。





動画再生時の操作は、フォーカスレバーで行います。




	1コマ再生中	▶ 再生中	⏸ 一時停止中
上	—	停止	
下	再生	一時停止	再生
左右	前後の画像を表示	再生速度	コマ送り

動画再生時には、進行状況を示すバーが表示されます。



-  スピーカーを指などでふさがないようにください。音が聞き取りにくくなります。
-  **基本設定 > 電子音 & フラッシュ**が **OFF** の場合は音声は再生されません。

-  再生中に **MENU/OK** ボタンを押すと、再生音量の設定画面が表示されます。フォーカスレバーで動画の再生音量を選び、**MENU/OK** ボタンで決定します。動画の再生音量は、**音設定 > 再生音量**でも設定できます。

動画の再生速度について

フォーカスレバーの左右で、再生速度を変更できます。再生速度は再生アイコンの▶(◀)の数で表示されます。▶(◀)の数が多いほど速度が速くなります。



再生アイコン

5 撮影に関する設定

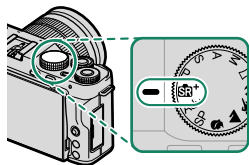
モードダイヤルで撮影モードを変更

撮影モードを切り替えて、状況（シーン）に適した設定を行うことができます。

SR⁺（アドバンストSRオート）

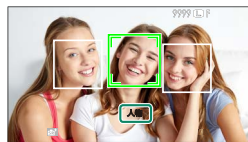
シーンに最適な撮影モードをカメラが自動的に認識して撮影します。

モードダイヤルを SR⁺ に合わせると、撮影画面が表示されます。



カメラが認識した最適なシーンが表示されます。

シーン	シーン
AUTO	マクロ
人物	夜景&人物
風景	逆光&人物
夜景	

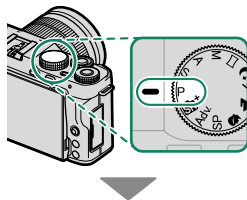


! シーンによっては認識されたシーンが実際と異なる場合があります。また、撮影条件によっては、同じ被写体でも異なるシーンとして認識される場合があります。認識されたシーンが実際と異なる場合は、撮影モードを **P**（プログラム）にするか、**SP** にして適切なシーンポジションを選択してください。

P (プログラム)

カメラがシャッタースピードと絞り値を自動的に設定します。プログラムシフトで同じ露出値のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることもできます。

モードダイヤルを **P** に合わせます。



表示画面に **P** が表示されます。



プログラムシフトの設定

フロントコマンドダイヤルを回すと、同じ露出のままシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えることができます。



絞り値
シャッタースピード

❗ 次のとき、プログラムシフトは使用できません。

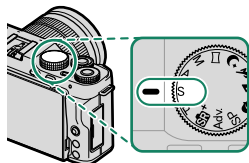
- TTL 自動調光機能付き外部フラッシュを使用しているとき
- **画質設定 > ダイナミックレンジが AUTO** のとき

🔌 電源をオフにすると、設定したプログラムシフトは解除されます。

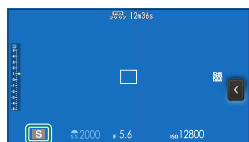
S (シャッタースピード優先)

設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値を設定します。

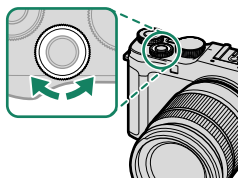
1 モードダイヤルを S に合わせます。



表示画面に S が表示されます。



2 フロントコマンドダイヤルを回して、シャッタースピードを設定します。



❗ 設定したシャッタースピードで適正な明るさにならないときは、絞り値が赤色で表示されます。

タイム撮影 (T)

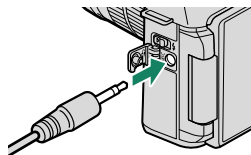
シャッタースピードを1秒以上に設定すると、タイム撮影になります。カメラが動くときピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。



- 撮影中は、露光時間がカウントダウンで表示されます。
- 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**画質設定 > 長秒時ノイズ低減**をONにすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

リモートリリースを使用する

長時間露光撮影時には、リモートリリースが便利です。リモートリリース端子に、別売のリモートリリース RR-100 や市販の電子式リモートリリースを取り付けます。



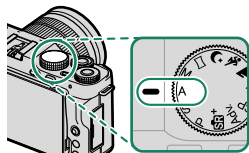
マイク/リモートリリース端子にリモートリリースを取り付けると、設定確認の画面が表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、**マイク/リモートリリース設定**を **リモートリリース**に設定してください。

マイク/リモートリリースの
設定を確認してください
OK 決定 **ESC** スキップ

A (絞り優先)

設定した絞り値に合わせて、カメラがシャッタースピードを自動的に決定します。

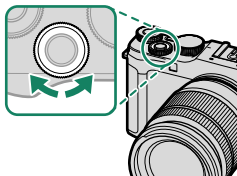
1 モードダイヤルを **A** に合わせます。



表示画面に **A** が表示されます。



2 フロントコマンドダイヤルを回して、絞り値を設定します。



! 設定した絞り値で適正な明るさにならないときは、シャッタースピードが赤色で表示されます。

被写界深度を確認するには

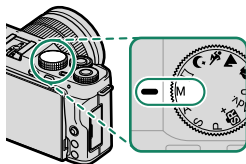
被写界深度を確認するには、ファンクション (Fn1) ボタンに**被写界深度確認**を割り当てます。割り当てたファンクションボタンを押すと **☒** が表示され、そのときの絞り値の被写界深度がスルー画で確認できます。



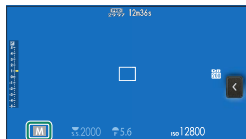
M (マニュアル)

マニュアルでは、シャッタースピードや絞り値を撮影者が設定できます。意図的に「オーバー（明るい）」または「アンダー（暗い）」の露出を設定できるので、個性的で多彩な表現が可能になります。


1 モードダイヤルを M に合わせます。

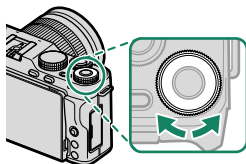


表示画面に **M** が表示されます。

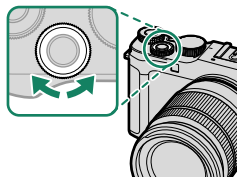


2 リアコマンドダイヤルを回してシャッタースピードを設定し、フロントコマンドダイヤルを回して絞り値を設定します。

 露出インジケータを確認しながら、絞り値とシャッタースピードを設定します。



シャッタースピード



絞り値

露出設定プレビューについて

表示設定 > マニュアル時モニター露出 /WB 反映が OFF 以外のときは、露出を反映した画像が画面に表示されます。



フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は、マニュアル時モニター露出 /WB 反映を OFF にしてください。

バルブ撮影 (B)

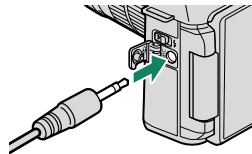
リアコマンドダイヤルを回して、シャッタースピードを **BULB** に設定すると、バルブ撮影になります。カメラが動くとピントがずれるので、長時間露出で撮影する場合は、三脚のご使用をおすすめします。



- シャッターが開くのは、最大 60 分間（電子シャッター時は 1 秒固定）です。
- 撮影中は、経過時間が表示されます。
- 長時間露光撮影でノイズが気になる場合は、**画質設定 > 長秒時ノイズ低減** を **ON** にすると、ノイズを低減できます。ノイズ低減処理を行うため、画像の記録に時間がかかる場合があります。

リモートリリースを使用する

長時間露光撮影時には、リモートリリースが便利です。リモートリリース端子に、別売のリモートリリース RR-100 や市販の電子式リモートリリースを取り付けます。



マイク/リモートリリース端子にリモートリリースを取り付けると、設定確認の画面が表示されます。**MENU/OK** ボタンを押して、**マイク/リモートリリース設定**を **リモートリリース**に設定してください。

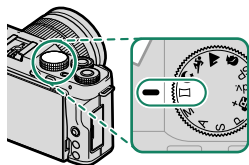
マイク/リモートリリースの
設定を確認してください
OK 決定 **ESC** スキップ

□ (パノラマ)

カメラを動かしながら撮影した複数の画像を合成し、高画質な1枚のパノラマ写真を作成します。

- 1 モードダイヤルを □ (パノラマ) に合わせます。

撮影画面が表示されます。



- 2 撮影する角度（撮影画角）を選びます。

フォーカスレバーを左に動かし、撮影画角変更画面を表示させ、撮影する画角の大きさを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 3 撮影方向を選びます。

フォーカスレバーを右に動かし、撮影方向選択画面を表示させ、撮影する方向を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

- 4 シャッターボタンを全押しします。

撮影中にシャッターボタンを押し続ける必要はありません。

- 5 矢印方向にカメラを動かします。

ガイドの終端までカメラが動くと撮影が終了し、パノラマ写真が保存されます。



うまく撮影するには

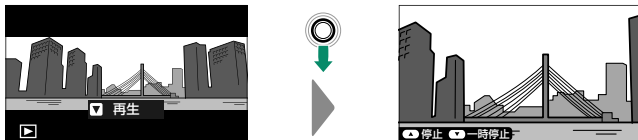
- 一定の速度でゆっくりと小さな円を描くようにカメラを動かします。
- ガイドの方向にまっすぐカメラを動かします。
- うまくいかないときは、移動速度を変えてください。
- カメラがブレないように脇をしめて撮影してください。
- 三脚を使うと、よりきれいに撮影できます。
- ズーム位置を広角側に設定して、レンズの焦点距離を 35 mm (35 mm フィルム判で 50mm 相当) 以下で撮影することをおすすめします。



- 撮影中にシャッターボタンをもう一度全押しすると、撮影が停止します。このときに撮影された画像が保存されないことがあります。
- 撮影を中断したタイミングによっては、撮影した最後の部分が記録されないことがあります。
- 複数の写真を合成するため、つなぎ目がきれいに記録されない場合があります。
- 暗いシーンでは、写真がブレる場合があります。
- カメラを動かす速度が速すぎたり、遅すぎたりしたときは、撮影が中断される場合があります。設定した方向と異なる方向にカメラを動かしたときも撮影が中断されます。
- 撮影シーンによっては、設定した角度どおりに撮影できない場合があります。
- 以下の場合はパノラマ撮影には適していません。
 - 被写体が動いている
 - 被写体とカメラの距離が近すぎる
 - 空や芝生など、同じような模様が続く風景
 - 波や滝など常に模様が変わる風景
 - 明るさが大きく変動するシーン
- 露出は、最初にシャッターボタンを半押しした時点で固定されます。

パノラマ画像の再生

1 コマ再生時にパノラマ写真を選択してフォーカスレバーを下に動かすと、パノラマ写真を再生できます。横方向に撮影したパノラマ写真は左から右に、縦方向に撮影した写真は下から上に表示されます。



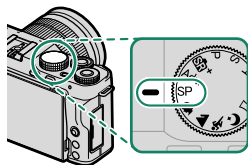
- パノラマ写真を1コマ再生しているときは、リアコマンドダイヤルを回して拡大/縮小表示できます。
- パノラマ再生時の操作は、フォーカスレバーで行います。

	1コマ再生中	再生中	一時停止中
上	—	停止	
下	再生	一時停止	再生
左右	前後の画像を表示	再生方向の変更	コマ送り

SP (シーンポジション) / / / /





いろいろな撮影シーンに合わせて、カメラの設定を最適な状態にするシーンポジションが用意されています。

- 1 モードダイヤルを **SP (シーンポジション)** に合わせます。



/ / / モードで撮影する場合


モードダイヤルをそれぞれのアイコンに合わせてください。

シーン	機能
 美肌 (👤)	肌をなめらかに撮影します。タッチメニュー画面では、タッチ操作で美肌効果のレベルを変更できます。
 風景	昼間の風景撮影に適しています。
 スポーツ	動いている被写体の撮影に適しています。
 夜景	夕景や夜景の撮影に適しています。













- 2 SPの説明画面が表示されている間に **MENU/OK** ボタンを押します。

シーンポジション選択画面が表示されます。



-  撮影画面が表示された場合は、**MENU/OK** ボタンを押して撮影メニューを開き、**撮影設定 > シーン選択** を選ぶと、シーンポジション選択画面を表示できます。

3 シーンポジションを選びます。

シーン	機能
 人物	人物の撮影に適しています。
 夜景 (三脚)	スローシャッターでの夜景撮影に適しています。
 花火	スローシャッターで打ち上げ花火を色鮮やかに撮影します。
 夕焼け	夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
 スノー	白く輝く雪景色での撮影に適しています。
 ビーチ	日差しの強い浜辺での撮影に適しています。
 水中	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。
 パーティー	室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。
 花	花を色鮮やかに撮影します。
 文字の撮影	書類やホワイトボードなどを撮影するときに使用します。
 多重露出	2枚の画像を重ねて1つの画像に合成します (p.59)。
 ライトトレイル	車のヘッドライトや花火など、光の軌跡を撮影したいときに適しています。

4 MENU/OK ボタンを押します。

シーンポジションが設定されます。

多重露出撮影

2 枚の画像を重ねて 1 つの画像に合成します。



1 シーンポジション選択画面で 多重露出を選びます。

2 1 枚目の画像を撮影します。

3 MENU/OK ボタンを押します。
2 枚目の撮影画面になります。



- 1 枚目の画像を撮り直す場合はフォーカスレバーを左に動かしてください。
- DISP/BACK ボタンを押すと、1 枚目の画像が保存され、多重露出撮影を終了します。

4 2 枚目の画像を撮影します。

1 枚目の画像が撮影画面にうすく表示されているので、その画像を見ながら 2 枚目の画像の位置を調整してください。



5 MENU/OK ボタンを押します。

2 枚の画像を合成した画像が保存されます。

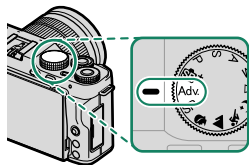


- 2 枚目の画像を撮り直す場合はフォーカスレバーを左に動かしてください。

Adv. (アドバンスフィルター)

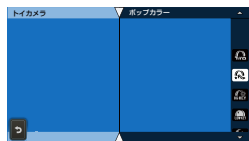
さまざまなフィルター効果を加えて撮影できます。

- 1 モードダイヤルを **Adv.** (アドバンスフィルター) に合わせます。



- 2 **Adv.** の説明画面が表示されている間に **MENU/OK** ボタンを押します。











アドバンスフィルター選択画面が表示されます。




撮影画面が表示された場合は、**MENU/OK** ボタンを押して撮影メニューを開き、**撮影設定 > アドバンスフィルター** を選ぶと、アドバンスフィルター選択画面を表示できます。

- 3 アドバンスフィルターを選びます。

アドバンスフィルター	効果
トイカメラ	レトロな雰囲気のあるトイカメラ風な写真に仕上がります。
ポップカラー	コントラストと彩度を強調します。
ハイキー	全体的に階調を明るくし、コントラストを抑えます。
ローキー	全体を暗く落ち着いた感じつつ、ハイライト部分を強調します。
魚眼	魚眼レンズのような効果が得られます。
ダイナミックトーン	ダイナミックな階調表現で、幻想的な効果を加えます。
HDR アート	階調とダイナミックレンジを強調し、アート調の効果を加えます。
ミニチュア	ジオラマ風に上下をぼかします。
クロススクリーン	光源の光を放射状に強調します。クロススクリーンの効果は撮影画像でご確認ください。

アドバンスフィルター	効果
 リッチ&ファイン	卓上の料理などを撮影するのに適した効果を与えます。
 モノクロ（近赤外風）	近赤外線カメラ風に撮影します。
 パートカラー（レッド）	特定の色域（カッコ内の色）だけを残し、残りをモノクロにします。
 パートカラー（オレンジ）	
 パートカラー（イエロー）	
 パートカラー（グリーン）	
 パートカラー（ブルー）	
 パートカラー（パープル）	
 霞除去	霞成分を取り除きクリアに撮影します。
 ソフトフォーカス	全体にぼかしを加え、やわらかな雰囲気を与えます。

 被写体やカメラの設定によっては、画像が粗くなったり意図したような明るさや色みにならなかったりする場合があります。

4 MENU/OK ボタンを押します。

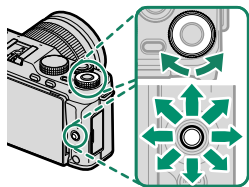
アドバンスフィルターが設定されます。

オートフォーカスに関する設定

ここでは、カメラが自動的にピントを合わせて撮影するときの設定について説明しています。



- 1 撮影メニューの **AF** フォーカス設定 > フォーカスモードからフォーカスモードを選びます (📖 63)。
- 2 撮影メニューの **AF** フォーカス設定 > AF モードから AF モードを選びます (📖 65)。
- 3 撮影メニューの **AF** フォーカス設定 > フォーカスエリア選択を選び、フォーカスエリアの位置やサイズを変更します (📖 67)。




- 4 撮影します。

 AF システムについては、以下のサイトも併せてご覧ください。
<http://fujifilm-x.com/af/ja/index.html>




フォーカスモード



ピント合わせの方法を変更できます。

フォーカスモードの設定方法

- 1 MENU/OK ボタンを押して、撮影メニューを表示します。
- 2  フォーカス設定 > フォーカスモードを選びます。
- 3 設定するフォーカスモードを選びます。

フォーカスモードの種類

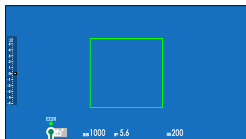
フォーカスモード	内容
 マニュアルフォーカス	意図した場所にピントを手動で合わせます。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します (71)。
 コンティニュアス AF	コンティニュアス AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが常にピントを合わせ続けます。動きのある被写体の撮影に適しています。
 シングル AF	シングル AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが一度だけ自動的にピントを合わせます。スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。

- 
 レンズ側で **M** (マニュアルフォーカス) を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカスモードを**シングル AF** または**コンティニュアス AF** に設定していてもマニュアルで撮影できます。
- フォーカスモードが**シングル AF** または**コンティニュアス AF** のときは、 **フォーカス設定 > プリ AF** を **ON** にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも常にピントを合わせ続けます。

合焦マークについて

合焦マークでピントの状況を確認できます。

合焦マーク	状況
()	ピントが合うところを探しています。
● (緑点灯)	シングル AF のときにピントが合って固定されています。
● (緑点灯)	コンティニユアス AF のときにピントが合っています。被写体の動きに合わせてピント位置が変化します。
○ (白点滅)	ピントが合っていません。
MF	マニュアルフォーカスのときに表示されます。



合焦マーク

AF モードの選択

オートフォーカスモード（**AF** フォーカス設定 > フォーカスモードがシングル AF またはコンティニユアス AF のとき）と AF モードの組み合わせでさまざまな撮影シーンに応じたフォーカスエリアを選択できます。

AF モードの設定方法

- 1 MENU/OK ボタンを押して、撮影メニューを表示します。
- 2 **AF** フォーカス設定 > AF モードを選びます。
- 3 設定する AF モードを選びます。

AF モードの種類


- フォーカスモードがシングル AF のとき

設定	用途例	作例
 シングル ポイント	被写体を 1 点のスポットで捉えるモードで、基本的な AF モードです。フォーカスエリア選択で設定した 1 点のフォーカスエリアで、ピントを合わせます。	
 ゾーン	シングルポイントでは捉えにくい、やや動きのある被写体やスナップなどに向くモードです。フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアで、ピントを合わせます。	
 ワイド	画面内にあるコントラストが高い被写体に自動でピントを合わせるモードです。ピントの合った複数の位置に AF エリアが表示されます。	
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと（ 68 、 69 ）、 AF シングルポイント、 AF ゾーン、 AF ワイドの順でフォーカスエリアを選択できます。	


● フォーカスモードがコンティニュアス AF のとき


設定	用途例	作例
 シングル ポイント	前後直線的な動きをスポットで捉えるモードです。フォーカスエリア選択で設定したピンポイントのフォーカスエリアで、ピントを合わせます。	
 ゾーン	ある程度予測可能な動きに向けた AF モードです。フォーカスエリア選択で設定したゾーンの中央で捉えた被写体に、常にピントを合わせ続けます。	
 トラッキング	画面内を広く動く被写体に向くモードです。被写体の移動に合わせて全フォーカスエリア内をカメラが自動で追尾します。	
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと (P. 68、69)、  シングルポイント、  ゾーン、  トラッキングの順でフォーカスエリアを選択できます。	

フォーカスエリアの変更

 フォーカス設定 > フォーカスモードがシングル AF またはコンティニュアス AF のときのフォーカスエリアを変更できます。

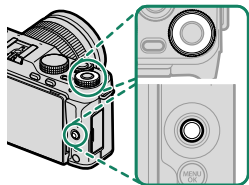
フォーカスエリアの変更方法

- 1** MENU/OK ボタンを押して、撮影メニューを表示します。
- 2**  フォーカス設定 > フォーカスエリア選択を選び、フォーカスエリア選択画面を表示します。
- 3** フォーカスレバーとリアコマンドダイヤルでフォーカスエリアを変更します。

 タッチ操作によるフォーカスエリアの変更は「撮影時のタッチ操作について」をご覧ください (p.15)。

フォーカスエリアの操作

フォーカスエリアの移動はフォーカスレバーで、サイズ変更はリアコマンドダイヤルでそれぞれ操作します。**AFモード**の設定によって操作が異なります。




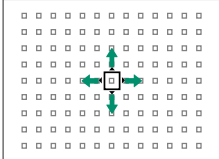
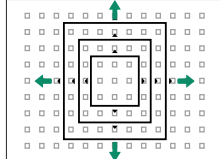
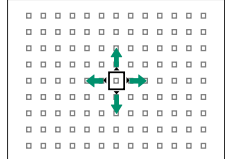
AFモード	フォーカスレバー		リアコマンドダイヤル
	移動した方向にフォーカスエリアが移動	フォーカスエリアが中央に戻る	サイズ変更 (6段階)
			サイズ変更 (3段階)
			なし

- トラッキング**のフォーカスエリアは、 **フォーカス設定** > **フォーカスモード**が **コンティニュアス AF** のときのみ有効です。
- AFモード**が **オール**の場合は、フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと、 **シングルポイント** (サイズ6段階)、 **ゾーン** (サイズ3段階)、 **ワイド** (フォーカスモードが のとき) または **トラッキング** (フォーカスモードが のとき) の順でフォーカスエリアを選択できます。

フォーカスエリアの選択画面

フォーカスエリアの選択画面は AF モードの設定によって異なります。

 小さな四角 (□) ひとつがフォーカスエリアポイントで、枠で囲んだエリアがフォーカスエリアです。

□	□□	□□□
		
<p>■ フォーカス設定 > フォーカス点数切り替えで フォーカスエリアポイント の点数を 117 と 425 から 選べます。</p>	<p>117 のフォーカスエリア ポイントを 3×3、5×5、 7×7 の範囲で選べます。</p>	<p>トラッキングしたい被写体 の位置にフォーカスエリア を移動できます。</p>

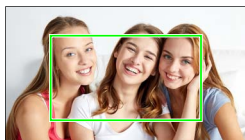
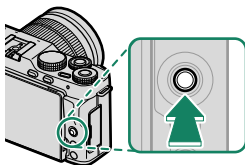
オートフォーカスの苦手な被写体について

このカメラは精密なオートフォーカス機構を搭載していますが、次のような被写体や条件の場合、ピントが合いにくいことがあります。

- 鏡や車のボディなど光沢のあるもの
- ガラス越しの被写体
- 髪の毛や毛皮などの暗い色で、光を反射せずに吸収するもの
- 煙や炎などの実体のないもの
- 背景との明暗差が少ないもの
- AF フレーム内にコントラスト差が大きいものがあり、その前か後ろに被写体がある場合（コントラストの強い背景の前にある被写体など）

拡大表示してピントを確認する

フォーカスレバーを中央に押しすと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。もう一度フォーカスレバーを中央に押しすと通常表示に戻ります。拡大表示する位置はフォーカスエリア選択で変更できます。



通常表示



拡大表示

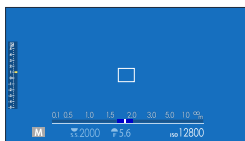
- フォーカス設定 > フォーカスモードがシングル AF のときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。
- フォーカス設定 > フォーカスモードがシングル AF のときは、 フォーカス設定 > AF モードをシングルポイントに設定してください。
- フォーカス設定 > フォーカスモードがコンティニユアス AF または フォーカス設定 > プリ AF が ON のときは、拡大表示できません。
- フォーカスレバーの中央を押し機能は、 操作ボタン設定 > フォーカスレバー設定で変更できます。また、 操作ボタン設定 > ファンクション (Fn) 設定で拡大表示の機能を他のボタンに割り当てることもできます (P.178)。

マニュアルフォーカス撮影

意図した場所にピントを手動で合わせて撮影する方法を説明します。



- 1 撮影メニューの **MF** フォーカス設定 > フォーカスモードをマニュアルフォーカスに設定します。



- 2 フォーカスリングを回してピントを合わせます。

フォーカスリングを時計回りに回すと遠距離側に、反時計回りに回すと近距離側にピントが合います。



- 3 撮影します。

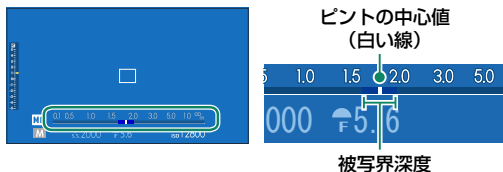
- フォーカスリングを回す方向は、**操作ボタン設定** > フォーカスリングで設定できます。
- レンズ側で **M** (マニュアルフォーカス) を設定できる交換レンズをご使用の場合は、**フォーカス設定** > フォーカスモードを**シングル AF** または**コンティニュアス AF** に設定していてもマニュアルフォーカスで撮影できます。
- AF ロックが割り当てられているファンクションボタンを押すと、フォーカスフレーム内の被写体にオートフォーカスでピントを合わせます。ピントを合わせる位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。フォーカスエリアのサイズはリアコマンドダイヤルで変更できます。素早くピントを合わせたいときに便利です。
- マニュアルフォーカスのときは画面に **MF** が表示されます。**MF** を表示するには、以下の設定が必要です。
 - 表示設定** > 画面のカスタマイズで「フォーカスモード」に を入れる。
 - DISP/BACK** ボタンを押して、「スタンダード」(情報表示あり) 画面に切り替える。

ピントの確認方法

マニュアルフォーカス撮影では、以下の方法でピントを確認できます。

距離指標を目安にする

白い線はピントの中心値を、青いバーは被写界深度を示します。距離指標の単位は、**表示設定 > 距離指標の単位**でメートルとフィートを切り替えられます。



- 距離指標を表示するには、以下の設定が必要です。
- **表示設定 > 画面のカスタマイズ**で「AF 時の距離指標」「MF 時の距離指標」に を入れる。
 - **DISP/BACK** ボタンを押して、「スタンダード」（情報表示あり）画面に切り替える。

拡大表示して確認する（フォーカスチェック）

フォーカス設定 > フォーカスチェックを ON にすると、フォーカスリングを回したときに自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。フォーカスレバーを中央に押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。

- 拡大表示中にフォーカスレバーを動かすと、拡大表示のままフォーカスエリアを移動できます。

ピーキングで確認する

フォーカス設定 > MF アシストをフォーカスピーキングに設定すると、コントラストの高い輪郭部分が強調されます。フォーカスリングを回して、撮影したい被写体が強調されるように調整してください。

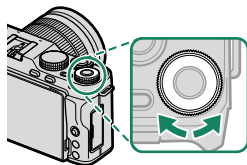



露出補正

画像の明るさを調整できます。



リアコマンドダイヤルを回して、露出を補正します。



 モードによって補正段数が制限されることがあります。

AE/AF ロック撮影

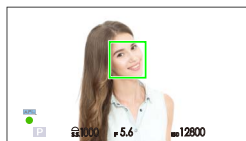
シャッターボタンを半押しすると、ピントと明るさが固定されます。



1 AE/AF ロックしたい被写体に AF フレームを合わせます。

2 シャッターボタンを半押しします。

被写体に露出が合い、AF フレームが緑点灯します。

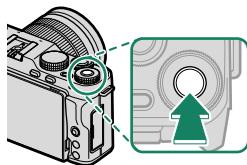



3 そのままシャッターボタンを全押しして、撮影します。

ファンクションボタンによる AE/AF ロック

Fn1 ボタンに機能を割り当てて AE/AF ロックできます。

割り当て	説明
AE-LOCK	露出が固定 (AE ロック) されます。
AF-LOCK	ピントが固定 (AF ロック) されます。
AE+AF LOCK	ピントと露出の両方が固定されます。



 Fn1 ボタンで AE/AF ロックしたときは、シャッターボタンを半押ししてもロックは解除されません。

WB ホワイトバランス

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。



1 MENU/OK ボタンを押します。

撮影メニューが表示されます。

2 画質設定 > ホワイトバランスを選び、MENU/OK ボタンを押します。

ホワイトバランスの設定画面が表示されます。

3 ホワイトバランスを選びます。

- MENU/OK ボタンを押すと、WB シフト画面が表示され、シフト量を調整できます。フォーカスレバーでホワイトバランスのシフト量を調整します。












- ホワイトバランスを選んだあとに、DISP/BACK ボタンを押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。




工場出荷時の設定では、タッチメニューの **T.B. Fn1** にホワイトバランスが割り当てられています (179)。**T.B. Fn1** を押して、タッチ操作でホワイトバランスを調整することもできます。

ホワイトバランスの設定


設定	説明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 AUTO をおすすめします。
	白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを設定します。
	色温度を設定します。
	晴天の屋外での撮影用です。
	曇天や日陰などでの撮影用です。
	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
	白色蛍光灯の下での撮影用です。
	電球、白熱灯の下での撮影用です。
	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。




- 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO**の設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。
- フラッシュ発光時は、**AUTO**/設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください。


カスタムホワイトバランス

カスタムホワイトバランスでは、自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

 白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。


1 ホワイトバランスの設定画面からカスタムホワイトバランス () を選びます。

2 白い紙などの被写体を画面いっぱいに表示します。

 **MENU/OK** ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。



3 シャッターボタンを全押しして設定します。

 前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに **DISP/BACK** ボタンを押します。


4 「GOOD!」と表示されたら、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

- 「OVER」または「UNDER」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。
- 「OVER」と表示されたときは - (マイナス) 側に露出補正してから、再度測定してください。
- 「UNDER」と表示されたときは + (プラス) 側に露出補正してから、再度測定してください。



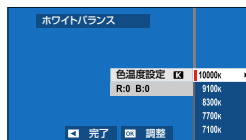
K 色温度を設定する

色温度を設定すると、画像全体の色味を調整できます。

 色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。


1 ホワイトバランスの設定画面から **K** を選びます。

色温度の一覧が表示されます。



2 フォーカスレバーで色温度を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

WB シフト画面が表示されます。

 シフト量を調整しないときは、色温度を選んだ後に **DISP/BACK** ボタンを押してください。

3 フォーカスレバーでホワイトバランスのシフト量を調整します。

4 **MENU/OK** ボタンを押します。

色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K [ケルビン]）で表したものです。色温度が低いほど赤味を帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。



セルフタイマー

撮影者を含めた集合写真や、シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐための撮影には、セルフタイマーをお使いください。また、条件を満たすと自動的に撮影されるセルフタイマーも用意されています。



1 MENU/OK ボタンを押します。

撮影メニューが表示されます。

2 撮影設定 > セルフタイマーを選びます。

セルフタイマーの設定画面が表示されます。

3 セルフタイマーを設定します。

セルフタイマー		セルフタイマー	
🕒 2 秒後撮影	80	💞 カップルタイマー撮影	81
🕒 10 秒後撮影	80	👨‍👩‍👧 グループタイマー撮影	82
👤 フェイスオートシャッター	80	OFF	—
😊 スマイル撮影	81		

4 MENU/OK ボタンを押します。



セルフタイマーが設定されます。



- ⚠️ シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならないことがあります。
- セルフタイマー設定は、電源をオフにすると自動的に解除されます。

- 📄 タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。
- セルフタイマーを 👤 (フェイスオートシャッター)、😊 (スマイル)、💞 (カップル)、👨‍👩‍👧 (グループ) に設定すると、📷 フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定は自動的に顔検出 ON / 瞳 AF OFF になります。セルフタイマーを OFF にすると、設定は元に戻ります。

2 秒後撮影 / 10 秒後撮影

シャッターボタン全押し後、2 秒または 10 秒後にシャッターがきれます。

- 1 セルフタイマーの設定画面で、 (2 秒) または  (10 秒) を選びます。

設定	説明
 2 秒 (2 秒後撮影)	シャッターボタンを全押ししてから 2 秒後にシャッターがきれます。シャッターボタンを押すときにカメラが動くのを防ぐときなどに使用します。セルフタイマー開始と同時にカメラ前面のセルフタイマーランプが点滅します。
 10 秒 (10 秒後撮影)	シャッターボタンを全押ししてから 10 秒後にシャッターがきれます。撮影者を含めた集合写真を撮影するときなどに使用します。カメラ前面のセルフタイマーランプが点灯し、撮影直前に点滅します。


- 2 シャッターボタンを全押しすると、セルフタイマーが開始します。

画面には、シャッターが切れるまでの秒数が表示されます。

- 3 カウントダウンが終わると同時に自動的に撮影されます。

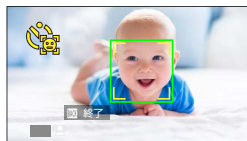
フェイスオートシャッター


被写体に人物の正面顔を認識すると自動的に撮影されます。

- 1 セルフタイマーの設定画面で、 (フェイスオートシャッター) を選びます。

- 2 カメラを被写体 (人物) に向けると、顔検出が行われます。

- 3 顔検出で正面顔が検出されると、自動的に撮影されます。



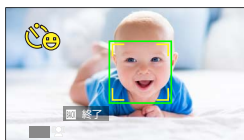
-  前髪が目にかかっていたり、カメラに対して正面に向いていなかったりすると、検出されにくくなります。

スマイル撮影

被写体（人物）が笑顔になった瞬間に自動的に撮影されます。

- 1 セルフタイマーの設定画面で、😊（スマイル）を選びます。
- 2 カメラを被写体（人物）に向けると、顔検出が行われます。
- 3 顔検出で笑顔が検出されると、自動的に撮影されます。

❗ 前髪が目にかかっていたり、カメラに対して正面に向いていなかったりすると、検出されにくくなります。



📁 顔検出の1人でも笑顔が検出されると、自動的に撮影されます。

カップルタイマー撮影

設定した距離に2人の顔が近づくと自動的に撮影されます。

- 1 セルフタイマーの設定画面で、❤️（カップル）を選びます。
- 2 2人の距離レベルを選びます。

- LV.1 : 手をつなぐ距離
- LV.2 : 肩を寄せた距離
- LV.3 : 顔を寄せた距離

📁 撮影画面には、❤️の数で距離レベルを表示します。


- 3 検出された2人の顔の距離が設定した距離レベルになると、カウントダウン（1秒）が開始され自動的に撮影されます。



📁 設定した距離レベル（❤️の数）にならないと、カウントダウンは開始されません。

グループタイマー撮影

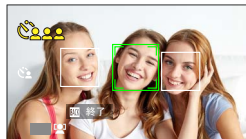
設定した人数が揃ったときに自動的に撮影されます。



1 セルフタイマーの設定画面で、（グループ）を選びます。

2 撮影する人数（1人～4人）を選びます。

 撮影画面には、の数で人数を表示します。

3 検出された顔が設定した人数になると、カウントダウン（2秒）が開始され自動的に撮影されます。



 設定した人数（の数）にならないと、カウントダウンは開始されません。



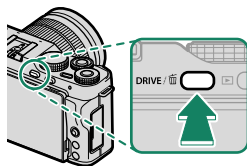
ブラケティング撮影

一度シャッターボタンを押すと、それぞれの設定値を変えながら複数枚連続で撮影するブラケティング撮影ができます。



1 DRIVE ボタンを押します。

ドライブモード設定画面が表示されます。



2 フォーカスレバーの上下でブラケティングの種類を選びます。

ドライブモード	📖	ドライブモード	📖
AE ブラケティング	84	ホワイトバランス BKT	84
ISO ブラケティング	84	ダイナミックレンジ BKT	85
フィルムシミュレーション BKT	84	HDR	85

3 フォーカスレバーの左右で変化量などの設定値を選びます。


- AE ブラケティングの設定は撮影メニューの 撮影設定 > AE ブラケティング設定で設定します。
- フィルムシミュレーション BKT の設定は撮影メニューの 撮影設定 > フィルムシミュレーション BKT で設定します。

4 MENU/OK ボタンを押します。

ブラケティングの種類と設定が決定されます。

5 撮影します。

AEブラケットイング

一度シャッターボタンを押すと、設定に応じて画像の明るさ（露出）を「適正」、「オーバー（明るい）」、「アンダー（暗い）」に変えながら、連続または1コマずつで撮影します。撮影メニューの  **撮影設定** > **AEブラケットイング設定** で撮影コマ数やステップの幅を設定できます。




アンダーまたはオーバーの露出がカメラの露出制御範囲を超えるときは、設定した**ステップ数**で撮影されません。

ISOブラケットイング

撮影した1枚の画像から、設定したISO感度を変化させて3枚の画像を作成します。変化させるISO感度は**±1**、**±²/₃**、**±¹/₃**から選べます。

フィルムシミュレーション BKT

撮影した1枚の画像から、それぞれ設定したフィルムシミュレーションの設定に変化させて3枚の画像を作成します。変化させるそれぞれのフィルムシミュレーションの設定は撮影メニューの  **撮影設定** > **フィルムシミュレーション BKT** で設定します。

ホワイトバランス BKT

一度シャッターボタンを押すと、「センター（ノーマル）」、「ブルー（プラス）」、「アンバー（マイナス）」の3枚の画像を作成します。設定したホワイトバランスから**±1**、**±2**、**±3**ステップの幅を設定できます。

ダイナミックレンジ BKT

一度シャッターボタンを押すと、ダイナミックレンジの設定を「100%」、「200%」、「400%」の順に変えながら、3枚連続で撮影します。



ISO感度を固定値に設定しているときは自動的にISO 800以上になり、ISO感度を**AUTO1**、**AUTO2**、**AUTO3**に設定しているときはISO 200～800になることがあります。ダイナミックレンジブラケティングを解除すると、ISO感度は元の設定に戻ります。

HDR

一度シャッターボタンを押すと、露出の異なる写真を複数枚撮影し、合成することで白飛びや黒つぶれの少ない幅広いダイナミックレンジを持つ画像（ハイダイナミックレンジイメージ）を作成します。変化量は**AUTO**、**1.0EV**、**1.5EV**、**2.0EV**、**2.5EV**、**3.0EV**から選べます。



- 動いている被写体の場合、合成処理に失敗することがあります。
- 撮影中にカメラを大きく動かした場合や撮影シーンによっては、合成されずに記録されることがあります。
- 撮影中はカメラをしっかり構え続けてください。



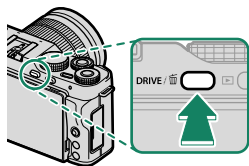
連続撮影（連写）

シャッターボタンを押し続けている間、連続撮影します。動いている被写体などを連続して撮影するのに適しています。



1 DRIVE ボタンを押します。

ドライブモード設定画面が表示されます。



2 フォーカスレバーの上下で 連写を選びます。

3 フォーカスレバーの左右で連写速度（ 高速 / 低速）を選びます。

4 MENU/OK ボタンを押します。

連写が設定されます。

5 撮影します。

シャッターボタンを押し続けている間、手順3の連写速度で連続撮影します。



シャッターボタンを放すか、メモリーカードに空きがなくなると、撮影は自動的に終了します。



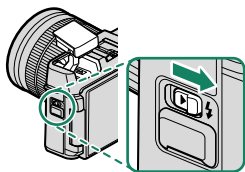
- 連写中にファイル No. が 999 を超えると、次のフォルダにまたがって記録されます。
- 連写中にメモリーカードの容量が不足すると、記録可能枚数分まで記録されます。ただし、連写モードによっては、空き容量がないときは撮影できない場合があります。
- 連写枚数が増えると、連写速度が遅くなる場合があります。
- シャッタースピード、ISO 感度、シーン、フォーカスモードによっては、連写速度が変わる場合があります。
- 撮影条件によっては、連写速度が低下します。
- フラッシュは使用できません。
- 連続撮影では、撮影した画像を記録する時間が長くなる場合があります。

フラッシュ撮影


夜や暗い室内で撮影をするときは、フラッシュをお使いください。







- 1 フラッシュポップアップスイッチをスライドして、フラッシュをポップアップします。




- 2 MENU/OK ボタンを押します。
撮影メニューが表示されます。

- 3  フラッシュ設定からフラッシュモードを選び、MENU/OK ボタンを押します。
フラッシュ設定画面が表示されます。







- 4 使用するフラッシュモードを選びます。

設定	説明
オート (表示なし)	カメラが暗いと判断したときにフラッシュが発光します。
 強制発光	周囲の明るさにかかわらず、フラッシュが発光します。
 S4 スローシンクロ	夜景と人物の両方をきれいに撮影できます。明るい場所では露出オーバーになることがあります。
 後幕シンクロ	シャッターを閉じる直前にフラッシュが発光します。
 コマンダー	スレーブ対応の外部フラッシュを同調させます。
③ 発光禁止	周囲や被写体の明るさに関わらず、フラッシュは発光しません。暗いときは三脚の使用をおすすめします。フラッシュを閉じて発光禁止になります。

- 5 MENU/OK ボタンを押します。
フラッシュモードが設定されます。

- ❗ ご使用の交換レンズや撮影距離によっては、フラッシュのケラレが発生することがあります。
 - ホットシューにアクセサリーを取り付けた状態でフラッシュをポップアップすると、フラッシュがアクセサリーに触れる場合がありますので十分にご注意ください。
- 📷 フラッシュが発光するときは、シャッターボタンを半押しすると、画面に  が表示されます。
 - フラッシュは予備発光と本発光で数回発光します（コマンダーモードを除く）。撮影が完了するまでカメラを動かさないでください。

顔検出と赤目補正がオンのときのフラッシュ設定について

暗い場所でフラッシュ撮影したときに、フラッシュの光が目の中で反射することにより瞳が赤く写る現象を「赤目現象」といいます。  **フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定の顔検出**と  **フラッシュ設定 > 赤目補正**を ON にした場合、フラッシュ発光時には必ず赤目軽減を行います。そのためフラッシュモードは、（赤目軽減オートフラッシュ）、（赤目軽減 + 強制発光フラッシュ）、（赤目軽減 + スローシンクロ）、（赤目軽減 + 後幕シンクロ）から設定できるようになります。

フラッシュ使用時のシャッタースピードについて

フラッシュ撮影したときのシャッタースピード同調速度は $1/180$ 秒以下です。

別売フラッシュについて

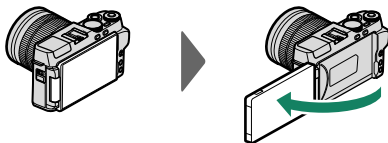
このカメラでは、別売の富士フィルム製クリップオンフラッシュが使用できます。

他社製のフラッシュをお使いになる時のご注意

カメラのホットシューに 300V 以上の電圧がかかるフラッシュは使用できません。

自分撮り（セルフイー）

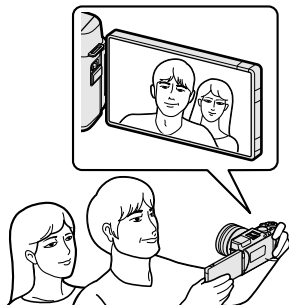
自分撮りをするときには、液晶モニターを下図のように回転させます。



- 液晶モニターを 180° 回転すると、自動的に **フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定** が **顔検出 ON / 瞳 AF AUTO** になります。
- 液晶モニターを 180° 回転すると、**表示設定 > 撮影画像表示** の設定にかかわらず、撮影後必ず撮影結果が 1.5 秒表示されます。
- 液晶モニターを 180° 回転しているときは、**Fn1** ボタンを押すと撮影できます。

鏡像表示について

液晶モニターを 180° 回転すると、画像が鏡像表示になります。自分撮りをするときには鏡を見るようなイメージで撮影できます。



撮影メニュー


6

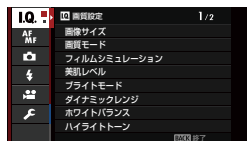
I.Q. 撮影メニュー（画質設定）

撮影時の画質に関する機能を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、

I.Q.（画質設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。




画像サイズ

記録する画像の大きさを変更できます。

設定値

L 4:3 (5328×4000)	L 3:2 (6000×4000)	L 16:9 (6000×3376)	L 1:1 (4000×4000)
M 4:3 (3712×2784)	M 3:2 (4240×2832)	M 16:9 (4240×2384)	M 1:1 (2832×2832)
S 4:3 (2656×1992)	S 3:2 (3008×2000)	S 16:9 (3008×1688)	S 1:1 (2000×2000)


 **画像サイズ**は、カメラの電源をオフにしても撮影モードを切り替えても保持されます。

画質モード

用途に合わせて記録画像の圧縮率を変更できます。

設定	説明
FINE	圧縮率を低くして画質を優先するモードです。
NORMAL	圧縮率を高くして撮影枚数を優先するモードです。
FINE+RAW	FINE で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
NORMAL+RAW	NORMAL で撮影した JPEG 画像と、RAW ファイルの両方を保存します。
RAW	RAW ファイルのみを保存します。













ファンクションボタンを使って RAW 画像を撮影する

画質モードで **FINE** または **NORMAL** を選択していても、ファンクションボタンに **RAW** を割り当てておくと、ファンクションボタンを押すだけで RAW 画像を撮影できます（ 178）。再度ファンクションボタンを押すか、1 コマ撮影すると、元の設定（左列）に戻ります。

設定されている 画質モード	ファンクションボタン (RAW を割り当て済み) を押した場合
FINE	FINE+RAW
NORMAL	NORMAL+RAW
FINE+RAW	FINE
NORMAL+RAW	NORMAL
RAW	FINE

フィルムシミュレーション

撮影時の発色や階調を変更できます。被写体に応じてフィルムを再現した設定から選べます。表現意図に応じてフィルムを選ぶ感覚で、色再現や階調表現を使い分けることができます。

設定	説明
 PROVIA/ スタンダード	標準的な発色と階調で人物、風景など幅広い被写体に適しています。
 Velvia/ ビビッド	高彩度な発色とメリハリのある階調表現で、風景や花の撮影に適しています。
 ASTIA/ ソフト	肌色のつながりを良くしつつ、青空も鮮やかに写るようになります。屋外のポートレートに適しています。
 クラシッククローム	発色を抑えて暗部のコントラストを高め、落ち着いた表現に適しています。
 PRO Neg. Hi	 PRO Neg. Std に比べて階調をやや硬めにしています。屋外でのポートレートに適しています。
 PRO Neg. Std	全体的に落ち着いたトーンになります。さらに肌色再現の階調のつながりを重視し、スタジオでのポートレート撮影に適しています。
 モノクロ(フィルターなし)	モノトーン表現を活かした印象的な仕上がりの撮影に適しています。
 モノクロ+Ye フィルター	被写体のコントラストをやや強調した表現に適しています。青空が少し濃くなります。
 モノクロ+R フィルター	被写体のコントラストを強調した表現に適しています。青空が濃くなります。
 モノクロ+G フィルター	唇や肌などの調子が出る階調表現で、ポートレートに適しています。
 セピア	ウォーム調の色合いであたたかみのある雰囲気表現に適しています。



- フィルムシミュレーション設定時も、トーンやシャープネスなどの変更が可能です。
- フィルムシミュレーションについては、以下のサイトも併せてご覧ください。
<http://fujifilm-x.com/ja/x-stories/the-world-of-film-simulation-episode-1/>

美肌レベル

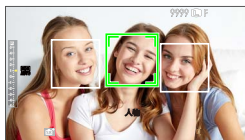
美肌効果のレベルを変更できます。効果を確認しながらレベルバーで調整します。



❗ 美肌レベルを変更するときは、**フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定を顔検出 ON** にしてください。

ブライトモード

ON にすると、撮影モードを **SR+** にしているときに、ブライトモードが使用できます。ブライトモードを使用するとハイライトからシャドーまでをより鮮明に撮影できます。



設定値

ON

OFF

ダイナミックレンジ

撮影する画像のダイナミックレンジを変更できます。広いダイナミックレンジでの撮影は、明暗差の強い建物、コントラストの高い被写体（光と波、強い光と紅葉、青空での人物撮影など）、白い被写体（建物、動物、白い服でのポートレート撮影など）などのシーンに効果的です。選んだダイナミックレンジの広さで撮影します。

設定		おすすめ用途
AUTO (自動調整)	☺100 100%	曇天や室内では、コントラストのある画像が撮影できます。 ⇕
	☺200 200%	
	☺400 400%	コントラストの強いシーンでの、白とびを抑えます。












ダイナミックレンジが広くなるほど、画像にノイズが増えます。状況に応じてダイナミックレンジ設定を使い分けてください。




- ダイナミックレンジが **AUTO** のときは、☺100 100%または ☺200 200%で自動調整され、シャッターボタンを半押しすると絞りとシャッタースピードが表示されます。
- ☺200 200%は ISO 感度が ISO 400 以上 ISO 12800 以下、☺400 400%は ISO 800 以上 ISO 12800 以下のときに設定できます。

ホワイトバランス

ホワイトバランスを太陽光や照明などの光源に合わせて設定することにより、見た目に近い色で撮影できます。

設定	説明
AUTO	カメラが自動的にホワイトバランスを設定します。通常の撮影では、 AUTO をおすすめします。
	白い紙などを使って、自分でホワイトバランスを設定します。
	色温度を設定します。
	晴天の屋外での撮影用です。
	曇天や日陰などでの撮影用です。
	昼光色蛍光灯の下での撮影用です。
	昼白色蛍光灯の下での撮影用です。
	白色蛍光灯の下での撮影用です。
	電球、白熱灯の下での撮影用です。
	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。



- 人物の顔をアップで撮影するときや特殊な光源を使って撮影するときなど、**AUTO**の設定で望んだような結果が得られないときは、光源にあったホワイトバランスを選ぶかカスタムホワイトバランスをお使いください。
- フラッシュ発光時は、**AUTO**/設定時のみフラッシュ用のホワイトバランスになります。光源の雰囲気を残したい場合は、フラッシュを発光禁止に設定してください。

WB シフト


ホワイトバランスを選んだあとに、**MENU/OK** ボタンを押すと、WB シフト画面が表示され、シフト量を調整できます。フォーカスレバーでホワイトバランスのシフト量を調整します。



- ホワイトバランスを選んだあとに、**DISP/BACK** ボタンを押すと、シフト量を調整しないでホワイトバランスが設定されます。


■ カスタムホワイトバランス

カスタムホワイトバランスでは、自分でホワイトバランスを設定します。あらかじめ白い紙などの被写体をご用意ください。

 白い紙の代わりに、色のついたものを使用すると、それを白の基準にするため、色味を意図的に変更することができます。


1 ホワイトバランスの設定画面からカスタムホワイトバランス (WB) を選びます。

2 白い紙などの被写体を画面いっぱいに表示します。

 **MENU/OK** ボタンを押すと、ホワイトバランスシフト量を調整できます。



3 シャッターボタンを全押しして設定します。

 前回取得したホワイトバランスを使用するには、シャッターボタンの代わりに **DISP/BACK** ボタンを押します。


4 「GOOD!」と表示されたら、**MENU/OK** ボタンを押して決定します。

- 「OVER」または「UNDER」と表示された場合は、ホワイトバランスを正しく測定できていません。
- 「OVER」と表示されたときは - (マイナス) 側に露出補正してから、再度測定してください。
- 「UNDER」と表示されたときは + (プラス) 側に露出補正してから、再度測定してください。



K 色温度を設定する

色温度を設定すると、画像全体の色味を調整できます。

 色温度を設定することで、青味や赤味を強調したイメージの画像や、実際の色味とは大きく異なる画像を意図的に撮影できます。


1 ホワイトバランスの設定画面から **K** を選びます。

色温度の一覧が表示されます。



2 フォーカスレバーで色温度を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

WB シフト画面が表示されます。

 シフト量を調整しないときは、色温度を選んだあとに **DISP/BACK** ボタンを押してください。

3 フォーカスレバーでホワイトバランスのシフト量を調整します。

4 **MENU/OK** ボタンを押します。

色温度について

色温度とは、光の色を客観的な絶対温度（単位：K [ケルビン]）で表したものです。色温度が低いほど赤味を帯び、色温度が高くなるほど青味を帯びた光色になります。

ハイライトトーン

画像のハイライト部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。ハイライト部の調子を硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。

設定値				
-2	-1	0	+1	+2

シャドウトーン

画像のシャドウ部の調子を軟らかくしたり、硬くしたりできます。シャドウ部の調子を硬くしたいときは「+」側に、軟らかくしたいときは「-」側に設定します。

設定値				
-2	-1	0	+1	+2

カラー

画像の色の濃さを設定します。撮影画像の色を濃くしたいときは「+」側に、薄くしたいときは「-」側に設定します。

設定値				
-2	-1	0	+1	+2

シャープネス

画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。輪郭を強調したいときは「+」側に、ソフトにしたいときは「-」側に設定します。

設定値				
-2	-1	0	+1	+2

ノイズリダクション

高い解像感を優先するかノイズの少なさを優先するか、撮影者が重視するポイントによって、ノイズリダクションの強弱を調整できます。高感度における質感描写の調整ができます。よりノイズを低減してなめらかにしたいときは「+」側に、画像の輪郭を残したいときは「-」側に設定します。

設定値				
-2	-1	0	+1	+2

長秒時ノイズ低減

ON にすると、長時間露光撮影時のノイズを低減できます。

設定値	
ON	OFF


色空間


画像の使用目的に合わせて、カラースペースを選択できます。

設定	説明
sRGB	一般的なディスプレイの基準色再現域で、通常の撮影では sRGB に設定します。
Adobe RGB	より広い色再現域を持つ色空間で、商用印刷用途などに適しています。

撮影メニュー（フォーカス設定）

撮影時のフォーカスに関する機能を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
（フォーカス設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。









フォーカスエリア選択

フォーカスモードが**シングル AF** または**コンティニユアス AF** のときのピント合わせのエリアを変更できます。フォーカスモードが**マニュアルフォーカス** のときは、ピントを合わせる位置や拡大表示する位置を変更できます。

フォーカスモード










ピント合わせの方法を変更できます。

フォーカスモード	内容
 マニュアルフォーカス	意図した場所にピントを手動で合わせます。オートフォーカスの苦手な被写体を撮影するときや意図的にピントをずらしたいときなどに使用します（  71）。
 コンティニユアス AF	コンティニユアス AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが常にピントを合わせ続けます。動きのある被写体の撮影に適しています。
 シングル AF	シングル AF で撮影します。シャッターボタンを半押しすると、カメラが一度だけ自動的にピントを合わせます。スナップや風景など動きのない被写体の撮影に適しています。

-  ・レンズ側で **M**（マニュアルフォーカス）を設定できる交換レンズをご使用の場合は、フォーカスモードを**シングル AF** または**コンティニユアス AF** に設定していてもマニュアルで撮影できます。
- ・フォーカスモードが**シングル AF** または**コンティニユアス AF** のときは、 **フォーカス設定 > プリ AF** を **ON** にすると、シャッターボタンを半押ししていないときも常にピントを合わせ続けます。

AF モード

フォーカスモードが**シングル AF**または**コンティニユアス AF**のときの AF モードを設定します。

設定	用途例
 シングル ポイント	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアで、ピントを合わせます。  フォーカス設定 > フォーカス点数切り替え でフォーカスエリアポイントの点数を変更できます。被写体をピンポイントで撮影するときに便利です。
 ゾーン	フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアで、ピントを合わせます。動く被写体を撮影するときに便利です。
 ワイド/ トラッキング	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスモードがシングル AF のとき（ワイド）： シャッターボタンを半押しすると、画面内にあるコントラストが高い被写体にピントを合わせます。ピントの合った複数の位置に AF エリアが表示されます。 ● フォーカスモードがコンティニユアス AF のとき（トラッキング）： フォーカスエリア選択で設定したフォーカスエリアにピントを合わせます。シャッターボタンを半押ししている間は被写体の動きに合わせてピントを合わせ続けます。 <p>小さい被写体や高速で動く被写体の場合は、オートフォーカスが合わないことがあります。</p>
 オール	フォーカスエリアの選択画面を表示しているときにリアコマンドダイヤルを回すと（  68、69）、  シングルポイント 、  ゾーン 、  ワイド/トラッキング の順でフォーカスエリアを選択できます。

フォーカス点数切り替え

AFモードがシングルポイントのときやマニュアルフォーカス時（フォーカスモードがマニュアルフォーカスのとき）のフォーカスエリアポイントの点数を変更できません。

設定	説明
117点 (9 × 13)	117点(9 × 13)のフォーカスエリアポイントから選べます。
425点 (17 × 25)	425点 (17 × 25) のフォーカスエリアポイントから選べます。

プリ AF

ONにすると、シャッターボタンを半押ししていないときもAFサーチを実行します。常にAFサーチが行われるため半押し後のピント合わせが速くなります。シャッターチャンス逃したくないときに有効です。

設定値	
ON	OFF

! ONにすると、バッテリーの消費が早くなります。

AF 補助光

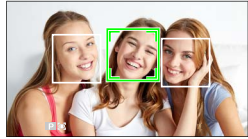
ONにすると、シャッターボタンを半押ししてからピントが合うまでの間、AF補助光が発光します。AF補助光は、暗い被写体のピントを合わせやすくするための光です。

設定値	
ON	OFF

- !**
- **基本設定 > 電子音&フラッシュをOFF**にすると、AF補助光は発光しません。
 - シーンによっては、発光してもピントが合いづらいことがあります。
 - 被写体に近づいた撮影では、AF補助光の効果が十分に得られない場合があります。
 - 人の目に近づけて発光させないでください。

顔検出 / 瞳 AF 設定

顔検出を使うと、カメラが人物の顔を検出し、背景よりも顔にピントと明るさを合わせ、人物を明るく目立つように撮影できます。また、**瞳 AF** で、左右どちらの目にピントを合わせるかを選べます。人物が左右に並んでいるときなど、背景にピントが合いがちなシーンでの撮影に適しています。



設定	説明
顔検出 ON	<p>顔検出を使用します。さらに瞳 AF の動作を選べます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 瞳 AF OFF：顔検出のみ行い、瞳 AF は行いません。 ● 瞳 AF AUTO：顔を検出したときにカメラが自動的に左右のどちらかの目にピントを合わせます。 ● 瞳 AF 右目優先：顔を検出したときに右目にピントを合わせます。 ● 瞳 AF 左目優先：顔を検出したときに左目にピントを合わせます。
OFF	顔検出も瞳 AF も使用しません。

- ❗
- 撮影の直前に被写体やカメラが動いたときは、緑色の枠の位置から顔がずれて写ることがあります。
 - 各撮影モードでピントは人物の顔に合いますが、モード設定に応じた明るさになるため、人物の顔が適正な明るさにならないことがあります。
 - 撮影モードが **SR+**（アドバンスド SR オート）、**美肌**（**美肌**）、**SP** の **人物** のときは自動的に**顔検出 ON** > **瞳 AF AUTO** になります。

- 📄
- 顔を検出すると顔の上に緑色の枠が表示されます。
 - カメラが複数の顔を検出した場合、中央付近の顔の上に緑色の枠が、その他の顔の上に白い枠が表示されます。
 - 縦位置撮影時も顔を検出できます。
 - メガネをかけた状態や髪の毛で目が隠れている状態など瞳を検出できない場合があります。瞳を検出できず目にピントを合わせることができない場合は、顔を検出して顔にピントを合わせます。

AF+MF

ON に設定すると、フォーカスモードがシングル AF 時に AF ロック状態（シャッターボタンを半押ししたときなど）でフォーカスリングを回すと AF ロックが解除され、マニュアルフォーカスで撮影できます。

設定値

ON

OFF



- 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスモードをシングル AF、レンズ側を距離指標モード（MF）に設定すると、この機能を使用できます。このとき、レンズの距離指標は無効になります。
- 距離指標付レンズをお使いの場合は、フォーカスリングをあらかじめ距離指標の中央の位置にセットしてください（フォーカスリングの距離指標を最短距離または無限遠にセットすると、ピントが合わない場合があります）。



MF アシストでフォーカスピーキングを選んでいる場合は、フォーカスピーキングでピントの確認ができます。

AF+MF 時のフォーカス位置拡大表示について

フォーカス設定 > フォーカスチェックを ON にすると、AF モードがシングルポイントのときにエリア選択位置でフォーカス位置を拡大表示できます。


MF アシスト

マニュアルフォーカス時（フォーカスモードがマニュアルフォーカスのとき）のピント確認方法を設定します。

設定	説明
スタンダード	通常表示です。
フォーカスピーキング	コントラストの高い輪郭部分を強調して表示します。表示色とピーキングレベルの組み合わせを選べます。

フォーカスチェック

ON にすると、マニュアルフォーカス時（フォーカスモードがマニュアルフォーカスのとき）にフォーカスリングを回すと自動的に拡大表示され、ピントの確認がしやすくなります。

設定値	
ON	OFF
 <ul style="list-style-type: none"> フォーカスレバーを中央に押すと通常表示に戻ります。 拡大表示する位置は、フォーカスエリア選択で変更できます。 	

測光 & フォーカスエリア連動

ON にすると、測光がスポットで AF モードがシングルポイントのときにフォーカスフレームの位置に連動して測光します。


設定値	
ON	OFF

レリーズ優先 / フォーカス優先

シャッターボタンを全押ししたときの動作を設定できます。フォーカスモードが AF-S（シングル AF）のときと、AF-C（コンティニュアス AF）のときのそれぞれを個別に設定できます。

設定	説明
レリーズ	ピントが合っていないくてもすぐに撮影できます。シャッタータイミングを優先したいときに設定します。
フォーカス	ピントが合うまで撮影できません。ピントを合わせてから撮影したいときに設定します。

タッチパネルモード

液晶画面（LCD）のタッチ操作で、撮影やフォーカスエリア選択ができるように設定できます（ 15）。

📷 撮影メニュー（撮影設定）

撮影時の設定を設定できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
📷（撮影設定）タブを選びます。

📷 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。






















シーン選択


モードダイヤルが **SP** のときに、好きなシーンポジションを選んで、モードダイヤルに割り当てることができます。

シーン	機能
👤 人物	人物の撮影に適しています。
🌃* 夜景（三脚）	スローシャッターでの夜景撮影に適しています。
🎆 花火	スローシャッターで打ち上げ花火を色鮮やかに撮影します。
🔥 夕焼け	夕焼けを赤く鮮やかに撮影します。
❄️ スノー	白く輝く雪景色での撮影に適しています。
🏖️ ビーチ	日差しの強い浜辺での撮影に適しています。
🌊 水中	水中での撮影を想定し、青かぶりを軽減します。
👥 パーティー	室内での結婚式やパーティーの撮影で使用します。
🌸 花	花を色鮮やかに撮影します。
📄 文字の撮影	書類やホワイトボードなどを撮影するときに使用します。
🖼️ 多重露出	2枚の画像を重ねて1つの画像に合成します（📖 59）。
🚗 ライトトレイル	車のヘッドライトや花火など、光の軌跡を撮影したいときに適しています。

アドバンストフィルター







モードダイヤルが **Adv.** のときのアドバンストフィルター撮影に使用するアドバンストフィルターを選べます。

アドバンストフィルター	効果
 トイカメラ	レトロな雰囲気のあるトイカメラ風な写真に仕上がります。
 ポップカラー	コントラストと彩度を強調します。
 ハイキー	全体的に階調を明るくし、コントラストを抑えます。
 ローキー	全体を暗く落着かせつつ、ハイライト部分を強調します。
 魚眼	魚眼レンズのような効果が得られます。
 ダイナミックトーン	ダイナミックな階調表現で、幻想的な効果を加えます。
 HDR アート	階調とダイナミックレンジを強調し、アート調の効果を加えます。
 ミニチュア	ジオラマ風に上下をぼかします。
 クロススクリーン	光源の光を放射状に強調します。クロススクリーンの効果は撮影画像でご確認ください。
 リッチ&ファイン	卓上の料理などを撮影するのに適した効果を与えます。
 モノクロ（近赤外風）	近赤外線カメラ風に撮影します。
 パートカラー（レッド）	特定の色域（カッコ内の色）だけを残し、残りをモノクロにします。
 パートカラー（オレンジ）	
 パートカラー（イエロー）	
 パートカラー（グリーン）	
 パートカラー（ブルー）	
 パートカラー（パープル）	
 霞除去	霞成分を取り除きクリアに撮影します。
 ソフトフォーカス	全体にぼかしを加え、やわらかな雰囲気を与えます。

 被写体やカメラの設定によっては、画像が粗くなったり意図したような明るさや色みにならなかつたりする場合があります。

セルフタイマー




シャッターボタンを全押ししてからセルフタイマーが開始されるまでの時間を設定できます。また、条件を満たすと自動的に撮影されるセルフタイマーも用意されています。

セルフタイマー	機能
 2秒	シャッターボタンを全押ししてから2秒後にシャッターがきれます (図 80)。
 10秒	シャッターボタンを全押ししてから10秒後にシャッターがきれます (図 80)。
 フェイスオートシャッター	被写体に人物の正面顔を認識すると自動的に撮影されます (図 80)。
 スマイル	被写体 (人物) が笑顔になった瞬間に自動的に撮影されます (図 81)。
 カップル	設定した距離に2人の顔が近づくと自動的に撮影されます (図 81)。
 グループ	設定した人数が揃ったときに自動的に撮影されます (図 82)。
OFF	セルフタイマーを使用しません。



- シャッターボタンを押すときは、レンズの前に立たないでください。ピントが合わなかったり、適正な明るさにならなかったりすることがあります。
- セルフタイマー設定は、電源をオフにすると自動的に解除されます。



- タイマーを途中で止めるには、**DISP/BACK** ボタンを押します。
- セルフタイマーを  (フェイスオートシャッター)、 (スマイル)、 (カップル)、 (グループ) に設定すると、**フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定** は自動的に **顔検出 ON / 瞳 AF OFF** になります。セルフタイマーを **OFF** にすると、設定は元に戻ります。

インターバルタイマー撮影

設定した撮影間隔で自動的に設定回数分の撮影を行う、インターバルタイマー撮影ができます。インターバルタイマーで撮影した静止画をつなぎ合わせて、1つの動画（タイムラプス動画）として保存することもできます。

- 1 撮影メニューから **撮影設定** > **インターバルタイマー撮影**を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

インターバルタイマー撮影の設定画面が表示されます。

- 2 フォーカスレバーで撮影間隔と撮影回数を設定し、**MENU/OK** ボタンを押します。

記録方式設定画面が表示されます。



- 3 フォーカスレバーで記録方式を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

開始時間設定画面が表示されます。

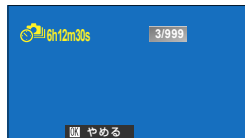
- **静止画**：撮影した静止画のみを記録します。
- **静止画+タイムラプス動画**：撮影した静止画と静止画をつなぎ合わせたタイムラプス動画を記録します。

タイムラプス動画の画像サイズとフレームレートは**タイムラプス動画モード**で変更できます。

- 4 フォーカスレバーで開始時間を設定し、**MENU/OK** ボタンを押します。




5 インターバルタイマー撮影が開始されます。



! バルブ撮影、パノラマ撮影、多重露出撮影のインターバルタイマー撮影はできません。また、連写でインターバルタイマー撮影すると、1回の撮影は1コマ撮影となります。

- 📷**
- 三脚のご使用をおすすめします。
 - 撮影中のバッテリー切れに注意してください。別売の AC パワーアダプター AC-9V、DC カプラー CP-W126 を併せてご使用ください。
 - 撮影する条件によっては、インターバルタイマー撮影中の画面表示が消えることがあります。撮影の数秒前になると画面表示が復帰します。
 - 画面の表示が消えているときにシャッターボタンを押すと、画面表示が復帰します。

タイムラプス動画モード

インターバルタイマー撮影の記録形式で  静止画+タイムラプス動画を設定したときの動画の画像サイズとフレームレートを変更できます。

設定		説明
 4K 29.97P*  4K 25P*	 4K 24P*  4K 23.98P*	フレームレートが 29.97fps、25fps、24fps、23.98fps の 3840 × 2160 の 4K 動画
 FHD 59.94P  FHD 50P  FHD 29.97P	 FHD 25P  FHD 24P  FHD 23.98P	フレームレートが 59.94fps、50fps、29.97fps、25fps、24fps、23.98fps の 1920 × 1080 の動画
 HD 59.94P  HD 50P  HD 29.97P	 HD 25P  HD 24P  HD 23.98P	フレームレートが 59.94fps、50fps、29.97fps、25fps、24fps、23.98fps の 1280 × 720 の動画
 S-FHD 59.94P  S-FHD 50P  S-FHD 29.97P	 S-FHD 25P  S-FHD 24P  S-FHD 23.98P	フレームレートが 59.94fps、50fps、29.97fps、25fps、24fps、23.98fps の 1080 × 1080 の動画
 S-4K 59.94P  S-4K 50P  S-4K 29.97P	 S-4K 25P  S-4K 24P  S-4K 23.98P	フレームレートが 59.94fps、50fps、29.97fps、25fps、24fps、23.98fps の 720 × 720 の動画

* 撮影した動画をカメラで再生する場合は、UHS スピードクラス 3 以上のカードをお使いください。

AEブラケットング設定

AEブラケットング撮影の撮影コマ数などを設定できます (84)。

コマ数 / ステップ数設定

AEブラケットングで撮影するコマ数と明るさの変化量 (ステップ数) を設定できます。

設定	説明
コマ	撮影するコマ数を選びます。
ステップ	明るさの変化量を選びます。

1コマ / 連続

AEブラケットング撮影時にシャッターボタンを押したときの機能を設定できます。


設定	説明
1コマ	シャッターボタンを押すたびに1枚ずつ撮影します。
連続	シャッターボタンを1度押すと、 コマ数 / ステップ数設定 の設定にしたがって連続撮影します。













撮影順序設定

AEブラケットングの撮影順序を設定できます。

設定	説明
0 → + → -	「適正」、「オーバー」、「アンダー」の順で撮影します。
0 → - → +	「適正」、「アンダー」、「オーバー」の順で撮影します。
- → 0 → +	「アンダー」、「適正」、「オーバー」の順で撮影します。
+ → 0 → -	「オーバー」、「適正」、「アンダー」の順で撮影します。

フィルムシミュレーション BKT

フィルムシミュレーション BKT 撮影する 3 枚の画像に対し、フィルムシミュレーションの設定をそれぞれ行います（ 84）。

設定	説明
 PROVIA/ スタンダード	各フィルムの特徴は「フィルムシミュレーション」 （  94）を参照してください。
 Velvia/ ビビッド	
 ASTIA/ ソフト	
 クラシッククローム	
 PRO Neg. Hi	
 PRO Neg. Std	
 モノクロ（フィルターなし）	
 モノクロ+Ye フィルター	
 モノクロ+R フィルター	
 モノクロ+G フィルター	
 セビア	

ライトトレイル撮影設定

ライトトレイル撮影の設定を行います (📖 108)。

最長露光時間設定

最長の露光時間を選びます。

設定値			
30分	1時間	3時間	6時間

レリーズ操作





ライトトレイル撮影時にシャッターボタンを押したときの機能を選びます。

設定	説明
押す間露光	シャッターボタンを押している間、露光します。
再押しで露光終了	シャッターボタンを1度押すと露光を開始し、もう一度押すと露光を終了します。

測光

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更できます。撮影状況により、適正な明るさ（露出）にならないときに使用します。


❗ 測光モードを変更するときは、**フォーカス設定 > 顔検出 / 瞳 AF 設定**をOFFにしてください。


設定	説明
 マルチ	被写体の輝度分布や色、背景や構図などの情報を瞬時にカメラが判断し、さまざまな撮影状況で適正な露出が得られます。通常の撮影では、  (マルチ) をおすすめします。
 スポット	画面中央部約 2% 部分の露出が最適になるように測光します。逆光時など、被写体と背景の明るさが大きく異なるときなどに使用します。
 アベレージ	画面全体を平均して測光します。構図や被写体により露出が変化しにくい特長があり、白や黒の服を着た人や風景の撮影などに使用します。

シャッター方式

使用するシャッター方式を変更できます。電子シャッターを使用すると、シャッター音を消して撮影することもできます。

設定	説明
MS メカニカルシャッター	メカニカルシャッターで撮影します。
ES 電子シャッター	電子シャッターで撮影します。
MS メカニカル + ES 電子	カメラが状況に応じて メカニカル または 電子シャッター で撮影します。

 電子シャッター使用時は、以下のことにご注意ください。







- 動いている被写体を撮影すると、画像が歪んで撮影される場合があります。
- 高速シャッター使用時においても、手持ち撮影すると画像が歪んで撮影される場合があります。三脚のご使用をおすすめします。
- 瞬間的な光や、蛍光灯などの照明下では、帯状のムラが撮影されることがあります。
- シャッター音を消して撮影できますが（ 157）、被写体のプライバシーや肖像権などに十分ご配慮の上、お客様の責任でお使いください。

 電子シャッター使用時は、以下の機能制限があります。

- 拡張感度は使用できません。
- 電子シャッターで撮影されるときは、長秒時ノイズ低減は機能しません。
- フラッシュは発光しません。

ブレ防止モード

手ブレや被写体ブレを軽減します。

設定	説明
 常時+ 動き認識	常に手ブレ軽減を行います。また、動くものを認識するとシャッタースピードを制御し、被写体ブレを軽減します。
 常時	常に手ブレ軽減を行います。
 撮影時+ 動き認識	撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。  フォーカス設定 > フォーカスモードがコンティニュアス AF のときは、シャッターボタン半押し時も手ブレを軽減します。また、動くものを認識するとシャッタースピードを制御し、被写体ブレを軽減します。
 撮影時	撮影される瞬間のみ手ブレ軽減を行います。  フォーカス設定 > フォーカスモードがコンティニュアス AF のときは、シャッターボタン半押し時も手ブレを軽減します。
OFF	手ブレ軽減を使用しません。三脚使用時は OFF にすることをおすすめします。



- 感度を固定値に設定しているときは、動き認識を行いません。また、その他の設定によって動き認識の設定が無効になる場合があります。被写体の速さや明るさによっては、被写体ブレ軽減の効果が得られない場合があります。
- 手ブレ補正対応レンズ装着時のみ有効です。

感度

光に対する ISO 感度を変更できます。

設定	説明
AUTO1 AUTO2 AUTO3	被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます。
200 ~ 12800	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。
L (100) H (25600) H (51200)	拡張感度を設定できます。標準感度よりもダイナミックレンジが狭くなったり、ノイズが多くなったりする場合があります。



感度は、カメラの電源をオフにしても保持されます。

ISO 感度の設定について


ISO 感度の設定値が大きいほど、暗い場所での撮影が可能になります。ただし、高感度になるほど、画像に粒子状のノイズが増えます。条件に合わせて ISO 感度設定を使い分けてください。

AUTO 設定について

AUTO1、**AUTO2**、**AUTO3** を選ぶと、それぞれ異なった値の**基準 ISO 感度**、**上限 ISO 感度**、**低速シャッター限界**を設定できます。

設定	設定値	工場出荷時の設定値		
		AUTO1	AUTO2	AUTO3
基準 ISO 感度	200 ~ 6400	200		
上限 ISO 感度	400 ~ 6400	800	1600	3200
低速シャッター限界	1/500 ~ 1/4 秒、AUTO	AUTO		

基準 ISO 感度と**上限 ISO 感度**を設定すると、その範囲内で最適な露出になるようにカメラが自動的に ISO 感度を設定します。また、**低速シャッター限界**では、ISO 感度が自動で切り替わるシャッタースピードの低速側の限界値を設定できます。

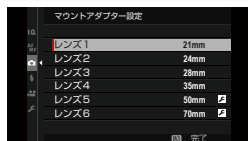
- 
 ・ 上限 ISO 感度よりも**基準 ISO 感度**を高く設定している場合は、**上限 ISO 感度**で設定されている ISO 感度で撮影されます。
- ・ **基準 ISO 感度**と**上限 ISO 感度**の範囲内でも最適な露出が得られない場合は、**低速シャッター限界**で設定したシャッタースピードよりも遅くなる場合があります。
- ・ **低速シャッター限界**を **AUTO** にすると、レンズの焦点距離に応じてカメラが自動的に低速シャッター限界の値を設定します（手ブレ補正の ON/OFF によって、設定は変わりません）。このときのシャッタースピードの目安は、「1/ 焦点距離」秒になります。

マウントアダプター設定

別売の M マウントアダプター「FUJIFILM M MOUNT ADAPTER」を使用して、カメラ側に情報を送ることができないレンズを装着したときに、レンズに合わせて焦点距離をカメラに設定できます。

焦点距離設定

- ご使用のレンズの焦点距離が **21mm**、**24mm**、**28mm**、**35mm** のいずれかの場合は、マウントアダプター設定の**レンズ 1**～**4**からご使用のレンズの焦点距離を選んでください。
- **21mm**、**24mm**、**28mm**、**35mm** 以外のレンズをご使用になる場合は**レンズ 5**または**レンズ 6**を選び、フォーカスレバーを右に動かして焦点距離設定メニューを表示させ、ご使用になるレンズの実焦点距離を設定してください。



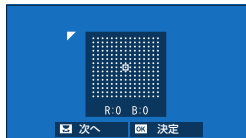
歪曲収差補正

画像の周辺部が歪んでしまう「歪曲収差」を補正できます。**タル型**と**糸巻き型**の補正を、それぞれ**強**、**中**、**弱**の3段階で補正できます。




色シェーディング補正

画像中央部と周辺部の色の違いなど（シェーディング）を画像の四隅それぞれ個別に補正できます。



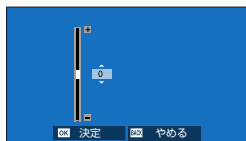
補正方法

- 1 リアコマンドダイヤルを回して、補正場所（画面の四隅）を選びます。三角マークで表示される隅をそれぞれ補正できます。
- 2 フォーカスレバーで補正值（色・量）を設定します。画像中央部と周辺部の色の差がなくなるように調整してください。
 - レッド/シアン（横軸方向）：-9 ~ +9 の範囲でレッドとシアンの縁取りを補正します。
 - ブルー/イエロー（縦軸方向）：-9 ~ +9 の範囲でブルーとイエローの縁取りを補正します。


 色シェーディング補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

周辺光量補正

画像の周辺光量を補正できます。補正量は、-5 ~ +5 と 0（ゼロ）の計 11 段階から選べます。



- プラス側に補正すると周辺光量が上がり、オールレンズでの補正に有効です。
- マイナス側に補正すると周辺光量が下がり、古いレンズやピンホールカメラで撮影したような効果が得られます。

 周辺光量補正を効果的に行うためには、青空やグレーの紙など単色のものを撮影し、その画像で最適化してください。

タッチズーム

ON にすると、デジタルズームが設定できます (📖 17)。

設定値

ON

OFF

ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。



「FUJIFILM Camera Remote」については、以下のサイトをご覧ください。


http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/

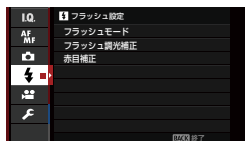


撮影メニュー（フラッシュ設定）


撮影時のフラッシュに関する設定を変更できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、
⚡（フラッシュ設定）タブを選びます。

 メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。




フラッシュモード

使用するフラッシュのモードを選べます（ 88）。

フラッシュ調光補正

撮影目的や撮影条件に合わせて、フラッシュの発光量を変更できます。


設定値												
-2	-1 ² / ₃	-1 ¹ / ₃	-1	-2/3	-1/3	± 0	+1/3	+2/3	+1	+1 ¹ / ₃	+1 ² / ₃	+2

 被写体の条件や撮影距離などによって、発光量の補正効果が得られない場合があります。

赤目補正

暗い場所でフラッシュ撮影したときの「赤目現象」を軽減します。

設定値	
ON	OFF

-  顔が検出できないときは、赤目補正されません。
- RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。



撮影メニュー（動画設定）

動画撮影に関する設定を変更できます。

撮影画面で **MENU/OK** ボタンを押して、

👤（動画設定）タブを選びます。



メニューに表示される項目は、撮影モードによって異なります。



動画モード

撮影する動画の画像サイズとフレームレートを変更できます。

設定		説明
4K 29.97P* 4K 25P*	4K 24P* 4K 23.98P*	フレームレートが 29.97fps、25fps、24fps、23.98fps の 3840 × 2160 の 4K 動画
FHD 59.94P FHD 50P FHD 29.97P	FHD 25P FHD 24P FHD 23.98P	フレームレートが 59.94fps、50fps、29.97fps、25fps、24fps、23.98fps の 1920 × 1080 の動画
HD 59.94P HD 50P HD 29.97P	HD 25P HD 24P HD 23.98P	フレームレートが 59.94fps、50fps、29.97fps、25fps、24fps、23.98fps の 1280 × 720 の動画
SFHD 59.94P SFHD 50P SFHD 29.97P	SFHD 25P SFHD 24P SFHD 23.98P	フレームレートが 59.94fps、50fps、29.97fps、25fps、24fps、23.98fps の 1080 × 1080 の動画
HD 59.94P HD 50P HD 29.97P	HD 25P HD 24P HD 23.98P	フレームレートが 59.94fps、50fps、29.97fps、25fps、24fps、23.98fps の 720 × 720 の動画

* 撮影した動画をカメラで再生する場合は、UHS スピードクラス 3 以上のカードをお使いください。

HD ハイスピード撮影

HD ハイスピード動画を撮影するかどうかを設定できます。素早く動く被写体の撮影や、肉眼では確認しづらい一瞬のアクションもスローモーションのような映像で楽しむことができます。

設定	説明
1.6x 59.94P 100P	フレームレート 100fps で HD 動画を撮影します。再生時はそれぞれ 1.6 倍、2 倍、3.3 倍、4 倍のスロー再生になります。36Mbps で 1.6 × 59.94P 時に最長で 17 分 58 秒撮影できます。
2x 50P 100P	
3.3x 29.97P 100P	
4x 25P 100P	
OFF	ハイスピード動画は撮影しません。

音声は記録されません。




カウントダウン動画

動画の撮影時間を設定できます。設定した時間がカウントダウンで表示されます。

設定値			
15 秒	30 秒	60 秒	OFF



フォーカスモード

撮影する動画のフォーカスモードを変更できます。

設定	内容
 マニュアルフォーカス	意図した場所にピントを手動で合わせます。
 コンティニユアス AF	コンティニユアス AF で動画を撮影します。
 シングル AF	シングル AF で動画を撮影します。

動画 AF モード

動画撮影時のピント合わせの方法を変更できます。

設定	説明
 オートエリア	カメラが自動的にピントを合わせます。
 エリア選択	ピントを合わせるエリアを選べます。

電子式手ブレ補正

動画撮影時の手ブレ補正を使用するかどうかを設定できます。


設定値	
ON	OFF

 三脚使用時は **OFF** にしてください。

感度

撮影する動画の ISO 感度を変更できます。

設定	説明
AUTO	被写体の明るさに応じて ISO 感度が自動的に設定されます。
400 ~ 6400	設定値を選べます。設定した値は、画面に表示されます。

 設定した ISO 感度は静止画撮影には反映されません。


HDMI 出力情報表示

ON にすると、動画を HDMI で出力したときに、カメラに表示されている情報表示をそのまま表示します。

設定値	
ON	OFF

4K 映像出力先

カメラを HDMI ケーブルで 4K 対応の外部レコーダーなどに接続する場合、4K 映像をどのように記録または HDMI 出力するかを設定します。

設定	説明
 カード	4K 映像がメモリーカードに記録され、外部レコーダーにも 4K 映像が出力されます。
HDMI	映像はメモリーカードに記録されず、外部レコーダーに 4K 映像が出力されます。

HDMI レックコントロール

動画撮影時に、シャッターボタンと連動して動画の開始 / 停止制御信号を HDMI 機器に送るかどうかを設定します。



設定値	
ON	OFF

マイクレベル設定

内蔵マイクまたは 外部マイクの音量を調節できます。

設定値			
1	2	3	4

マイク / リモートリリース設定

マイク / リモートリリース端子にマイクを取り付ける場合は  **マイク**、リモートリリースを取り付ける場合は  **リモートリリース**を選択してください。

設定値	
 マイク	 リモートリリース

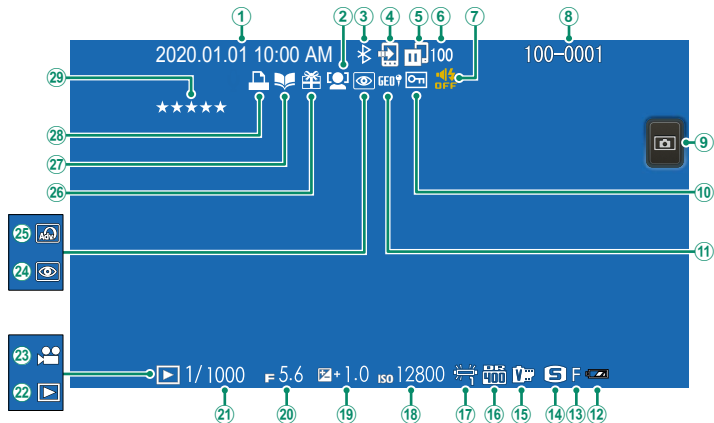
画像の再生と再生メニュー

7

再生時の表示画面

再生時は、画面に次の情報が表示されます。

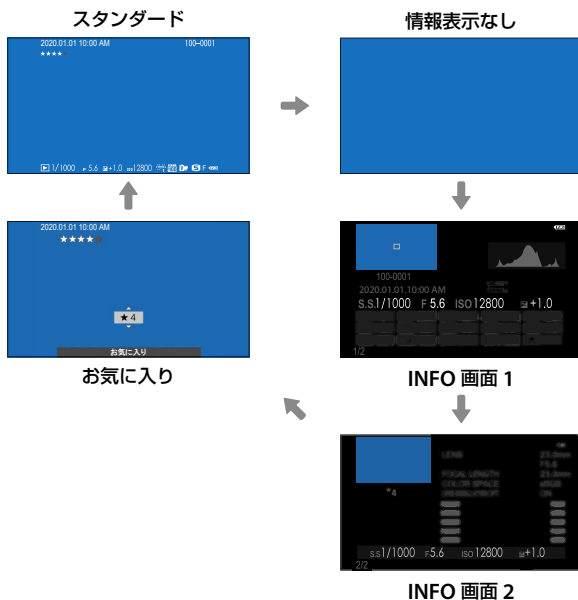
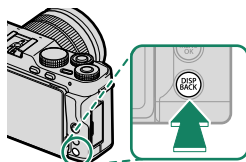
❗ 説明のため情報はすべて表示しています。



① 日付・時刻.....	30、153	⑩ ダイナミックレンジ	96
② 顔検出	105	⑪ ホワイトバランス	97
③ Bluetooth ON/OFF	169	⑫ ISO 感度	118
④ 画像転送予約	144、169	⑬ 露出補正	73
⑤ 画像転送状況	144、169	⑭ 絞り値	47、50、51
⑥ 画像転送予約枚数	144、169	⑮ シャッタースピード	47、48、51
⑦ 電子音 & フラッシュ	154	⑯ 再生モード	36
⑧ コマ NO.	167	⑰ 動画アイコン	43
⑨ 撮影モード	46	⑱ 赤目補正	143
⑩ プロテクト	141	⑲ アドバンストフィルター	60
⑪ 位置情報	170、172	⑳ プレゼント	36
⑫ バッテリー残量表示	29	㉑ フォトブックアシスト	146
⑬ 画質モード	93	㉒ プリント予約	148
⑭ 画像サイズ	92	㉓ お気に入り	131
⑮ フィルムシミュレーション	94		

情報表示の切り替え

再生モードで **DISP/BACK** ボタンを押すごとに表示が切り替わります。

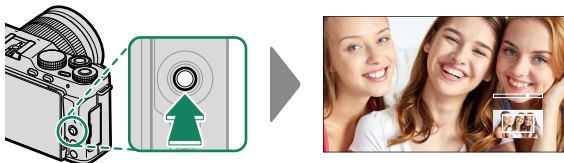


お気に入りを設定する

1 コマ再生時に **DISP/BACK** ボタンを押すと、**お気に入り**のランクが表示され、ランクを設定できます。フォーカスレバーで★の数(0～5)を設定します。

ピントの位置を拡大表示する

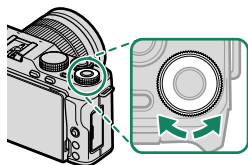
フォーカスレバーを中央に押すと、ピントを合わせた位置を拡大できます。もう一度押すと、1コマ再生に戻ります。



再生方法

再生画像を拡大表示したり、一覧表示したりできます。

拡大表示や複数画像の一覧表示は、1コマ再生時にリアコマンドダイヤルで操作します。



1コマ再生画面



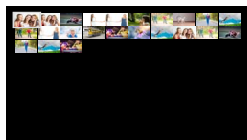
マルチ再生



9コマ再生



マイクロサムネイル再生



DISP/BACK
MENU/OK

拡大再生 1



拡大再生 2



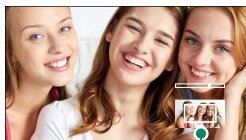
再生ズーム

1コマ再生時にリアコマンドダイヤルを右に回すと、画像を拡大表示できます。再生ズームを解除するには、**DISP/BACK** ボタンまたは **MENU/OK** ボタンを押します。

- 最大ズーム倍率は、撮影時の **画質設定 > 画像サイズ** によって変わります。
- 再生メニュー > リサイズ** または **トリミング** の **640** で保存された画像を再生ズームすることはできません。

ナビゲーションについて

拡大表示中にフォーカスレバーで、液晶モニターに表示される範囲を移動できます。



ナビゲーション

マルチ再生

1コマ再生時にリアコマンドダイヤルを左に回すと、9コマ、100コマ（マイクロサムネイル）の一覧を表示できます。

- フォーカスレバーで画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、選んだ画像を1コマ表示できます。
- フォーカスレバーの上下でページを切り替えることもできます。

再生メニュー

画像の再生に関する機能を設定できます。

再生画面で **MENU/OK** ボタンを押します。



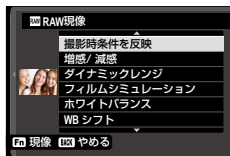
RAW 現像

撮影した RAW ファイルを、パソコンを使用せずにカメラでさまざまな設定を加えて JPEG ファイルとして保存（現像）できます。

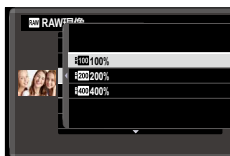
現像手順

- 1 再生画面で現像する RAW 画像を選びます。
- 2 回再生メニュー > RAW 現像を選びます。
- 3 MENU/OK ボタンを押します。

設定できる機能の一覧が表示されます。



- 4 フォーカスレバーを上下に動かして変更する項目を選びます。
- 5 フォーカスレバーを右に動かして設定の変更に移ります。



- 6 フォーカスレバーを上下に動かして設定を変更します。

7 MENU/OK ボタンを押して、決定します。

手順3の画面に戻ります。手順7までを繰り返して、設定したい項目をすべて変更します。

8 Fn1 ボタンを押します。

保存する JPEG ファイルのプレビューが表示されます。

9 MENU/OK ボタンを押します。


JPEG 画像が保存されます。

RAW 現像設定項目一覧

項目	機能
撮影時条件を反映	撮影時の条件を一括で反映します。
増感 / 減感	画像の明るさを調整できます。
ダイナミックレンジ	明るい部分の白とびを防ぎ、目で見たままに近い写真を撮影できます。
フィルムシミュレーション	色調を変更できます。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを変更できます。
WB シフト	ホワイトバランスを調整します。
ハイライトトーン	画像のハイライト部の調子を調整します。
シャドウトーン	画像のシャドウ部の調子を調整します。
カラー	撮影時における画像の色の濃さを設定します。
シャープネス	撮影時における画像の輪郭をソフトにしたり、強調したりできます。
ノイズリダクション	高感度撮影時に画像に発生するノイズを低減できます。
色空間	画像に適用する色空間を設定します。

消去

画像を1コマだけ消去したり、消去する画像を複数枚選んで消去したり、すべての画像をまとめて消去したりすることができます。


 誤って画像を消去すると元には戻せません。消去したくない画像は、プロテクトを設定するか、あらかじめパソコンにコピーしておいてください。

設定	説明
1コマ	画像を1コマだけ消去します。
複数指定	指定した画像をまとめて消去します。
全コマ	画像がすべて消去されます。

1 コマ消去

1 消去メニューから1コマを選びます。

2 消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押すと、表示されている画像が消去されます。

-  **MENU/OK** ボタンを押すと同時に画像が消去されますので、誤って消去しないようにご注意ください。
- MENU/OK** ボタンを繰り返し押すと画像が連続して消去されます。消去する画像をフォーカスレバーの左右で選んでから **MENU/OK** ボタンを押してください。

複数指定消去

- 1 消去メニューから複数指定を選びます。
- 2 消去する画像を選んで **MENU/OK** ボタンを押すと、選択されます。
 - 選択された画像は が表示されます。
 - 選択を解除するときは、もう一度 **MENU/OK** ボタンを押します。
- 3 まとめて消去する画像を選択指定したあと、**DISP/BACK** ボタンを押します。
消去実行画面が表示されます。
- 4 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、複数指定消去が実行されます。




プリント予約やフォトブックなどが設定されている画像には、**!** が表示されます。

全コマ消去

- 1 消去メニューから全コマを選びます。
 - 2 実行を選んで、**MENU/OK** ボタンを押すと、全コマ消去が実行されます。
- **DISP/BACK** ボタンを押して消去を中止しても、それまでに消去した画像は元に戻せません。
 - プリント予約を設定している画像を消去しようとする時、メッセージが表示されます。**MENU/OK** ボタンを押すと、その画像を消去します。

トリミング

撮影した画像の必要な部分をトリミング（切り抜く）できます。トリミングした画像は別ファイルとして保存されます。


- 1 再生画面でトリミングしたい画像を選びます。
- 2  再生メニュー > トリミングを選びます。
- 3 リアコマンドダイヤルとフォーカスレバーでトリミングしたい部分を調整します。
- 4 MENU/OK ボタンを押すと、トリミング後の記録画素数が表示されます。
- 5 MENU/OK ボタンを押して、トリミングします。




- 拡大率が大きければトリミング画像の記録画素数は小さくなります。
- トリミングを行ったあとの記録画素数が **640** のときは、**実行**が黄色で表示されます。

リサイズ

撮影した画像のサイズを小さくできます。リサイズした画像は別ファイルとして保存されます。

- 1 再生画面でリサイズしたい画像を選びます。
- 2  再生メニュー > リサイズを選びます。
- 3 変更するサイズを選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押して、リサイズします。

 元画像のサイズによって、リサイズできるサイズが異なります。

プロテクト

誤って画像を消去しないように、画像をプロテクトできます。


1 再生メニュー > プロテクトを選びます。


2 プロテクトの方法を選びます。

設定	説明
設定 / 解除	プロテクト設定されていない画像はプロテクトが設定され、プロテクト設定されている画像はプロテクト設定が解除されます。 <ul style="list-style-type: none"> 手順3のあとに、続けてフォーカスレバーで設定 / 解除する画像を選べます。
全コマ設定	すべての画像がプロテクトされます。
全コマ解除	すべての画像のプロテクト設定が解除されます。

3 MENU/OK ボタンを押して、プロテクトを設定 / 解除します。


4 DISP/BACK ボタンを押して、プロテクトを終了します。

 メモリーカードをフォーマットすると、プロテクトした画像も消去されます。


 画像転送予約している画像をプロテクトすると、転送予約は解除されます。

画像回転

撮影した画像を回転して再生できます。

- 1 再生画面で回転したい画像を選びます。
- 2  再生メニュー > 画像回転を選びます。
- 3 フォーカスレバーの下（時計回りに 90° 回転）または上（反時計回りに 90° 回転）で画像を回転します。
- 4 MENU/OK ボタンを押して、回転を決定します。



- プロテクトされた画像は回転できません。プロテクトを解除してから回転してください。
- 他のカメラで撮影した画像は回転できないことがあります。また、他のカメラやパソコンで再生する場合は、画像は回転表示しません。
-  表示設定 > 縦横自動回転再生を ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

赤目補正

人物の赤目を補正できます。赤目補正した画像は別ファイルとして保存されます。

1 再生画面で赤目を補正したい画像を選びます。

2 再生メニュー > 赤目補正を選びます。


3 MENU/OK ボタンを押して、赤目補正を開始します。



- 顔が検出できないときや被写体によっては、赤目補正できなかつたり、補正した結果に差が生じたりすることがあります。
- 顔を検出する人数が多い場合は、処理に時間がかかることがあります。
- 赤目補正済みの (👁️ が表示されている) 画像は、それ以上赤目補正できません。
- RAW ファイルの画像は、赤目補正できません。

画像転送予約

Bluetooth® でペアリングしているスマートフォンに転送する画像を予約できます。

1  再生メニュー > 画像転送予約 > コマ選択を選びます。

2 転送予約する画像を選びます。

3 MENU/OK ボタンを押して、画像を転送予約します。




手順 2 と 3 を繰り返して、転送したい画像をすべて予約します。




4 DISP/BACK ボタンを押して、画像の転送予約を終了します。

再生画面に戻ります。



 **接続設定 > Bluetooth 設定 > Bluetooth ON/OFF が ON のときは、**再生画面に戻ってしばらくするか、カメラの電源をオフにすると、画像転送予約した画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。



- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで転送予約することができます。
- 以下の画像は転送予約できません。
 - プロテクトされている画像
 - 動画
 - RAW 画像
 - プレゼント画像（他のカメラで撮影した画像）
-  **接続設定 > 共通設定 >  ボタン設定をペアリング / 転送予約に設定して**おくと、Fn1 ボタンを押しても転送予約できます。
- **画像転送予約 > 予約リセット**を選ぶと、すべての転送予約を解除できます。
-  **接続設定 > Bluetooth 設定 > 撮影後 自動転送予約を ON** にして、撮影した画像を自動的に転送予約することもできます。

ワイヤレス通信

無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。スマートフォンと通信すると、以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信

これらの機能を使用するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。



「FUJIFILM Camera Remote」については、以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/

スライドショー

撮影した画像を順番に自動再生します。**MENU/OK** ボタンを押すと、スライドショーを開始 / 終了します。**DISP/BACK** ボタンを押すと、スライドショー終了のガイダンスを表示します。フォーカスレバーの左右で、コマ送りします。




スライドショー中は、自動電源 OFF になりません。

フォトブックアシスト

画像を選んで、フォトブックを作成できます。

フォトブックを作成する

1  再生メニュー > フォトブックアシストを選びます。

2 新規 BOOK を選び、MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックの新規作成画面が表示されます。

3 画像を選択します。

フォーカスレバーを上にも動かすと表示されている画像を選択または選択解除し、下にも動かすと表示されている画像を表紙にします。



- 640 以下で保存されている画像と動画は選択できません。
- 最初に選択した画像は、自動的に表紙と 1 枚目の画像になります。表紙は、あとからでも変更できます。

4 画像の選択が終わったら、MENU/OK ボタンを押します。

5 作成終了を選びます。

全て選択を選ぶと、全画像がフォトブック作成中の画像として選択されます。

6 MENU/OK ボタンを押します。

フォトブックアシストメニューに作成したフォトブックが表示されます。



- フォトブックで選択できる画像は 300 枚までです。
- 画像が 1 枚も選択されていないフォトブックは削除されます。

作成したフォトブックについて

カメラで作成したフォトブックは、対応する店頭で簡単に注文することができます。詳しくは下記ホームページをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/personal/print/index.html>

作成したフォトブックを見る


作成されているフォトブックを選ぶと、フォトブックの内容を見ることができます。フォーカスレバーの左右で次や前の画像に移動できます。

作成したフォトブックを編集 / 削除する

- 1 作成したフォトブックを表示しているときに **MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 編集または削除を選びます。
 - **編集**：フォトブックの内容を再編集できます。編集方法はフォトブックを作成する方法と同じです。
 - **削除**：表示されているフォトブックを削除できます。
- 3 画面の指示にしたがって、フォトブックを編集 / 削除します。

PC 保存

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。この機能を使用するには、保存先のパソコンにあらかじめ最新の PC アプリケーション「FUJIFILM PC AutoSave」をインストールして保存先を設定しておく必要があります。


 「FUJIFILM PC AutoSave」については、以下のサイトをご覧ください。
http://app.fujifilm-dsc.com/jp/pc_autosave/

プリント予約 (DPOF)

プリント予約 (DPOF) であらかじめ DPOF 指定 (プリント予約) しておく、フジカラーデジタルカメラプリントサービス取扱店でお店プリントするときに、指定した内容で簡単にプリントできます。


1 再生メニュー > プリント予約 (DPOF) を選びます。

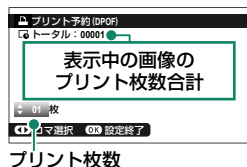
2 日付の有無を設定します。


設定	説明
日付あり設定 	撮影日を印字します。
日付なし設定	撮影日を印字しません。
全コマ解除	現在設定されている DPOF 指定 (プリント予約) を一度に解除できます。

3 プリント予約する画像を選びます。



4 プリント枚数を選びます (最大 99 枚)。

 DPOF 指定を取り消したいときは、プリント枚数が 0 になるまでフォーカスレバーを下に動かします。



 手順 3 と 4 を繰り返して、プリントする画像をすべて予約します。

5 合計枚数を確認して、もう一度 MENU/OK ボタンを押します。

-  DPOF 指定 (プリント予約) した画像には、再生時に  が表示されます。
- 同じメモリーカードで最大 999 枚まで DPOF 指定することができます。
- 別のカメラで DPOF 指定された画像がメモリーカードに入っているときは、すでに設定されている DPOF 指定を取り消し、DPOF 指定し直してください。

instax プリンタープリント

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます。あらかじめ **接続設定** > **instax プリンター接続設定** で、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力しておく必要があります。

1 プリンターの電源を入れます。

2 再生メニュー > instax プリンタープリントを選ぶと、カメラとプリンターの接続が開始されます。



3 プリントしたい画像を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。

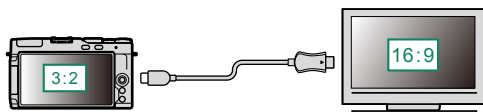


- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- プリンターによって、操作画面が変わることがあります。

4 画像がプリンターに送信され、プリントが開始されます。

表示比率

3:2 で撮影された静止画を HD 出力のテレビで再生するときの表示比率を選べます。HDMI ケーブルでカメラと HD 出力テレビを接続したときに有効です。



		設定	
		16:9	3:2
イメージ			



16:9 に設定すると上下が切れた状態でフル画面表示されます。**3:2** に設定すると左右に枠を付けて表示されます。


セットアップメニュー

8



セットアップメニュー（基本設定）


カメラの基本的な設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**基本設定**を選びます。

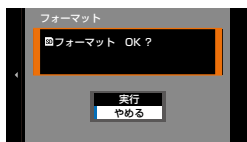


フォーマット

メモリーカードをフォーマット（初期化）します。

1 セットアップメニューから  **基本設定** > **フォーマット**を選びます。

2 **MENU/OK** ボタンを押すと、確認の画面が表示されます。



3 **実行**を選び、**MENU/OK** ボタンを押すと、フォーマットが実行されます。



確認画面で**やめる**を選んだ状態で **MENU/OK** ボタンを押したり、**DISP/BACK** ボタンを押したりしたときは、フォーマットは実行されません。



- プロテクトされている画像を含むすべてのファイルが消去されます。消去したくない画像があるときは、フォーマットを実行しないでください。
- フォーマットの途中で、バッテリーカバーを開けないでください。

日時設定

日付と時刻を設定します。

- 1 セットアップメニューから **基本設定** > **日時設定** を選びます。
- 2 フォーカスレバーの上下で年月日の並び順を選びます。
- 3 フォーカスレバーの左右で設定する項目（年、月、日、時、分）を選び、フォーカスレバーの上下で設定する数字を選びます。
- 4 **MENU/OK** ボタンを押すと、日時が設定されます。

世界時計

旅行先で、簡単にカメラの時計を現地時間に合わせることができます。

設定	説明
ホーム	現在設定されている日時を表示します。
現地	旅行先の日時を表示します。

現地時間の設定方法

- 1 **現地** を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
- 2 フォーカスレバーの左右で設定する項目（+/-、時、分）を選び、フォーカスレバーの上下で設定する数字を選びます。
- 3 **MENU/OK** ボタンを押します。

現地 を選ぶと、電源を入れるたびに、画面に と日時が約3秒間黄色で表示されます。


言語/LANG.

メニューなどを表示する言語を設定します。

センサークリーニング

センサーのほこりなどをふるい落とすことができます。



設定	説明
実行	実行を選ぶと、すぐにセンサークリーニングを実行します。
電源 ON 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオンにしたときにセンサークリーニングを実行します。
電源 OFF 時に実行	ON に設定すると、カメラの電源をオフにしたときにセンサークリーニングを実行します。ただし、再生モードで電源をオフにした場合は、実行されません。

 センサークリーニングを実行してもセンサーのほこりを完全にふるい落とすことはできません。ほこりが取れない場合は、ブロワーでセンサーをクリーニングしてください (📖 218)。

電子音 & フラッシュ

OFF にすると、フラッシュや AF 補助光が発光禁止になり、操作音や動画の再生音がオフになります。セルフタイマーランプも発光しません。

設定値	
ON	OFF

 OFF に設定すると、画面に  が表示されます。

リセット

撮影メニューまたはセットアップメニューの設定をそれぞれ工場出荷時の設定に戻します。


- 1 リセットするメニューを選び **MENU/OK** ボタンを押します。

設定	説明
撮影メニューリセット	撮影メニューがすべてリセットされます。
セットアップリセット	セットアップメニューの日時設定、世界時計、接続設定の接続に関する設定以外がリセットされます。

- 2 確認画面で実行を選んで **MENU/OK** ボタンを押します。

セットアップメニュー（音設定）





カメラの音に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**音設定**を選びます。







AF 合焦音量

シャッターボタン半押し中にピントが合ったときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。





セルフタイマー音量

セルフタイマー使用時の音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。





操作音量

ボタンなどを操作するときの音量を設定します。

設定	説明
	音量「大」に設定します。
	音量「中」に設定します。
	音量「小」に設定します。
	消音に設定します。




シャッター音量

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音量を設定します。

設定	説明
 大	音量「大」に設定します。
 中	音量「中」に設定します。
 小	音量「小」に設定します。
 OFF	消音に設定します。

シャッター音

電子シャッター使用時のシャッターをきるときの音を設定します。

設定	説明
 1 サウンド 1	シャッター音 1 に設定します。
 2 サウンド 2	シャッター音 2 に設定します。
 3 サウンド 3	シャッター音 3 に設定します。

再生音量

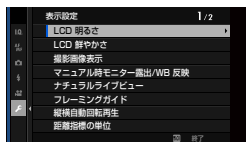
動画再生時の音量を設定します。

設定	説明
0	音量をオフに設定します。
1 ~ 10	音量を 1 ~ 10 に設定します。

🔧 セットアップメニュー（表示設定）

カメラの画面表示に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、🔧（セットアップ）タブを選び、**表示設定**を選びます。



LCD 明るさ

LCD（液晶モニター）の明るさを調整できます。

設定値

-5 | -4 | -3 | -2 | -1 | 0 | +1 | +2 | +3 | +4 | +5

🔧 撮影画面では **DISP/BACK** ボタンを長押しすると **LCD 明るさ** が **+5** に設定され、**LCD 明るさ** の設定画面が表示されます。

LCD 鮮やかさ

LCD（液晶モニター）の鮮やかさを調整できます。

設定値

-5 | -4 | -3 | -2 | -1 | 0 | +1 | +2 | +3 | +4 | +5

撮影画像表示

撮影直後の確認画面の表示時間を設定できます。

設定	説明
連続	シャッターボタンを半押しするまで、または MENU/OK ボタンを押すまで表示します。フォーカスレバーを中央に押し、ピント位置が拡大表示され、もう一度押しと元に戻ります。
1.5 秒 / 0.5 秒	撮影した画像を一定時間表示します。表示中にシャッターボタンを半押しすると、 OFF になります。
OFF	表示しません。

🔧

- 実際に記録される画像と色味が若干異なることがあります。
- 高感度撮影時には、ノイズが目立つ場合があります。

マニュアル時モニター露出 /WB 反映

マニュアル（モードダイヤルが **M** のとき）撮影で、撮影画面に露出やホワイトバランスを反映できます。

設定	説明
露出反映 /WB 反映	露出とホワイトバランスの両方を反映した画面を表示します。
WB のみ反映	ホワイトバランスのみ反映した画面を表示します。タングステンモニタリングランプを使用したフラッシュ撮影など、撮影時に露出、ホワイトバランスの条件が変わる場合に使用します。
OFF	露出もホワイトバランスも反映しません。フラッシュ撮影など、撮影時に露出が変わる場合は OFF にしてください。

ナチュラルライブビュー


撮影画面に撮影効果を反映するかどうかを設定できます。

設定	説明
ON	撮影効果を反映せず、ソフトな階調で逆光シーンの暗い部分などの被写体を見やすいようにした画像が画面に表示されます。表示される画像の色味、階調は記録される画像と異なります。また、モノクロ、セピア、アドバンストフィルターの各フィルターでは一部撮影効果を反映した画像が表示されます。
OFF	フィルムシミュレーション、ホワイトバランスなどの撮影効果を反映した画像が画面に表示されます。

フレーミングガイド

撮影時のフレーミングガイドの種類を設定できます。

設定	説明	イメージ
 方眼 9 分割	縦横にガイド線が表示されます (9 コマ)。	
 方眼 24 分割	縦横にガイド線が表示されます (24 コマ)。	

 フレーミングガイドは工場出荷時の設定では表示されない設定になっています。フレーミングガイドを表示する方法は「画面のカスタマイズ」をご覧ください (161)。

縦横自動回転再生

ON にすると、縦方向で撮影した画像を自動的に回転して再生します。

設定値	
ON	OFF

距離指標の単位

撮影モード時に表示される距離指標の単位を変更できます。

設定	説明
メートル	距離指標の単位をメートル (m) に設定します。
フィート	距離指標の単位をフィート (ft.) に設定します。

画面のカスタマイズ

撮影時の「スタンダード」画面に表示したい項目を設定できます。


- 1 **DISP/BACK** ボタンを押して、「スタンダード」画面に切り替えます。
- 2 セッアップメニューから **表示設定** > **画面のカスタマイズ** を選びます。
- 3 表示したい項目を選び、**MENU/OK** ボタンを押します。
画面に表示する項目には、 が表示されます。 が表示されている状態で **MENU/OK** ボタンを押すと、選択が解除されます。

表示項目	工場出荷時	表示項目	工場出荷時
フレーミングガイド	<input type="checkbox"/>	シャッター方式	<input checked="" type="checkbox"/>
電子水準器	<input type="checkbox"/>	フラッシュ	<input checked="" type="checkbox"/>
AF フレーム	<input checked="" type="checkbox"/>	連写モード	<input checked="" type="checkbox"/>
AF 時の距離指標	<input type="checkbox"/>	ブレ防止	<input checked="" type="checkbox"/>
MF 時の距離指標	<input checked="" type="checkbox"/>	ホワイトバランス	<input type="checkbox"/>
ヒストグラム	<input type="checkbox"/>	フィルムシミュレーション	<input type="checkbox"/>
撮影モード	<input checked="" type="checkbox"/>	ダイナミックレンジ	<input checked="" type="checkbox"/>
絞り / シャッター速度 / ISO	<input checked="" type="checkbox"/>	撮影可能枚数	<input checked="" type="checkbox"/>
情報表示背景	<input type="checkbox"/>	画像サイズ & 画質モード	<input type="checkbox"/>
露出補正表示	<input type="checkbox"/>	動画モード & 録画時間	<input checked="" type="checkbox"/>
露出補正ゲージ	<input checked="" type="checkbox"/>	画像転送予約	<input checked="" type="checkbox"/>
フォーカスモード	<input type="checkbox"/>	バッテリー残量表示	<input type="checkbox"/>
測光	<input type="checkbox"/>		

- 4 表示したい項目を選び、**DISP/BACK** ボタンを押します。
設定が保存されます。
- 5 **DISP/BACK** ボタンを押して撮影画面に戻り、表示内容を確認してください。

セットアップメニュー（操作ボタン設定）



カメラの操作ボタンに関する設定を変更できます。


MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**操作ボタン設定**を選びます。



フォーカスレバー設定

フォーカスレバーの設定を変更できます。

設定	説明
OFF（ロック）	撮影中はフォーカスレバーは使用できません。
 ボタンで PUSH ピント拡大	フォーカスレバーを中央に押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。
 ボタンで ON	フォーカスレバーを中央に押すとフォーカスエリア選択画面が表示され、フォーカスレバーでフォーカスエリアを選択できます。
ON	フォーカスレバーを動かすとフォーカスエリアを選択できます。

 **フォーカスレバー設定**画面は、フォーカスレバーを中央に長押ししても表示できます。

クイックメニュー登録 / 編集

クイックメニューに表示するメニューを変更できます。

1 セットアップメニューから 操作ボタン設定 > クイックメニュー登録 / 編集を選びます。

クイックメニュー登録 / 編集画面が表示されます。

2 割り当てを変更するメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。

割り当てられるメニューは次のとおりです。

- 画像サイズ
- 画質モード
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- ノイズリダクション
- フォーカスモード
- AF モード
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- MF アシスト
- タッチパネルモード
- セルフタイマー
- 測光
- シャッター方式
- プレ防止モード
- 感度
- フラッシュモード
- フラッシュ調光補正
- 動画モード
- HD ハイスピード撮影
- 動画フォーカスモード
- 動画 AF モード
- 電子式手ブレ補正
- 動画感度
- マイクレベル設定
- 電子音 & フラッシュ
- LCD 明るさ
- LCD 鮮やかさ
- なし




なしを選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

3 割り当てるメニューを選び、MENU/OK ボタンを押します。

クイックメニューにメニューが割り当てられます。

ファンクション (Fn) 設定

ファンクションボタンに割り当てる機能を設定できます。

1 セットアップメニューから  操作ボタン設定 > ファンクション (Fn) 設定を選びます。

2 割り当てを変更するファンクションボタンを選び、MENU/OK ボタンを押します。

割り当て可能な機能は次のとおりです。

- 画像サイズ
- 画像アスペクト
- 画質モード
- RAW
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- フォーカスモード
- AF モード
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- タッチズーム
- セルフタイマー
- AE ブラケティング設定
- 測光
- シャッター方式
- 感度
- プレ防止モード
- ワイヤレス通信
- フラッシュモード
- フラッシュ調光補正
- 動画リリース
- 動画モード
- カウントダウン動画
- 動画フォーカスモード
- 動画 AF モード
- 電子式手ブレ補正
- 動画感度
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 /WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- AE-LOCK
- AF-LOCK
- AE+AF LOCK
- 撮影後自動転送予約
- ペアリング接続先選択
- Bluetooth ON/OFF
- なし



- なしを選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。
- 動画リリース、AE-LOCK、AF-LOCK、AE+AF LOCK をタッチボタンファンクション (T.B. Fn1 または T.B. Fn2) に割り当てることはできません。


3 割り当てる機能を選び、MENU/OK ボタンを押します。





レンズなしリリース

ONにすると、レンズを未装着でシャッターがきれます。

設定値	
ON	OFF

フォーカスリング

マニュアルフォーカス時（ フォーカス設定 > フォーカスモードがマニュアルフォーカス）に遠距離側に合わせる場合の、フォーカスリングの回転方向を変更できます。

設定	説明
 時計回り	フォーカスリングの回転方向を  時計回りに設定します。
 反時計回り	フォーカスリングの回転方向を  反時計回りに設定します。


タッチパネル設定

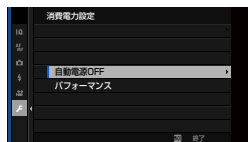
液晶画面（LCD）のタッチ操作を行うかどうかを設定できます。

サブメニュー	説明
 タッチパネル設定	<ul style="list-style-type: none"> ON：撮影時に液晶画面（LCD）をタッチパネルとして使用します。 OFF：タッチパネルとして使用しません。
 ダブルタップ拡大	<ul style="list-style-type: none"> ON：撮影時に液晶画面（LCD）を2回タッチすると、画像が拡大します。 OFF：タッチによる画像拡大はしません。
 タッチパネル設定	<ul style="list-style-type: none"> ON：再生時に液晶画面（LCD）をタッチパネルとして使用します。 OFF：タッチパネルとして使用しません。
メニュータッチパネル設定	<ul style="list-style-type: none"> ON：メニュー操作時に液晶画面（LCD）をタッチパネルとして使用します。 OFF：タッチパネルとして使用しません。
セルフイー時再生 タッチボタン表示	<ul style="list-style-type: none"> ON：自分撮り（セルフイー）時のタッチメニューにも再生モードボタンを表示させます。 OFF：自分撮り（セルフイー）時は、タッチメニューに再生モードボタンを表示しません。

セットアップメニュー（消費電力設定）

カメラの消費電力に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、消費電力設定を選びます。



自動電源 OFF

自動的に電源をオフにできます。

設定	説明
5分	設定した時間、カメラを操作しないと、自動的に電源がオフになります。
2分	
OFF	自動的に電源がオフになりません。

パフォーマンス

カメラの消費電力に関する設定を変更できます。

設定	起動時間	フレームレート	バッテリーの持続時間
ハイパフォーマンス	高速	高速	短い
スタンダード	標準	高速	標準
エコノミー	標準	低速	長い

🔧 セットアップメニュー（保存設定）

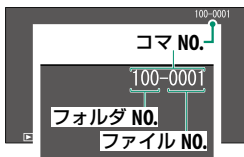
画像の保存に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、🔧（セットアップ）タブを選び、**保存設定**を選びます。



コマ NO.

メモリーカードを交換したときのコマ NO.（フォルダ NO. - ファイル NO.）の付け方を選びます。



設定	説明
連番	メモリーカード内の最大ファイル NO. に 1 を足したファイル NO. が付けられます。メモリーカードを交換したときは、次のファイル NO. とメモリーカード内の最大ファイル NO. のいずれか大きい方の番号を付けます。ファイル名の重複を防げます。
新規	新しいメモリーカードを入れるたびに、ファイル NO. が 0001 から付けられます。フォーマット済みのメモリーカードに交換することで、番号をリセットできます。



- コマ NO. が「999-9999」になると、それ以上撮影できなくなります。あらかじめ、データをパソコンなどに保存してフォーマットすることをおすすめします。
- 🔧 **基本設定** > **リセット**を行っても**コマ NO.** はリセットされません。
- 他のカメラで撮影した画像は、コマ NO. 表示が異なることがあります。

処理前画像記録

ON にすると、赤目補正の処理前の画像も同時に記録します。

設定値

ON

OFF




ファイル名編集

ファイル名 (DSCF****/_DSF****) をそれぞれ変更できます。

設定	工場出荷時	変更例
sRGB	DSCF****	ABCD****
AdobeRGB	_DSF****	_ABC****

日付書き込み

撮影した日付と時刻を、画像に写し込むかどうかを設定します。

設定	説明
 +  日付+時刻	撮影した日付と時刻を、画像に写し込みます。
 日付	撮影した日付を、画像に写し込みます。
OFF	日付や時刻を写し込みません。




- 画像に写し込まれた日付や時刻は消去できません。日付や時刻がない画像を撮影する場合は、**日付書き込み**を **OFF** に設定してから撮影してください。
- 日時設定が行われていない場合は、日時の設定画面が表示されます。日時の設定を行ってください (30、32)。
- 日付書き込みを行った場合は、**再生メニュー** > **プリント予約 (DPOF)** の設定を**日付なし設定**にすることをおすすめします (148)。
- 動画、RAW 画像に日時と時刻を写し込むことはできません。



セットアップメニュー（接続設定）

他機器との接続に関する設定を変更できます。

MENU/OK ボタンを押して、（セットアップ）タブを選び、**接続設定**を選びます。



無線通信の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。


<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

Bluetooth 設定

Bluetooth 接続に関する設定を行います。

サブメニュー	内容
ペアリング登録	スマートフォンにインストールされている「FUJIFILM Camera Remote」の ペアリング登録 を押すと、ペアリングを開始します。
ペアリング 接続先選択	ペアリング登録で登録したスマートフォンの中から接続するスマートフォンを選びます。 接続なし を選択するとスマートフォンとのペアリングは行いません。
ペアリング削除	ペアリング登録されているスマートフォンの情報を削除できます。削除するスマートフォンを選んでください。削除されたスマートフォンは ペアリング接続先選択 のリストからも削除されます。
Bluetooth ON/OFF	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：カメラの電源をオンにすると、常にペアリング登録されているスマートフォンと Bluetooth 接続します。 ● OFF：Bluetooth 接続しません。
撮影後 自動転送予約	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：撮影後に画像を転送予約します。転送予約できる画像は JPEG のみです。 ● OFF：撮影後に画像を転送予約しません。
常時転送	<ul style="list-style-type: none"> ● ON：撮影後、画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。 ● OFF：撮影後、画像をペアリングされているスマートフォンに転送しません。

サブメニュー	内容
スマートフォン同期設定	<p>ペアリング登録されているスマートフォンと同期する内容を設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 位置情報 & 日時：位置情報と日時を同期します。 • 位置情報：位置情報のみを同期します。 • 日時：日時のみを同期します。 • OFF：スマートフォンと同期しません。

- 
 スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。
- Bluetooth ON/OFF と撮影後自動転送予約がともに ON で、常時転送が OFF のときは、再生画面に戻ってしばらくするか、カメラの電源をオフにすると、撮影した画像をペアリングされているスマートフォンに転送します。
- 撮影後自動転送予約が OFF の場合は、再生メニュー > 画像転送予約で、転送予約する画像を選んで転送予約することもできます。

PC 保存

PC 保存に関する設定を行います。

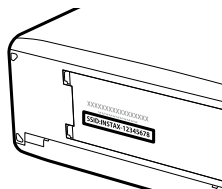
サブメニュー	内容
PC 保存先設定	<ul style="list-style-type: none"> • 簡単設定：無線 LAN ルーターに簡単接続 (WPS) で接続し、保存先 (PC) を設定します。 • 手動設定：無線 LAN ルーターにマニュアル操作で接続し、保存先 (PC) を設定します。無線 LAN ルーター選択、SSID 入力を手動で行います。
保存先削除	設定されている PC 保存の保存先を削除できます。削除する保存先を選んでください。
前回接続情報	直近に接続した PC 保存の保存先の情報が表示されます。

instax プリンター接続設定

別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターのプリンター名（SSID）とパスワードを入力して、プリンターとの接続を設定します。

プリンター名（SSID）とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。









USB 画像転送設定

パソコンまたはスマートフォンとカメラを USB で接続したときに画像を転送するかどうかを設定できます。

設定値	
ON	OFF

共通設定

無線 LAN 機能に関する共通設定を変更できます。

サブメニュー	内容
名前	無線 LAN 通信で使用するカメラの名前を変更できます。工場出荷時は、カメラ固有の名前になっています。
スマートフォン送信時  圧縮	スマートフォン送信時の画像サイズを変更できます。スマートフォン送信時  圧縮を ON にして画像を送信しても、メモリーカードに保存されている元の画像の画像サイズが変更されることはありません。 <ul style="list-style-type: none">● ON：画像サイズを  に圧縮して送信します。● OFF：元画像のサイズのままで送信します。
位置情報記録	スマートフォンから取得した位置情報を撮影する画像に記録させるかどうかを設定します。
位置情報表示	スマートフォンから取得した位置情報を表示させるかどうかを設定します。
 ボタン設定	ファンクションボタンにワイヤレス通信を割り当てたときの設定を変更できます。 <ul style="list-style-type: none">●  ペ어링 / 転送予約：ファンクションボタンを押すと、ペ어링または転送予約を行います。●  ワイヤレス通信：ファンクションボタンを押すと、ワイヤレス通信を行います。

情報表示

カメラ本体の MAC アドレスと Bluetooth アドレスを表示します。

ワイヤレス設定初期化

無線通信の設定を工場出荷時の設定に戻します。

ショートカット機能

9

ショートカット機能について

用途や場面に合わせてショートカット機能を使い分けると便利です。

このカメラでは、よく使う機能のメニューをクイックメニューに登録して使用したり、ファンクション (Fn1) ボタンやタッチボタンファンクション (T.B. Fn1/T.B. Fn2) で機能をダイレクトで呼び出したりできます。

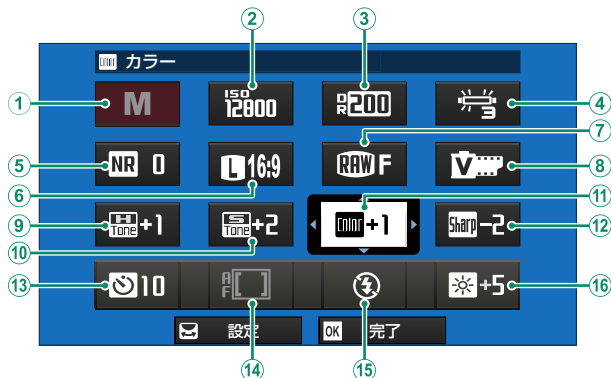
ショートカット機能	内容	頁
クイックメニュー	タッチメニュー画面の Q メニューを押すとクイックメニューが表示され、よく使うメニュー項目の設定値を確認できます。クイックメニューで設定値を変更することもできます。	175
ファンクションボタン	ファンクション (Fn1) ボタンを押すと、あらかじめ割り当てられている機能をダイレクトで呼び出すことができます。	178
タッチボタンファンクション	タッチメニュー画面でタッチボタンファンクション (T.B. Fn1/T.B. Fn2) をタッチすると、あらかじめ割り当てられている機能をダイレクトで呼び出すことができます。	179

クイックメニュー

クイックメニューを使うと、撮影の設定を確認したり、設定し直したりできます。

クイックメニュー画面

工場出荷時は、クイックメニューに以下の機能が割り当てられています。



工場出荷時の設定

① 撮影モード	⑨ ハイライトトーン
② 感度	⑩ シャドウトーン
③ ダイナミックレンジ	⑪ カラー
④ ホワイトバランス	⑫ シャープネス
⑤ ノイズリダクション	⑬ セルフタイマー
⑥ 画像サイズ	⑭ AFモード
⑦ 画質モード	⑮ フラッシュモード
⑧ フィルムシミュレーション	⑯ LCD明るさ

設定の確認と変更

- 1 タッチメニュー画面で **Q** メニューを押します。

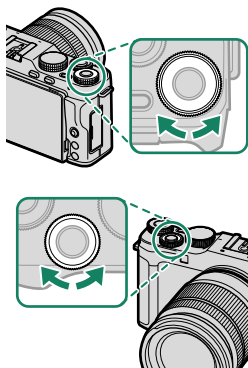
クイックメニューが表示されます。



- 2 設定を変更するメニュー項目をフォーカスレバーで選びます。



- 3 リアコマンドダイヤルまたはフロントコマンドダイヤルで設定値を選びます。




- 4 **MENU/OK** ボタンまたはフォーカスレバーを中央に押します。


表示されている設定値になり、撮影画面に戻ります。

- ◆ **撮影モード**は現在のモードが表示されるためクイックメニューでは変更できません。
- ◆ クイックメニューで**ホワイトバランス**を設定するときは、**カスタム**と**K 色温度設定**の設定は変更できません。ファンクションボタンまたは撮影メニューで設定してください。

クイックメニューの割り当て変更

クイックメニューの割り当ては、 **操作ボタン設定** > **クイックメニュー登録 / 編集**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

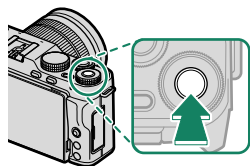
- 画像サイズ
- 画質モード
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- ハイライトトーン
- シャドウトーン
- カラー
- シャープネス
- ノイズリダクション
- フォーカスモード
- AF モード
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- MF アシスト
- タッチパネルモード
- セルフタイマー
- 測光
- シャッター方式
- ブレ防止モード
- 感度
- フラッシュモード
- フラッシュ調光補正
- 動画モード
- HD ハイスピード撮影
- 動画フォーカスモード
- 動画 AF モード
- 電子式手ブレ補正
- 動画感度
- マイクレベル設定
- 電子音 & フラッシュ
- LCD 明るさ
- LCD 鮮やかさ
- なし

 **なし**を選ぶと、クイックメニューの割り当てはなくなります。

ファンクションボタン

ファンクションボタンには機能を1つ割り当てられます。

ファンクション (Fn1) ボタンを押すだけで機能を切り替えたり、設定画面を呼び出したりできます。



Fn1 ボタンの割り当ては、**操作ボタン設定 > ファンクション (Fn) 設定** で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

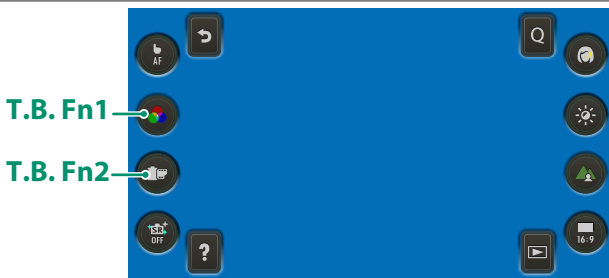
- 画像サイズ
- 画像アスペクト
- 画質モード
- RAW
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- フォーカスモード
- AF モード
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- タッチズーム
- セルフタイマー
- AE ブラケットング設定
- 測光
- シャッター方式
- 感度
- プレ防止モード
- ワイヤレス通信
- フラッシュモード
- フラッシュ調光補正
- 動画リリース
- 動画モード
- カウントダウン動画
- 動画フォーカスモード
- 動画 AF モード
- 電子式手ブレ補正
- 動画感度
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 / WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- AE-LOCK
- AF-LOCK
- AE+AF LOCK
- 撮影後自動転送予約
- ペアリング接続先選択
- Bluetooth ON/OFF
- なし



- 工場出荷時の設定では、Fn1 ボタンに**動画リリース**が割り当てられています。
- **なし**を選ぶと、ファンクションボタンの割り当てはなくなります。

タッチボタンファンクション

タッチメニュー画面でタッチボタンファンクション (T.B. Fn1/T.B. Fn2) をタッチすると、割り当てた機能の設定画面を呼び出せます。



T.B. Fn1/T.B. Fn2 の割り当ては、**操作ボタン設定 > ファンクション (Fn) 設定**で設定できます。割り当てられる機能は次のとおりです。

- 画像サイズ
- 画像アスペクト
- 画質モード
- RAW
- フィルムシミュレーション
- ダイナミックレンジ
- ホワイトバランス
- フォーカスエリア選択
- フォーカスチェック
- フォーカスモード
- AF モード
- 顔検出 / 瞳 AF 設定
- タッチズーム
- セルフタイマー
- AE ブラケティング設定
- 測光
- シャッター方式
- 感度
- ブレ防止モード
- ワイヤレス通信
- フラッシュモード
- フラッシュ調光補正
- 動画モード
- カウントダウン動画
- 動画フォーカスモード
- 動画 AF モード
- 電子式手ブレ補正
- 動画感度
- 被写界深度確認
- マニュアル時モニター露出 /WB 反映
- ナチュラルライブビュー
- 撮影後自動転送予約
- ペ어링接続先選択
- Bluetooth ON/OFF
- なし



なしを選ぶと、タッチボタンファンクションの割り当てはなくなります。

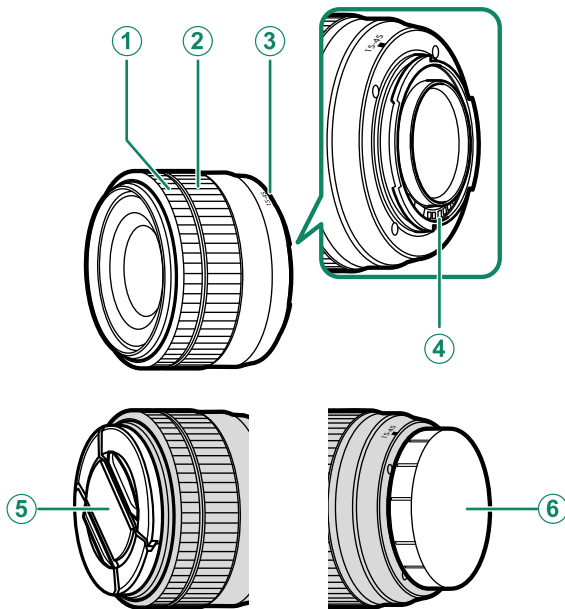
10

オプション品・ 外部機器の使い方

交換レンズ


このカメラでは、富士フィルム製のFUJIFILM Xマウント対応の交換レンズが使用できます。

レンズの各部名称



- ① フォーカスリング
- ② ズームリング
- ③ 取り付け指標（焦点距離）

- ④ レンズ信号接点
- ⑤ レンズフロントキャップ
- ⑥ レンズリアキャップ

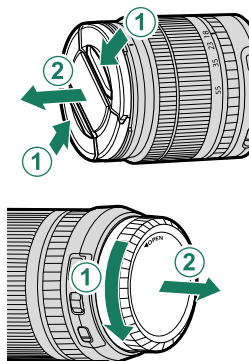
 ここでは、XC15-45mmF3.5-5.6 OIS PZ を例に説明しています。

電動ズームレンズについて

AF 動作時は、フォーカスリングでズーム操作ができます。

レンズキャップの取り外し方

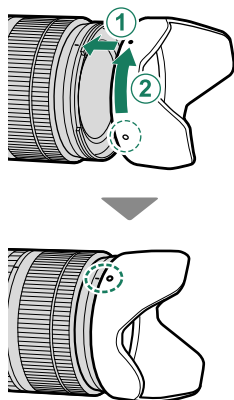
図のようにレンズキャップを取り外します。



! レンズキャップは形状が異なることがあります。

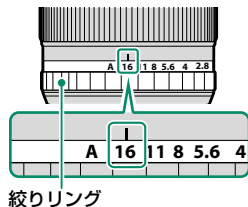
レンズフード付きのレンズについて

レンズフードを取り付けると、画像に悪影響を及ぼす光線をカットし、レンズ面の保護にも役立ちます。




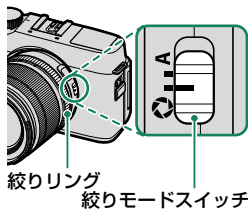
絞りリング付きレンズについて

レンズで絞りを **A** 以外に設定しているときは、レンズの絞りリングで絞りを調整できます (**A** (絞り優先) または **M** (マニュアル) モードのとき)。



絞りモードスイッチがあるレンズの場合

絞りモードスイッチがあるレンズでは、絞りモードスイッチを  の位置に設定すると、レンズの絞りリングで絞りを調整できます。



 絞りを **A** に設定しているときは、フロントコマンドダイヤルで絞りを調整します。

交換レンズのお手入れ

- 使用後は、ブロワーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いて汚れを落としてから保管してください。汚れがひどいときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 交換レンズを保管するときは、レンズフロントキャップとレンズリアキャップを取り付けてください。

11

他機器との接続

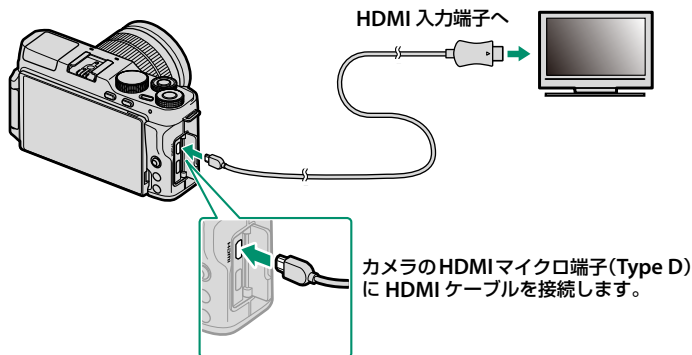
HDMI 出力

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続して撮影画面や再生画面を出力できます。

HDMI 機器との接続

市販の HDMI ケーブルで HDMI 機器とカメラを接続します。

- 1 カメラの電源をオフにします。
- 2 市販の HDMI ケーブルでカメラとテレビを接続します。



- 3 テレビの入力を HDMI 入力に切り替えます。
テレビの音声 / 映像入力については、テレビの説明書をご覧ください。


- 4 カメラの電源をオンにします。
テレビの画面に液晶モニターの内容が表示されます。再生モードではカメラに表示されません (📖 189)。

- ❗ ケーブルは、接続端子に奥までしっかりと差し込んでください。
- USB ケーブルと HDMI ケーブルは同時に接続できません。
- HDMI ケーブルは、長さが 1.5m 以内のものをご使用ください。

撮影画面の出力

4K 映像またはフル HD 映像のライブビューや動画をテレビに表示したり、外部レコーダーに保存したりできます。

再生画面の出力

撮影した静止画や動画をテレビなどに表示できます。カメラの電源をオンにして  (再生) ボタンを押すと、カメラの液晶モニターが消え、画像がテレビで再生されます。



- HDMI ケーブルで接続しているときは、テレビの画面には記録した画像と音声が出力されます。
- テレビによっては、動画再生開始時に画面が一時的に黒くなる場合があります。
- 音量はテレビ側で調整してください。カメラで再生音量の設定をしても、音量は変わりません。

無線通信で接続

(Bluetooth®/ 無線 LAN (Wi-Fi))

カメラとスマートフォンやパソコンを無線で通信できます。無線通信の使用方法については、以下のサイトをご覧ください。

<http://fujifilm-dsc.com/wifi/>

スマートフォンと通信する (FUJIFILM Camera Remote)

カメラとスマートフォンは、Bluetooth または無線 LAN の 2 つの方法で接続できます。



カメラとスマートフォンを無線で通信するには、スマートフォンにあらかじめ最新のスマートフォンアプリケーション「FUJIFILM Camera Remote」をインストールしておく必要があります。

FUJIFILM Camera Remote について

通信後は、「FUJIFILM Camera Remote」を使って以下の機能が使用できます。

- スマートフォンを操作して、カメラで撮影
- カメラからスマートフォンに画像を送信
- スマートフォン側でカメラ内の画像を閲覧 / 取り込み
- スマートフォンで取得した位置情報をカメラに送信
- スマートフォンでカメラのシャッターをきる
- カメラのファームウェアアップデート

「FUJIFILM Camera Remote」については以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/

Bluetooth® でスマートフォンとペアリングする

☑ **接続設定** > **Bluetooth** 設定の**ペアリング登録**で、スマートフォンとカメラをペアリングできます。スマートフォンとペアリングすると、スマートフォンへ画像を簡単に転送できます。



- 📁 • 画像の転送は無線 LAN による通信で行われます。
- ペアリングすると、スマートフォンの位置情報や日時をカメラに同期できます (📖 169)。
- ペアリング登録したスマートフォンやタブレット (最大7デバイス) を選択して通信できます。

無線 LAN でスマートフォンと通信する

☑ **撮影設定**または🔄 **再生メニュー** > **ワイヤレス通信**で、無線 LAN を使ってスマートフォンと通信できます。



パソコンに画像を保存する (FUJIFILM PC AutoSave)

カメラとパソコンは、無線 LAN (Wi-Fi) で接続できます。カメラとパソコンを接続するためにあらかじめパソコンへ専用のアプリケーションをインストールしてください。

FUJIFILM PC AutoSave

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存するには、保存先のパソコンにあらかじめ最新の PC アプリケーション「FUJIFILM PC AutoSave」をインストールして保存先を設定しておく必要があります。「FUJIFILM PC AutoSave」については以下のサイトをご覧ください。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/pc_autosave/

パソコンに画像を保存

再生メニュー > PC 保存で、無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できます。




USB ケーブルで接続

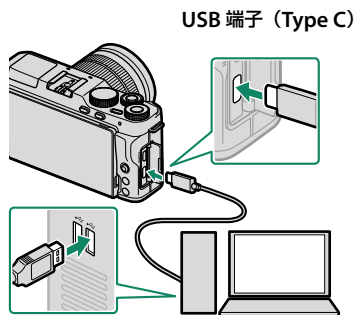
USB ケーブルでパソコンやスマートフォンに接続できます。


パソコンと接続

USB ケーブルでパソコンに接続すると、RAW 現像したり、メモリーカードに撮影した画像をパソコンに転送したりできます。

 実際にカメラをパソコンと接続して正常に動作することを確認してください。

- 1 パソコンを起動します。
- 2 カメラを用途に応じた設定にします。
設定方法については、「メモリーカードに撮影した画像を転送する」(📖 195) をご覧ください。
- 3 カメラの電源をオフにします。
- 4 USB ケーブルで、カメラとパソコンを接続します。



 USB ケーブルは、長さが 1.5m 以内で、データ転送が可能なものをご使用ください。

5 カメラの電源をオンにします。

6 用途に応じたパソコンのソフトウェアを使用して操作します。

OS 標準のアプリケーションなどで、画像をパソコンに取り込んでください。


- ❗ USB ケーブルを取り外すときは、カメラの電源をオフにしてください。
- USB ケーブルは、接続端子の奥までしっかりと差し込んでください。USB ハブやキーボードを経由させずに、直接カメラとパソコンを接続してください。
- 画像をコピーするときは、バッテリー切れに注意してください。通信中に電源がオフになると、メモリーカード内のデータが破壊されることがあります。
- メモリーカード内に大量の画像がある場合は、ソフトウェアの起動に時間がかかり、画像の保存や転送ができないことがあります。このような場合は、お手元のカードリーダーを使って、転送してください。
- カメラとパソコンの接続を外す前に、カメラのインジケータランプが消灯、もしくは緑色に点灯していることを確認してください。
- カメラとパソコンの通信時には、USB ケーブルを抜かないでください。メモリーカードのデータが壊れたり、データが消えたりすることがあります。
- メモリーカードの交換は、必ずカメラとパソコンの接続を外したあとに行ってください。
- ソフトウェアでネットワークサーバ上に画像ファイルを保存してご利用いただく場合、スタンドアローン（単独）のパソコンのようにご利用になれないことがあります。
- パソコンでの「コピー中」という表示が消えてすぐにカメラを取り外したり、USB ケーブルを抜いたりしないでください。大きなサイズのデータをコピーした場合、パソコンの表示が消えても、カメラのアクセスがしばらく行われている場合があります。
- インターネットに接続する際に発生する通話料金、プロバイダ接続料金などはお客様のご負担となります。

メモリーカードに撮影した画像を転送する

- 画像を転送するときは、あらかじめ **接続設定 > USB 画像転送設定** を **ON** にしてください。
- お使いのパソコンに適したソフトウェアをご使用ください。

Mac OS X / macOS をお使いの方

Mac OS X / macOS をお使いの方は、OS 標準アプリケーションの「イメージキャプチャ」などのソフトウェアで画像や動画を取り込んでください。

 ファイルサイズが4GBを超える場合は、カードリーダーでファイルを取り込んでください。

Windows をお使いの方


Windows をお使いの方は、OS 標準アプリケーションなどで画像や動画を取り込んでください。

スマートフォンと接続

スマートフォンに画像を転送するときは、**接続設定 > USB 画像転送設定** を **ON** にしてからカメラとスマートフォンを USB ケーブルで接続します。

Android のスマートフォンをお使いの方

- 1 **接続設定 > USB 画像転送設定** を **ON** にします。
- 2 カメラの電源がオンになっている状態でカメラとスマートフォンを USB ケーブルで接続します。

 「Camera Importer」以外のアプリ（「フォト」など）へのアクセスを許可するかどうかを確認する通知が表示された場合は、「キャンセル」をタップして手順3に進みます。

- 3 スマートフォンを操作して、「Android システム・USB PTP に接続しました」の通知をタップします。

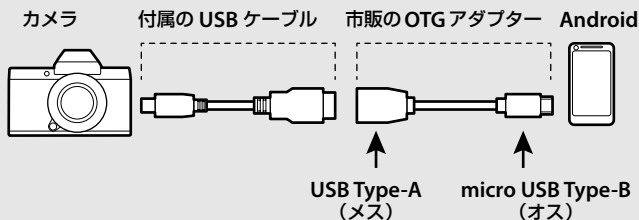
- 4 USB デバイス用のアプリの中から「Camera Importer」を選びます。自動的に「Camera Importer」アプリが起動し、画像 / 動画をインポートできます。



「Camera Importer」アプリから「There is no MTP device connected」などの通知が表示された場合は、USB ケーブルを抜いて、手順 2 からやり直してください。



micro USB のスマートフォンと接続する場合は、USB ホストアダプター（OTG アダプター）が必要です。

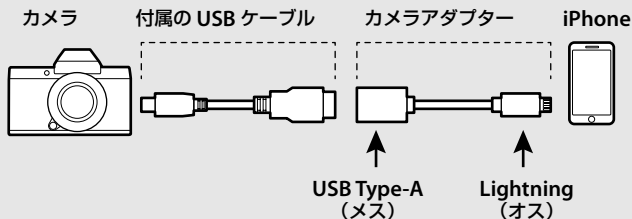


iOS のスマートフォンをお使いの方

- 1 接続設定 > USB 画像転送設定を ON にします。
- 2 カメラの電源がオンになっている状態でカメラとスマートフォンを USB ケーブルで接続します。
自動的に「写真」アプリが起動し、画像 / 動画をインポートできます。



Lightning のスマートフォンと接続する場合は、Apple 製 Lightning - USB カメラアダプタが必要です。



instax SHARE プリンターと接続

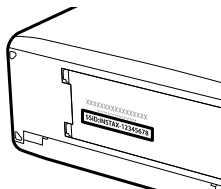
別売の「FUJIFILM instax SHARE」プリンターで画像を印刷できます。

プリンターとの接続を設定する

☑ **接続設定** > **instax プリンター接続設定**を選び、instax SHARE プリンターのプリンター名 (SSID) とパスワードを入力します。

プリンター名 (SSID) とパスワード

instax SHARE プリンターの底面に SSID が記載されています。工場出荷時のパスワードは「1111」です。すでにスマートフォンを使用してプリントされている方で任意のパスワードを設定している場合は、設定したパスワードを入力してください。



画像をプリントする

1 プリンターの電源を入れます。

2 再生メニュー > instax プリンター
プリントを選ぶと、カメラとプリンターの
接続が始まります。



3 プリントしたい画像を選び、MENU/OK ボタン
を押します。



- 他のカメラで撮影した画像はプリントできません。
- プリントされる範囲は液晶モニターに表示されている画像の範囲よりも狭くなります。
- プリンターによって、操作画面が変わることがあります。

4 画像がプリンターに送信され、プリントが始まります。

12

資料

カメラで使えるアクセサリ

別売アクセサリ

このカメラでは、以下の富士フィルム製別売アクセサリを使用できます。最新情報については、<http://fujifilm.jp/personal/digitalcamera/index.html>をご覧ください。

充電式バッテリー NP-W126S：リチウムイオンタイプの大容量充電式電池です。

バッテリーチャージャー BC-W126S：充電式バッテリー NP-W126S を充電します。充電時間は約 150分(+ 20℃において)です(AC100V～240V、50/60Hz対応)。

AC パワーアダプター AC-9V：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時にお使いください (AC100V～240V、50/60Hz 対応)。ご使用になる場合は、必ず DC カブラー CP-W126 と併用してお使いください。

DC カブラー CP-W126：長時間の撮影、再生時、パソコンとの接続時に AC パワーアダプター AC-9V と併用してお使いください。

リモートリリース RR-100：三脚と併用してブレを軽減したいときなどにお使いください (φ 2.5mm 端子)。

ステレオマイク MIC-ST1：動画撮影時の外部マイクとしてお使いください。

XF シリーズレンズ /XC シリーズレンズ：FUJIFILM X マウント専用の交換レンズです。

マクロエクステンションチューブ MCEX-11/16：カメラボディと交換レンズの間に装着することで、高い撮影倍率でマクロ撮影が可能となります。

テレコンバーター XF1.4X TC WR：対応するレンズの焦点距離を約 1.4 倍にするテレコンバーターです。

テレコンバーター XF2X TC WR：対応するレンズの焦点距離を約 2.0 倍にするテレコンバーターです。

M マウントアダプター：豊富なバリエーションを持つ M マウントレンズをカメラボディに装着するためのマウントアダプターです。

ボディキャップ BCP-001：カメラのレンズ取り付け部の蓋です。

クリップオンフラッシュ EF-X500：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 50 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。別売外部電源 EF-BP1 にも対応しています。

バッテリーパック EF-BP1：クリップオンフラッシュ用の外部バッテリーパックです。単 3 電池 8 本を搭載可能です。

クリップオンフラッシュ EF-42：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 42 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

クリップオンフラッシュ EF-X20：TTL 自動調光機能、マニュアル発光に対応した、最大ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

クリップオンフラッシュ EF-20：TTL 自動調光機能のみに対応した、最大ガイドナンバー 20 (ISO100・m) のクリップオンタイプのフラッシュです。

グリップベルト GB-001：本体に装着することでホールド感を高めます。

instax SHARE プリンター SP-1/SP-2/SP-3：撮影した画像を無線 LAN で送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。

カメラで使えるソフトウェア

このカメラでは、以下の富士フィルム製ソフトウェアを使用できます。

FUJIFILM Camera Remote

カメラとスマートフォンを無線で通信できるスマートフォンアプリケーションです (📖 190)。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/

FUJIFILM PC AutoSave

無線 LAN を使ってカメラからパソコンに画像を保存できるパソコン用アプリケーションです (📖 192)。

http://app.fujifilm-dsc.com/jp/pc_autosave/

Capture One Express Fujifilm

RAW 画像をパソコン上で現像できるパソコン用アプリケーションです。Phase One 社から無償で入手可能です。

<https://www.phaseone.com/fujifilm/>

RAW FILE CONVERTER EX

RAW 画像をパソコン上で現像できるパソコン用アプリケーションです。

<http://fujifilm-dsc.com/rfc/>

お取り扱いにご注意ください

ご使用前に必ずお読みください


安全上のご注意

このたびは弊社製品をお買上げいただき、ありがとうございます。


- ご使用前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。


 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。

 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

異常が起きたら電源を切り、電池・バッテリーやACパワーアダプター、USBケーブルを外す。



煙が出ている、異臭がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因になります。

- お買上げ店にご相談ください。

カメラ内部や接続コードに水や異物を落とさない。



カメラ内部や接続コードを水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹼水などの液体で濡らした場合は、使用しないでください。

水・異物が内部に入ったら、電源を切り、電池・バッテリーやACパワーアダプター、USBケーブルを外す。

そのまま使用すると、ショートして火災・感電の原因になります。

- お買上げ店にご相談ください。



風呂、シャワー室では使用しない。

火災・感電の原因になります。



分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。

火災・感電の原因になります。

警告

落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。



接触禁止

感電したり、破損部でケガをする原因になります。

- 感電やケガに注意して速やかに電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。

接続コードの上に重い物をのせたり、加工したり、無理に引き曲げたり、加熱したりしない。



コードに傷がついて、火災・感電の原因になります。

- コードに傷がついた場合は、お買上げ店にご相談ください。
- 一度端子部分が曲がってしまったコネクタは使用しないでください。

不安定な場所に置かない。



バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。

移動中の使用はしない。



歩行中や自動車などの乗り物を運転しながらの撮影、再生などの操作はしないでください。

転倒、交通事故などの原因になります。

雷が鳴りだしたら金属部分に触れない。



落雷すると誘電雷により感電の原因になります。

指定外の方法で電池・バッテリーを使用しない。



電池は極性(⊕⊖)表示どおりに入れてください。

電池・バッテリーを分解、加工、加熱しない。

電池・バッテリーを落としたり、たたいたり、投げたり、強い衝撃や変形を与えない。

電池・バッテリーの液漏れ、変形、変色、その他異常に気が付いたときは使用しない。

リチウム電池やアルカリ電池は充電しない。



電池・バッテリーをショートさせない。

電池・バッテリーを金属製品と一緒に保管しない。

バッテリーを指定以外の充電器で充電しない。

電池・バッテリーの発熱・発火・破裂・液漏れにより、火災・ケガ・やけどの原因になります。

指定外の電池・バッテリーや AC パワーアダプターを使用しない。



表示された電源電圧以外の電圧で使用しない。

火災の原因になります。

電池・バッテリーの液が漏れて、目に入ったり、皮膚や衣服に付着したときは、失明やケガのおそれがあるので、ただちにきれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受ける。



フラッシュを人の目に近づけて発光させない。



視力障害になる恐れがあります。特に乳幼児を撮影するときは、十分に離れて撮影してください。

△ 警告

カメラの温度が高い部分に長時間触れない。

低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合、三脚などをお使いください。



- 気温の高い環境でご使用になる場合
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合

電源を入れたまま長時間、身体の同じ箇所に直接触れて使用しない。

低温やけどの原因になる場合があります。特に以下の場合、三脚などをお使いください。



- 長時間ご使用になる場合
- 気温の高い環境でご使用になる場合
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合



バッテリーが正しく交換されていないと、爆発の危険があります。交換には同一のものだけを使用してください。



可燃性 / 爆発性ガス / 粉塵のある場所で使用しない。



電池・バッテリーを廃棄する場合や保存する場合には、端子部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼る。

他の金属や電池と混じると発火、破裂の原因になります。

メモリーカードやホットシューカバーなどの小さな付属品は乳幼児に触れさせない。



メモリーカードやホットシューカバーなど小さな付属品は、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。

小さいお子様の手の届くところに置かない。



誤って、ストラップを首に巻きつけ窒息の原因になったり、フラッシュの誤発光による目の障害やカメラ動作などによるケガの原因になることがあります。



飛行機内、病院での使用は、航空会社、病院の指示に従う。

本製品が出す電磁波が計器や医療機器などに影響を与える恐れがあります。

△ 注意



油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。

火災・感電の原因になることがあります。



異常な高温になる場所に置かない。

窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないください。

火災の原因になることがあります。



本製品の上に重いものを置かない。

バランスがくずれて倒れたり、落下したりして、ケガの原因になることがあります。

AC パワーアダプターを接続したまま移動しない。AC パワーアダプターを抜く



ときは、接続コードを引っ張らない。

電源コードやケーブルが傷つき、火災・感電の原因になることがあります。



本製品や AC パワーアダプターや充電器を布や布団でおおったりしない。

熱がこもりケースが変形し、火災の原因になることがあります。



電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。

火災・感電の原因になることがあります。



お手入れの際や長時間使用しないときは、電池・バッテリーや AC パワーアダプターを外し、電源プラグを抜く。

火災・感電の原因になることがあります。



充電終了後は充電器をコンセントから抜く。

電源プラグを
抜く

コンセントにつけたままにしておくと火災の原因になることがあります。



メモリーカードを取り出す場合、カードが飛び出す場合がありますので、指で受け止めた後にカードを引き抜くこと。

飛び出したカードが当たり、ケガの原因になることがあります。

定期的な内部点検・清掃を依頼する。



本製品の内部にほこりがたまり、火災や故障の原因になることがあります。

- ・ 2年に1度くらいは、内部清掃をお買上げ店にご依頼ください。

電源についてのご注意

※ ご使用になるカメラの電池の種類をお確かめの上お読みください。

電池・バッテリーを上手に長くお使いいただくため、下記をお読みください。使い方を誤ると、電池・バッテリーの寿命が短くなるばかりか、液漏れ、発熱・発火の恐れがあります。

充電式リチウムイオンバッテリー使用機種

※ バッテリーは出荷時にはフル充電されていません。お使いになる前に必ず充電してください。

※ バッテリーを持ち運ぶときは、カメラに取り付けるか、ソフトケースに入れてください。

■ バッテリーの特性

- バッテリーは使わなくても、少しずつ放電しています。撮影の直前（1～2日前）に充電したバッテリーを用意してください。
- バッテリーを長く持たせるには、できるだけこまめに電源を切ることをおすすめします。
- 寒冷地や低温時では撮影できる枚数が少なくなります。充電済みの予備バッテリーをご用意ください。また、使用時間を長くするために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前にカメラに取り付けてください。カイロなどをお使いになる場合は、直接バッテリーに触れないようにご注意ください。

■ 充電について

- 別売のバッテリーチャージャー BC-W126S を使用して充電できます。
 - 充電は周囲の温度が +5℃～+40℃の範囲で可能です。この範囲外では充電できないことがあります。
 - +10℃～+35℃の温度範囲外で充電する場合、バッテリーの性能を劣化させないために充電時間が長くなる場合があります。充電は +10℃～+35℃の温度範囲で行ってください。
- 充電式リチウムイオンバッテリーは充電の前に放電したり、使い切ったりする必要はありません。
- 充電が終わったあとや使用直後に、バッテリーが熱を持つことがあります。異常ではありません。
- 充電が完了したバッテリーを再充電しないでください。

■ バッテリーの寿命について

常温で使用した場合、約 300 回繰り返して使えます。使用できる時間が著しく短くなったときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

■ 保存上のご注意

- 充電された状態で長期間保存すると、特性が劣化することがあります。しばらく使わない場合は、使い切った状態で保存してください。
- 使用しないときは必ずバッテリーをカメラや、バッテリーチャージャーから取り外してください。
- 涼しいところで保存してください。
 - 周囲の温度が +15℃～+25℃くらいの乾燥したところをおすすめします。
 - 暑いところや極端に寒いところは避けてください。

❗ 危険ですので、次のことにご注意ください



バッテリーの金属部分に、他の金属が触れないようにしてください。



火気に近づけたり、火の中に投げ込んだりしないでください。



分解したり、改造したりしないでください。

- 強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 水にぬらさないようご注意ください。
- 端子は常にきれいにしておいてください。
- 長時間高温の場所に置かないでください。また、長時間、バッテリーで使用していると、カメラ本体やバッテリーが熱を帯びますが、故障ではありません。長時間の撮影、再生には AC パワーアダプターをお使いください。

■ 電池の廃棄について

電池を捨てるときは、地域の条例に従って処分してください。

■ 小形充電式電池のリサイクルについて



小形充電式電池（リチウムイオンバッテリーまたはニッケル水素電池など）はリサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みの電池は、端子を絶縁するためにセロハンテープなどを貼るか、個別にポリ袋に入れて最寄りのリサイクル協力店にある充電式電池回収 BOX に入れてください。詳細は、「一般社団法人 JBRC」のホームページをご参照ください。

<http://www.jbrc.com/>

カメラをお使いになる前のご注意**■ 撮影の前には試し撮りをしましょう**

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）をするときには、必ず試し撮りをし、画像を再生して撮影されていることを確認してください。

※ 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および撮影により得であろう利益の喪失など）については補償いたしかねます。

■ 著作権についてのご注意

あなたがデジタルカメラで記録したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像やファイルの記録されたメモリーカードの転送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外にご利用いただけませんので、ご注意願います。

■ 製品の取り扱いについて

画像記録中にカメラ本体に衝撃を与えると、画像ファイルが正常に記録されないことがありますのでご注意ください。

■ 液晶について

液晶パネルが破損した場合、中の液晶には十分にご注意ください。万一のときは、応急処置を行ってください。

- 皮膚に付着した場合：付着物をふき取り、水で流し、石けんでよく洗浄してください。
- 目に入った場合：きれいな水でよく洗い流し、最低 15 分間洗浄したあと、医師の診断を受けてください。
- 飲み込んだ場合：水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を飲んで吐き出したあと、医師の診断を受けてください。

液晶パネルは非常に高精度の技術で作られておりますが、黒い点や常時点灯する点などが存在することがあります。これは故障ではなく、記録される画像には影響ありません。

■ 商標について

- デジタルスプリットイメージ、Digital Split Image は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- デジタルマイクロプリズム、Digital Micro Prism は、富士フイルム（株）の商標または登録商標です。
- DynaFont は、DynaComware Taiwan Inc. の登録商標です。
- Apple、iPhone、iPad、Mac、OS X、macOS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。iPhone の商標は、アイホン株式会社のライセンスにもとづき使用されています。
- Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
- Android は、Google LLC の商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Photoshop ならびに Lightroom は Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- Wi-Fi® および、Wi-Fi Protected Setup® は、Wi-Fi Alliance の商標または登録商標です。
- Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士フイルム株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。
- SDHC ロゴ、SDXC ロゴは、SD-3C, LLC の商標です。
- HDMI ロゴは HDMI Licensing LLC の商標または登録商標です。
- その他の社名、商品名などは、日本および海外における各社の商標または登録商標です。

■ ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

- 本製品は、一般財団法人 VCCI 協会の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。VCCI-B
- 本製品を飛行機や病院の中で使用しないでください。使用した場合、飛行機や病院の制御装置などの誤作動の原因になることがあります。

カメラの使用上のご注意

- カメラを強い光源（晴天時の太陽や人工的な強い光源など）に向けないでください。撮像素子が破損する場合があります。
- 太陽光がファインダーのレンズに入射すると、内部の表示パネル上で焦点をむすび、表示パネルを破損させてしまうことがあります。ファインダーを太陽に向けないようにご注意ください。

■ 避けて欲しい保存場所

次のような場所での本製品の使用・保管は避けてください。

- 雨天下、湿気やゴミ、ほこりの多いところ
- 直射日光の当たるところや夏場の密閉した自動車内など、高温になるところ
- 極端に寒いところ
- 振動の激しいところ
- 油煙や湯気の当たるところ
- 強い電磁場の発生するところ（放送塔、送電線、レーダー、モーター、トランス、磁石のそばなど）
- 防虫剤などの薬品やゴム、ビニール製品に長時間接触するところ

■ 冠水、浸水、砂かぶりにご注意（防水機能付機種を除く）

水や砂は本製品の大敵です。海辺、水辺などでは、水や砂がかからないようにしてください。また、水でぬれた場所の上に、本製品を置かないでください。水や砂が本製品の内部に入りますと、故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

■ 結露（つゆつき）にご注意

本製品を寒いところから急に暖かいところに持ち込んだときなどに、本製品内外部やレンズなどに水滴がつくこと（結露）があります。このようなときは電源を切り、水滴がなくなってからお使いください。また、メモリーカードに水滴がつくことがあります。このようなときはメモリーカードを取り出し、しばらくたってからお使いください。

■ 長時間お使いにならないときは

本製品を長時間お使いにならないときは、バッテリーまたは電池、メモリーカードを取り外して保管してください。

■ 海外で使うとき

- このカメラは国内仕様です。付属している保証書は、国内に限られています。旅行先で万一、故障、不具合が生じた場合は、持ち帰ったあと国内の弊社サービスステーションにご相談ください。
- 海外旅行などでチェックインする旅行カバンにカメラを入れないでください。空港での荷扱いによっては、大きな衝撃を受けて、外観には変化がなくても内部の部品の故障の原因になることがあります。

メモリーカードについてのご注意

詳細は、使用説明書をお読みください。

■ メモリーカード取扱上のご注意

- メモリーカードは、小さいため乳幼児が誤って飲み込む可能性があります。乳幼児の手の届かない場所に保管してください。万一、乳幼児が飲み込んだ場合は、ただちに医師と相談してください。
- メモリーカードをカメラに入れるときは、まっすぐに挿入してください。
- メモリーカードの記録中、消去（フォーマット）中は、絶対にメモリーカードを取り出したり、機器の電源を切ったりしないでください。メモリーカードが破壊されることがあります。
- 指定以外のメモリーカードはお使いになれません。無理にご使用になるとカメラの故障の原因になります。
- 強い静電気、電氣的ノイズの発生しやすい環境でのご使用、保管は避けてください。
- 静電気を帯びたメモリーカードをカメラに入れると、カメラが誤作動する場合があります。このような場合はいったん電源を切ってから、再び電源を入れ直してください。
- ズボンのポケットなどに入れないでください。座ったときなどに大きな力加わり、壊れる恐れがあります。
- 長時間お使いになったあと、取り出したメモリーカードが温かくなっている場合がありますが、故障ではありません。
- メモリーカードにはラベル類は一切はらわないでください。メモリーカードの出し入れの際、故障の原因になります。

■ メモリーカードをパソコンで使用する場合のご注意

- パソコンで使用したあとのメモリーカードを使って撮影する場合は、カメラでフォーマットしなおしてください。
- カメラでフォーマットして撮影、記録すると、自動的にフォルダが作成されます。画像ファイルは、このフォルダ内に記録されます。
- パソコンでメモリーカードのフォルダ名、ファイル名の変更、消去などの操作を行わないでください。メモリーカードがカメラで使用できなくなることがあります。
- 画像ファイルの消去はカメラで行ってください。
- 画像ファイルを編集する場合は、画像ファイルをハードディスクなどにコピーまたは移動し、コピーまたは移動した画像ファイルを編集してください。

無線 LAN/Bluetooth 機器使用上の注意事項

重要！ 本製品に搭載されている無線 LAN/Bluetooth 機能をご使用になる前に必ずお読みください。



本製品は、米国輸出規則 (EAR) の対象となり、米国禁輸出国への輸出や持ち出しには、米国商務省、財務省等当局の許可が必要となりますのでご注意ください。

■ 本製品は無線 LAN/Bluetooth 機器としてお使いください。

無線 LAN/Bluetooth 機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、当社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。無線 LAN/Bluetooth 機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全に行ってください。

■ 無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国での利用を前提としています。

本製品の無線 LAN/Bluetooth 機能はお買い求め頂いた国の電波に関する法律に準拠しております。ご使用の際は、お使い頂く国の法律を遵守してください。お買い求め頂いた国以外でのご使用上のトラブル等については、弊社では一切の責任を負いかねます。

■ 磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください。

電子レンジ付近などの磁場、静電気、電波障害が発生するところでは本製品を使用しないでください（環境により電波が届かないことがあります）。また、2.4GHz 付近の電波を使用しているものの近くで使用すると双方の処理速度が落ちる場合があります。

■ セキュリティについて

無線 LAN/Bluetooth 機能は電波を使って通信するため、有線 LAN よりもセキュリティに注意する必要があります。

- 本製品に使用権限のない（知らない）ネットワークが表示されても接続しないでください。接続すると不正アクセスとみなされるおそれがあります。使用権限のあるネットワークだけをお使いください。
- 電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。あらかじめご了承ください。

■ 次の事項を行った場合、法律で罰せられることがあります。

- 本製品を分解、または改造すること
- 本製品上の証明ラベルをはがすこと

■ 本製品の使用する無線チャンネルは、以下の機器や無線局と同じ周波数帯を使用します。

- 産業・科学・医療用機器
- 工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の無線局
 - (1) 構内無線局（免許を要する無線局）
 - (2) 特定小電力無線局（免許を要しない無線局）

- 本製品を使用する場合は、前項の機器や無線局と電波干渉する恐れがあるため、以下の事項に注意してください。

無線局が運用されていないことを確認してください。

万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合は、速やかに場所を変更するか、または電波の使用を停止してください。

その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、当社サービスセンターへお問い合わせください。

2.4DS/OF4

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用する DSSS と OFDM 変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 40m であることを意味しています。

2.4XX8

本製品が 2.4GHz 周波数帯を使用するその他の変調方式を採用した無線設備で、与干渉距離が約 80m であることを意味しています。

- 本製品を飛行機の中で使用しないでください。

Bluetooth 機能は、電源を切っても機能が働く場合があります。Bluetooth 機能を停止させるためには、**☑ 接続設定 > Bluetooth 設定 > Bluetooth ON/OFF を OFF に設定**してください。


レンズをご使用前に必ずお読みください**安全上のご注意**

本文は、レンズまたはレンズを取り付けたカメラを安全に取り扱うための注意内容です。


- ご使用前の前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
- お読みになったあとは大切に保管してください。


表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や障害の程度を次の表示で説明しています。


 **警告** この表示の欄は「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

 **注意** この表示の欄は「障害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。


お守りいただく内容の種類を次の絵表示で説明しています。

 このような絵表示は、気をつけていただきたい「注意喚起」内容です。


 このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

 警告

 **水をかけたり、水にぬらしたりしない。**

風呂、シャワー室での使用禁止 火災・感電の原因になります。

 **分解や改造は絶対にしない（ケースは絶対に開けない）。**

分解禁止 火災・感電の原因になります。

また、異常動作を起こしてケガの原因になります。


落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れない。

接触禁止 感電したり、破損部でケガをする原因になります。

- 感電やケガに注意して速やかにカメラの電池・バッテリーを取り出し、お買上げ店にご相談ください。








 **不安定な場所に置かない。**

バランスがくずれて倒れたり落下したりして、ケガの原因になります。

 **レンズまたはカメラで直接太陽をみない。**

失明や視力障害になる恐れがあります。

△ 注意

-  **油煙、湯気、湿気、ほこりなどが多い場所に置かない。**
火災・感電の原因になることがあります。
-  **異常な高温になる場所に置かない。**
窓を閉めきった自動車の中や、直射日光が当たる場所に置かないください。
火災の原因になることがあります。
-  **小さいお子様の手の届くところに置かない。**
ケガの原因になることがあります。
-  **濡れた手で触らない。**
感電の原因になることがあります。
-  **逆光撮影では、画角から太陽を十分にはずす。**
太陽光がカメラ内部に直接进入することで、カメラ内で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。
-  **使用しない時は、レンズにキャップをつけ、太陽光のあたらない場所に保管する。**
太陽光が内部で焦点を結び、火災ややけどの原因になることがあります。
-  **三脚にカメラやレンズを取り付けたまま移動しない。**
転倒したり、ぶついたりしてケガの原因になることがあります。

お手入れについて

長くご愛用いただくために、カメラをご使用になった後は次のようにお手入れすることをおすすめします。

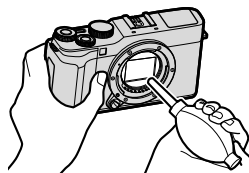
- カメラ本体は、乾いた柔らかい布などで拭いてください。アルコール、シンナー、ベンジンおよび殺虫剤など揮発性のものをかけないでください。変質、変形したり、塗料がはげたりするなどの原因になります。特にカメラ本体の革については変色の原因になる場合があります。
- カメラ本体に液体が付着した場合は、すぐに乾いた柔らかい布などで拭き取ってください。
- 液晶モニター表面などの汚れはブロワーブラシなどでほこりを払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。それでも取れないときは、富士フィルムのレンズクリーニングペーパーにレンズクリーニングリキッドを少量つけて軽く拭いてください。
- 液晶モニター表面などは傷つきやすいので、固いものでこすったりしないでください。
- センサーのクリーニングは **基本設定 > センサークリーニング**で行えます。**センサークリーニング**を実行しても汚れが取れない場合は、ブロワーでほこりを取り除いてください。
- カメラを保管するときは、ボディキャップを取り付けてください。

センサークリーニング

■ **基本設定** > **センサークリーニング**を実行しても汚れが取れない場合は、ブローでほこりを取り除いてください。

❗ クリーニング作業中にセンサーを傷付けたり、破損した場合、弊社サービスステーションでの（交換）修理は有償（高額）となりますので、十分ご注意ください。

1 センサーの表面に付着したほこりをブロー（ブラシの付いていないもの）で取り除きます。



2 センサーの表面に付着していたほこりが取り除けたかを確認します。

3 カメラにレンズまたはボディキャップを装着します。


- 🔧
- ブローはブラシの付いていないものを使用してください。ブローのブラシでセンサーのほこりを取り除くと、表面を傷付けることがあります。
 - 取り除けていない場合は、再度ブローでクリーニングしてください。

ファームウェア更新情報

本製品はファームウェアの更新による機能の追加／変更のため、付属の使用説明書の記載と一部機能が異なる場合があります。詳しくは下記ホームページから各機種種のファームウェア更新情報をご覧ください。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/>

ファームウェアバージョンの確認方法


 バージョンの確認は、メモリーカードがカメラ内にある状態でないと確認ができませんので、ご注意ください。

1 カメラの電源をオフにします。

メモリーカードが入っていることを確認します。

2 **DISP/BACK** ボタンを押しながら電源をオンにすると、バージョンが表示されます。

3 バージョンの確認ができたなら、電源をオフにしてください。

 別売アクセサリ（交換レンズ、クリップオンフラッシュ、マウントアダプターなど）のファームウェアバージョンを確認するときやファームウェアを更新するときは、カメラボディに別売アクセサリを装着してから確認や更新を行ってください。

トラブルシューティング / FAQ

カメラの動作がおかしいときは、まず次の表の内容をご確認ください。処置を行っても改善されない場合は、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

電源とバッテリー

症状	ここをチェック！	処置	📖
ON/OFF（電源）ボタンを押しても電源がオンになりません。	バッテリーが消耗していませんか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	26
	バッテリーを正しい向きで入れていませんか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	22
	バッテリーカバーはきちんと閉まっていますか？	バッテリーカバーをしっかり閉めてください。	
バッテリー、電源について バッテリーの消耗が早いです。	非常に寒いところでカメラを使っていますか？	バッテリーをポケットなどで温めておいて、撮影の直前に取り付けてください。	—
	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーの端子部分を乾いたきれいな布で拭いてください。	—
	プリ AF を ON に設定していませんか？	プリ AF を ON で撮影すると、バッテリーの消耗が早くなります。	104
	同じバッテリーを長時間使っていませんか？	バッテリーの寿命の可能性あります。新品のバッテリーと交換してください。	—
	使用中に電源がオフになってしまいました。	バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。

症状	ここをチェック！	処置	頁
充電が開始されません。 (USB 充電時)	カメラにバッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	22
	バッテリーは正しい向きでカメラに入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	
	USB ケーブルはパソコンに接続されていますか？	パソコンと正しく USB ケーブルで接続してください。	26
	パソコンの電源がオフまたは休止状態になっていませんか？	パソコンの電源がオンになっていることを確認し休止状態（スリープ状態）を解除したあと、USB ケーブルを接続し直してください。	
充電が開始されません。 (充電器使用時)	バッテリーは入っていますか？	バッテリーを入れてください。	—
	バッテリーは正しい向きで入っていますか？	バッテリーを正しい方向で入れ直してください。	—
	プラグは正しくコンセントに接続されていますか？	充電器のプラグを正しくコンセントに接続してください。	—
	プラグアダプターは正しく充電器に装着されていますか？	プラグアダプターを正しく充電器に装着してください。	—
充電時間がかかりすぎます。	非常に寒いところで充電を行っていますか？	低温時は、充電時間が長くなる場合があります。	—
充電中にインジケータランプが点滅して充電できません。	バッテリーの端子が汚れていませんか？	バッテリーをいったん取り出して、端子部分を乾いたきれいな布で拭いてから、入れ直してください。	22
	バッテリーの寿命または故障の可能性があります。	新しいバッテリーと交換してください。それでも充電できないときは、弊社サポートセンターにお問い合わせください。	200 245

充電について

メニューなどの設定時

症状	ここをチェック！	処置	📖
メニューが日本語以外で表示されています。	言語/LANG. が日本語以外の言語になっていませんか？	言語設定を日本語にしてください。	32 154

撮影時

症状	ここをチェック！	処置	📖
基本撮影について	撮影可能枚数が0になっていませんか？	新しいメモリーカードを入れるか、不要なコマを消去してください。	22 137
	メモリーカードはフォーマットされていますか？	カメラでフォーマットしてください。	152
	メモリーカードの接触面(金色の部分)が汚れていませんか？	メモリーカードの接触面を乾いた柔らかい布で拭いてください。	—
	メモリーカードが壊れている可能性があります。	新しいメモリーカードを入れてください。	22
	バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	26
	電源がオフになっていませんか？	電源をオンにしてください。	28
	他社製のマウントアダプターを使用していますか？	レンズなしリリースをON にしてください。	165
シャッターボタンを半押しすると、LCDにノイズが見えます。	被写体が暗かったり、絞りを絞り込んだりしていませんか？	設定した絞りで撮影前の構図を確認するために明るく表示しているの、ノイズが目立つ場合があります。撮影画像には影響ありません。	—
マウントについて	オートフォーカスの苦手な被写体を撮影しようとしていませんか？	AE/AF ロック撮影してください。	74

	症状	ここをチェック！	処置	目録
パノラマ撮影について	シャッターボタンを押してもパノラマ撮影できません。	インジケータランプが橙色に点灯していませんか？	インジケータランプが消灯するまでお待ちください。	7 54
顔検出について	顔を検出できません。	サングラス、帽子や前髪などで顔の一部が隠れていませんか？	なるべく顔の全体が見えるようにしてください。	105
		撮影したい人物の顔が、構図内で小さすぎませんか？	顔が大きく写るようにもうすこし近づいて撮影してください。	
		人物の顔が横向きまたは斜めに傾いていませんか？	顔が正面を向いているほうが、検出しやすくなります。	
		カメラが傾いていませんか？	カメラをまっすぐに構えたほうが、検出しやすくなります。	—
		人物の顔が暗くないですか？	できるだけ明るい条件で撮影してください。	—
	ピントを合わせたい顔にピントが合いません。	複数の顔が検出されるときに、中央付近にない顔にピントを合わせようとしていませんか？	合わせたい顔が画面の中央に来るように構図を変えてください。構図を変えたくない場合は、顔検出を使わずに AF/AE ロック撮影してください。	74
動画について	動画が撮影できません。	スピードクラスの性能が低いメモリーカードを使用していませんか？	UHS スピードクラス 3 以上のメモリーカードをご使用ください。	25 40

	症状	ここをチェック！	処置	目次
フラッシュについて	フラッシュが発光しません。	バッテリー残量が少なくなっていますか？	充電済みのバッテリーを使ってください。	26
		連写設定がブレイク撮影または連写になっていませんか？	ドライブモードを 1コマ撮影 に設定してください。	5 83 86
		電子音 & フラッシュがOFFに設定されていませんか？	電子音 & フラッシュをONにしてください。	154
		被写体から離れすぎていませんか？	フラッシュ撮影可能距離内で撮影してください。	—
	フラッシュが発光するのに撮影した画像が暗い。	フラッシュを指などでふさいでいませんか？	カメラを正しく構えてください。	—
		高速シャッタースピードで撮影していませんか？	シャッタースピードが同調速度より高速の場合は、フラッシュを発光しても暗くなる場合があります。シャッタースピードを同調速度以下に設定してください。	48 51 89 235
撮影した画像の異常について	画像がぼやけています。	レンズに指紋などの汚れがついていませんか？	レンズを清掃してください。	186
		レンズに指などがかかっていますか？	レンズに指がかからないようにしてください。	34
		撮影時にAFフレーム(赤点灯)と !AF が表示されていませんか？	しっかりとピントを合わせから撮影してください。	35
	画像に点状のノイズがあります。	気温の高いところでスローシャッター(長時間露光)撮影しませんでしたか？	撮像素子の特性によるもので、故障ではありません。	—
	画像にノイズが撮影されます。	高温環境で連続使用をしていませんか？	しばらく電源オフにした後でご利用ください。	28
		温度警告が表示されていませんか？		232

再生時

	症状	ここをチェック！	処置	📖
1 コマ再生について	画像が粗く表示されます。	他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像はきれいに表示できないことがあります。	—
	拡大表示できません。	リサイズした画像ではありませんか？	リサイズした画像は、再生ズームができません。	—
		他のカメラで記録した画像ではありませんか？	他のカメラで記録した画像は再生ズームができないことがあります。	—
動画再生について	カメラから音が出ません。	カメラの再生音量の設定が小さくなっていませんか？	再生音量を調節してください。	157
		動画撮影時にマイクを手などでふさいでいませんか？	動画撮影時はマイクをふさがないでください。	—
		再生中にスピーカーを手などでふさいでいませんか？	再生中はスピーカーをふさがないでください。	—
		電子音 & フラッシュが OFF に設定されていませんか？	電子音 & フラッシュを ON にしてください。	154
消去について	選択した画像を消去できません。	プロテクトされていますか？	プロテクトを解除してください。プロテクトを解除するときは、プロテクトを行ったカメラをお使いください。	141
	全コマ消去したのに画像が残っています。			
コマナンバーについて	コマ NO. の連番が機能しません。	バッテリーやメモリーカードを交換するときに電源を切らずにバッテリーカバーを開けませんでしたか？	バッテリーやメモリーカードを交換するときは、必ず電源をオフにしてください。電源を切らずにバッテリーカバーを開けると、コマ NO. の連番が機能しないことがあります。	167

接続時

	症状	ここをチェック！	処置	📖
テレビとの接続ができません	カメラの画面に何も表示されません。	カメラとテレビを接続していませんか？	カメラとテレビを接続した場合、カメラの画面には何も表示されません。	188
	テレビに画像、音声が出ません。	カメラとテレビが正しく接続できていますか？	確認して正しく接続し直してください。	
		テレビの入力が「テレビ」になっていませんか？	テレビの入力を「HDMI」にしてください。	
		テレビの音量が小さくなっていませんか？	テレビの音量を調節してください。	
パソコンとの接続ができません	パソコンがカメラを認識しません。	USB ケーブルが正しく接続されていますか？	確認して正しく接続し直してください。	193

無線 LAN 通信

無線 LAN 機能のトラブルシューティングについては、以下のサイトをご覧ください。

<http://digitalcamera.support.fujifilm.jp/app/>

	症状	ここをチェック！	処置	📖
	スマートフォンで受信した画像が開けません。	スマートフォン送信時 📷 圧縮を OFF に設定していませんか？	スマートフォン送信時 📷 圧縮を ON にしてください。また、スマートフォンによっては画像が大きすぎて開けない場合があります。	172



症状	ここをチェック！	処置	目録
	スマートフォンとの距離が離れていませんか？	スマートフォンを近づけてご使用ください。	190
	電子レンジやコードレス電話機などの機器を近くでご使用されていませんか？	それらの機器から離れてご使用ください。	
スマートフォンと接続できません。 スマートフォンとの接続 / 送信に時間がかかります。 画像送信が途中で失敗 / 切断します。 スマートフォンに送信できません。	相手先のスマートフォンがすでに別のカメラと接続していませんか？	スマートフォンもカメラも一度に接続できる相手は1台のみです。 別のカメラとの接続を終了してから、やり直してください。	—
	スマートフォンが近距離に複数台ありませんか？	操作をはじめからやり直してください。 周囲に複数台のスマートフォンがあると、つながりにくい場合があります。	
	動画が選択されていませんか？（カメラ内閲覧機能の使用時）	動画の送信には時間がかかる場合があります。またスマートフォンで再生できない動画の場合は動画モードをHD（1280×720）以下のサイズに設定してください。 カメラ内閲覧機能については以下のサイトをご覧ください。 http://app.fujifilm-dsc.com/jp/camera_remote/	
	他のカメラで撮影した画像が選択されていませんか？	このカメラで撮影した画像を送信してください。他のカメラで撮影した画像は送信できない場合があります。	

その他


	症状	ここをチェック！	処置	📖
カメラの動作などについて	カメラのボタンなどを操作しても動きません。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。	22
		バッテリーの消耗が原因として考えられます。	充電済みのバッテリーを使ってください。	26
		無線 LAN に接続していませんか？	無線 LAN を解除してください。	—
カメラが正常に作動しなくなっていました。	一時的に誤作動を起こしている可能性があります。	バッテリーをいったん取り外して、取り付け直してから操作してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。	22 245	
音について	音がでません。	音設定で消音に設定していませんか？	各設定の音量を調整してください。	156
		電子音 & フラッシュが OFF に設定されていませんか？	電子音 & フラッシュを ON にしてください。	154
日付と時刻について	保存設定の日付書き込みで写し込んだ日時が正しくない。	日時設定は正しく設定されていますか？	日時設定をやり直してください。	32 153
	撮影画像に日付や時刻が入っている。	保存設定の日付書き込みが設定されていませんか？	写し込まれた日付や時刻は消去できません。日付や時刻がない画像を撮影する場合は、 日付書き込み を OFF に設定してから撮影してください。	168

警告表示

画面に表示される警告には、以下のものがあります。

警告表示	警告内容	処置
 (赤点灯)	バッテリーの残量が少なくなっています。	新しいバッテリーまたは充電済みのバッテリーと交換してください。
 (赤点滅)	バッテリーの残量がありません。	
!AF (赤点灯) AF フレームの形は撮影メニューの設定によって異なります	ピント合わせができません。	AE/AF ロック機能を使って、同じ距離の他の被写体にピントを合わせてから、構図を変えてください。
絞り、シャッタースピード表示 (赤点灯)	被写体が明るすぎる、または暗すぎるために適正な明るさで撮影できません。	<ul style="list-style-type: none">• 静止画撮影時に被写体が暗いときは、フラッシュを使ってください。• 適切な明るさ (露出) ではありませんが撮影できます。
フォーカスエラー レンズ制御エラー 電源を入れ直してください	カメラが誤作動または故障しています。	<ul style="list-style-type: none">• 電源を入れ直してください。• 電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処置
フォーマットされて いません	メモリーカードがフォー マットされていません。	メモリーカードをカメラで フォーマットしてください。
	メモリーカードがパソコンで フォーマットされています。	メモリーカードをカメラで フォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面(金 色の部分)が汚れています。	メモリーカードの接触面を、 乾いた柔らかい布などでよく 拭いてください。また、フォー マットが必要な場合がありま す。それでも警告表示が消え ない場合はメモリーカードを 交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに 修理をご依頼ください。
レンズエラー	レンズとカメラの間に異物 が入っています。	カメラの電源をオフにして レンズを取り外し、異物を取り 除いて電源を入れ直してくだ さい。それでも復帰できないと きは、弊社修理サービスセン ターに修理をご依頼ください。
カードエラー	メモリーカードがカメラで フォーマットされていません。	メモリーカードをカメラで フォーマットしてください。
	メモリーカードの接触面(金 色の部分)が汚れています。	メモリーカードの接触面を、 乾いた柔らかい布などでよく 拭いてください。また、フォー マットが必要な場合がありま す。それでも警告表示が消え ない場合はメモリーカードを 交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに 修理をご依頼ください。
	非対応のメモリーカードです。 メモリーカードが壊れてい ます。	弊社動作確認済みのメモリー カードを挿入してください。
プロテクトされたカード です	SDメモリーカードの書き込 み禁止スイッチが「LOCK」 側になっています。	SDメモリーカードの書き込 み禁止スイッチを元に戻し、 誤記録防止のロックを外して ください。

警告表示	警告内容	処置
動画記録できません	パソコンでフォーマットしたメモリーカードのため、動画記録が間に合いません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
 空き容量がありません	メモリーカードに空き容量がないため、画像を記録できません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
記録できませんでした	メモリーカードとカメラ本体の接触異常またはメモリーカードの異常のため記録できません。	メモリーカードを入れ直すか電源のオン/オフを繰り返してください。それでも復帰できないときは、弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。
	画像を記録する空き容量がありません。	画像を消去するか、空き容量のあるメモリーカードを使用してください。
	メモリーカードがフォーマットされていません。	メモリーカードをカメラでフォーマットしてください。
コマ NO. の上限です	コマ NO. が「999-9999」に達しているため、これ以上撮影できません。	フォーマットしたメモリーカードをカメラに入れて、 コマ NO. を新規に設定します。撮影すると、コマ No. が「100-0001」から付けられます。 コマ NO. を連番に戻すと、引き続き撮影できます。
再生できません	正常に記録されていないファイルを再生しようとして、もしくは他のカメラで記録した静止画または動画を再生しようとして、	このファイルは再生できません。
	メモリーカードの接触面(金色の部分)が汚れています。	メモリーカードの接触面を、乾いた柔らかい布などでよく拭いてください。また、フォーマットが必要な場合があります。それでも警告表示が消えない場合はメモリーカードを交換してください。
	カメラが故障しています。	弊社修理サービスセンターに修理をご依頼ください。

警告表示	警告内容	処置
プロテクトされています	プロテクトされているファイルを消去しようとしました。	プロテクトしたファイルは消去できません。プロテクトを解除してください。
トリミングできません	他のカメラで撮影した画像または壊れた画像をトリミングしようとしました。	トリミングできない画像です。
これ以上予約できません	DPOF のコマ設定で 1000 コマ以上のプリント指定をしました。	同一メモリーカード内でプリント指定できるコマ数は 999 コマまでです。別のメモリーカードにプリント予約したい画像をコピーして、プリント予約してください。
設定できません 🚫 設定できません	プリント予約できない画像または動画にプリント予約しようとしました。	プリント予約できません。
回転できません 🚫 回転できません	他のカメラで撮影した画像または動画を回転しようとしました。	回転できません。
🚫 実行できません	プロテクトされているファイルを回転しようとしました。	プロテクトしたファイルは回転できません。プロテクトを解除してください。
🚫 実行できません	他のカメラで撮影した画像、動画、または再生できない画像を赤目補正しようとしました。	—
⚠	カメラの温度が上昇しています。そのまま使い続けると、画像にノイズが多くなる場合があります。	電源を切ってしばらくたってからご使用ください。

標準撮影枚数 / 記録時間

標準撮影枚数および撮影時間はおおよその目安です。実際の撮影枚数および撮影時間は、撮影条件やメモリーカードの種類により変動します。また、液晶モニターに表示される記録枚数・時間は規則正しく減少しないことがあります。

撮影モード		記録媒体	SDメモリーカード			
			8GB		16GB	
画質			FINE	NORMAL	FINE	NORMAL
静止画	16:9		660	1060	1330	2120
	RAW (非圧縮)		180		370	
動画	4K 29.97P, 25P, 24P, 23.98P ^{*2}		9分		20分	
	FHD 59.94P, 50P, 29.97P, 25P, 24P, 23.98P ^{*3}		26分		54分	
	FHD 59.94P, 50P, 29.97P, 25P, 24P, 23.98P ^{*3}		51分		105分	
	FHD 59.94P, 50P, 29.97P, 25P, 24P, 23.98P ^{*3}		51分		105分	

*1 動画を撮影するときは、UHS スピードクラス 3 以上のメモリーカードをご使用ください。

*2 連続して記録する場合、約 15 分で自動的に撮影を停止します。

*3 連続して記録する場合、約 30 分で自動的に撮影を停止します。




! 動画を連続して撮影した場合、ファイルサイズが 4GB を超える場合でも一時中断することなく動画撮影が可能ですが、動画ファイルは分割して保存されるため、それぞれのファイルごとに再生が必要です。

温度保護機能について

カメラやバッテリーの温度が上昇すると、カメラを保護するために自動的に電源がオフになる場合があります。温度警告が表示された場合は、画像にノイズが多くなる可能性があります。一度、電源をオフにし、しばらくたってからご使用ください (p.232)。

主な仕様

システム																			
製品名	FUJIFILM X-A7																		
製品型番	FF190001																		
有効画素数 (3:2)	約 2424 万画素																		
撮像素子	23.5mm × 15.7mm (APS-C サイズ)、正 方 画 素 CMOS、原色フィルター採用																		
記録メディア	SD/SDHC/SDXC メモリーカード (弊社推奨品)																		
メモリーカードスロット	SD カード × 1 (UHS-I 対応)																		
記録方式	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静止画: DCF 準拠 ・ 圧縮: Exif Ver.2.3 JPEG 準拠 / DPOF 対応 ・ 非圧縮: RAW (RAF 独自フォーマット、専用のソフトウェアが必要)、RAW+JPEG 記録あり ・ 動画: H.264 規格準拠 (MPEG-4)、ステレオ音声付き 																		
記録画素数	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>L 4:3 (5328×4000)</td> <td>L 3:2 (6000×4000)</td> </tr> <tr> <td>M 4:3 (3712×2784)</td> <td>M 3:2 (4240×2832)</td> </tr> <tr> <td>S 4:3 (2656×1992)</td> <td>S 3:2 (3008×2000)</td> </tr> <tr> <td>L 16:9 (6000×3376)</td> <td>L 1:1 (4000×4000)</td> </tr> <tr> <td>M 16:9 (4240×2384)</td> <td>M 1:1 (2832×2832)</td> </tr> <tr> <td>S 16:9 (3008×1688)</td> <td>S 1:1 (2000×2000)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">RAW (6000×4000)</td> </tr> <tr> <td>L パノラマ縦 (2160×9600)</td> <td>L パノラマ横 (9600×1440)</td> </tr> <tr> <td>M パノラマ縦 (2160×6400)</td> <td>M パノラマ横 (6400×1440)</td> </tr> </tbody> </table>	L 4:3 (5328×4000)	L 3:2 (6000×4000)	M 4:3 (3712×2784)	M 3:2 (4240×2832)	S 4:3 (2656×1992)	S 3:2 (3008×2000)	L 16:9 (6000×3376)	L 1:1 (4000×4000)	M 16:9 (4240×2384)	M 1:1 (2832×2832)	S 16:9 (3008×1688)	S 1:1 (2000×2000)	RAW (6000×4000)		L パノラマ縦 (2160×9600)	L パノラマ横 (9600×1440)	M パノラマ縦 (2160×6400)	M パノラマ横 (6400×1440)
L 4:3 (5328×4000)	L 3:2 (6000×4000)																		
M 4:3 (3712×2784)	M 3:2 (4240×2832)																		
S 4:3 (2656×1992)	S 3:2 (3008×2000)																		
L 16:9 (6000×3376)	L 1:1 (4000×4000)																		
M 16:9 (4240×2384)	M 1:1 (2832×2832)																		
S 16:9 (3008×1688)	S 1:1 (2000×2000)																		
RAW (6000×4000)																			
L パノラマ縦 (2160×9600)	L パノラマ横 (9600×1440)																		
M パノラマ縦 (2160×6400)	M パノラマ横 (6400×1440)																		
レンズマウント	FUJIFILM X マウント																		
撮影感度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静止画: ISO 200 ~ 12800 (1/3 段ステップ)、AUTO ISO 100、25600、51200 は拡張モード ・ 動画: ISO 400 ~ 6400 (1/3 段ステップ)、AUTO 																		
測光方式	<ul style="list-style-type: none"> ・ TTL256分割測光 ・ マルチ、スポット、アベレージ 																		
露出制御	プログラム (プログラムシフト可能)、シャッター優先、絞り優先、マニュアル																		
露出補正	<ul style="list-style-type: none"> ・ 静止画: -5EV ~ +5EV (1/3 段ステップ) ・ 動画: -2EV ~ +2EV (1/3 段ステップ) 																		

システム			
シャッタースピード	<ul style="list-style-type: none"> ● メカニカルシャッター <ul style="list-style-type: none"> - Pモード時：4秒～$1/4000$秒 - Pモード以外：30秒～$1/4000$秒 - バルブ：最長60分 ● 電子シャッター <ul style="list-style-type: none"> - Pモード時：4秒～$1/32000$秒 - Pモード以外：30秒～$1/32000$秒 ● メカニカル+電子 <ul style="list-style-type: none"> - Pモード時：4秒～$1/32000$秒 - Pモード以外：30秒～$1/32000$秒 - バルブ：最長60分 		
連写 (16:9)	連写 モード	選択可能な連写速度(コマ/秒 [fps]) JPEG	連続記録枚数
		6.0	約10コマ
		3.0	約50コマ
 <ul style="list-style-type: none"> ● ご使用のメモリーカードによって異なります。 ● 連写速度は、撮影環境や連続撮影枚数によって変わります。 			
フォーカス	<ul style="list-style-type: none"> ● モード：シングルAF、コンティニュアスAF、マニュアルフォーカス（リング回転式）、AF+MF ● AF方式：インテリジェントハイブリッドAF（TTLコントラストAF+位相差AF）、AF補助光付き ● AFフレーム選択：シングルポイント、ゾーン、ワイド/トラッキング 		
ホワイトバランス	AUTO、カスタム、色温度（ケルビン値）設定、晴れ、日陰、蛍光灯1、蛍光灯2、蛍光灯3、電球、水中		
セルフタイマー	OFF、2秒、10秒、フェイスオートシャッター、スマイル、カップル、グループ		
フラッシュ	<ul style="list-style-type: none"> ● 方式：手動ポップアップ方式 ● ガイドナンバー：約5.7（ISO200・m）/約4（ISO100・m） 		
フラッシュ発光モード	<ul style="list-style-type: none"> ● 赤目補正 OFF時：AUTO、強制発光、発光禁止、スローシンクロ、後幕シンクロ、コマンドー ● 赤目補正 ON時：赤目軽減 AUTO、赤目軽減+強制発光、発光禁止、赤目軽減+スローシンクロ、赤目軽減+後幕シンクロ、コマンドー 		
ホットシュー	あり（TTLフラッシュ対応）		
シンクロ接点	X接点、同調シャッタースピード $1/180$ 秒以下		

システム																																			
シンクローターミナル	なし																																		
ファインダー (EVF)	なし																																		
液晶モニター (LCD)	タッチパネル付き 3.5 型カラー液晶モニター、 約 276 万ドット、パリアングル式																																		
動画	<ul style="list-style-type: none"> ステレオ音声付き <table border="1"> <tbody> <tr> <td> 29.97P</td> <td> 59.94P</td> <td> 59.94P</td> </tr> <tr> <td> 25P</td> <td> 50P</td> <td> 50P</td> </tr> <tr> <td> 24P</td> <td> 29.97P</td> <td> 29.97P</td> </tr> <tr> <td> 23.98P</td> <td> 25P</td> <td> 25P</td> </tr> <tr> <td></td> <td> 24P</td> <td> 24P</td> </tr> <tr> <td></td> <td> 23.98P</td> <td> 23.98P</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <tbody> <tr> <td> 59.94P</td> <td> 59.94P</td> </tr> <tr> <td> 50P</td> <td> 50P</td> </tr> <tr> <td> 29.97P</td> <td> 29.97P</td> </tr> <tr> <td> 25P</td> <td> 25P</td> </tr> <tr> <td> 24P</td> <td> 24P</td> </tr> <tr> <td> 23.98P</td> <td> 23.98P</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> 音声なし HD ハイスピード動画 <table border="1"> <tbody> <tr> <td>1.6 × 59.94P </td> </tr> <tr> <td>2 × 50P </td> </tr> <tr> <td>3.3 × 29.97P </td> </tr> <tr> <td>4 × 25P </td> </tr> </tbody> </table> 	29.97P	59.94P	59.94P	25P	50P	50P	24P	29.97P	29.97P	23.98P	25P	25P		24P	24P		23.98P	23.98P	59.94P	59.94P	50P	50P	29.97P	29.97P	25P	25P	24P	24P	23.98P	23.98P	1.6 × 59.94P	2 × 50P	3.3 × 29.97P	4 × 25P
29.97P	59.94P	59.94P																																	
25P	50P	50P																																	
24P	29.97P	29.97P																																	
23.98P	25P	25P																																	
	24P	24P																																	
	23.98P	23.98P																																	
59.94P	59.94P																																		
50P	50P																																		
29.97P	29.97P																																		
25P	25P																																		
24P	24P																																		
23.98P	23.98P																																		
1.6 × 59.94P																																			
2 × 50P																																			
3.3 × 29.97P																																			
4 × 25P																																			

入出力端子	
デジタル入出力	USB 端子 (Type C) USB2.0 High-Speed
HDMI 出力	HDMI マイクロ端子 (Type D)
リモートレリーズ端子	φ 2.5 mm 3 極ミニジャック

電源部、その他	
電源	充電式バッテリー NP-W126S (付属)
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行)	119.0mm × 67.7mm × 41.2 (34.05*) mm * 突起部含まず、奥行きは最薄部表記
撮影時質量	約 320g (付属バッテリー、メモリーカード含む)
本体質量	約 271g (付属バッテリー、メモリーカード含まず)
動作環境	<ul style="list-style-type: none"> 温度：0℃～+40℃ 湿度：10%～80% (結露しないこと)

電源部、その他

バッテリー作動可能枚数 / 時間の目安

- バッテリー：NP-W126S
- レンズ：XF35mmF1.4 R 使用
- 撮影モード：Pモード

静止画撮影枚数

スタンダードモード

約 270 枚

エコノミーモード

約 440 枚

1回の充電で撮影できる合計動画時間

画質

実撮影電池寿命

連続撮影電池寿命

4K

約 55 分

約 80 分

FHD

約 70 分

約 110 分

CIPA 規格による。バッテリーは付属のもの、記録メディアは SD メモリーカードを使用し測定。

- 注意：バッテリーの充電容量により撮影可能枚数や時間の変動があるため、ここに示すバッテリー作動可能枚数や時間を保証するものではありません。低温時では、バッテリー作動可能枚数は少なくなり、時間は短くなります。

ワイヤレス通信

無線 LAN (Wi-Fi)

準拠規格

IEEE802.11b/g/n (無線 LAN 標準プロトコル)

使用周波数範囲
(中心周波数)

- 日本、中国：2412MHz～2472MHz (13ch)
- 上記以外の国：2412MHz～2462MHz (11ch)

アクセス方式

インフラストラクチャーモード

Bluetooth®

準拠規格

Bluetooth Ver.4.2 (Bluetooth low energy)

使用周波数範囲
(中心周波数)

2402MHz～2480MHz

バッテリー NP-W126S

公称電圧	7.2V
公称容量	1260mAh
使用温度	0℃～+ 40℃
本体外形寸法 (幅×高さ×奥行き)	36.4mm × 47.1mm × 15.7mm
質量	約 47g

※質量・外形寸法は、仕向け国によって異なります。

! 仕様、性能は、予告なく変更することがありますのでご了承ください。使用説明書における記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。説明中の表記は、カメラ本体の表示と異なる場合があります。

索引

【数字】

1 コマ / 連続、114
4K 映像出力先、127

【A ~ Z】

A (絞り優先)、50

Adv. (アドバンストフィルター)、60

AE/AF ロック、74

AE ブラケティング、84

AE ブラケティング設定、114

AF+MF、106

AF (オートフォーカス)、62

AF 警告、7

AF 合焦音量、156

AF 補助光、104

AF モード、65, 103

AF ロック、74

AUTO 設定、119

B (バルブ撮影)、53

Bluetooth 設定、169

DISP/BACK (表示 / 戻る) ボタン、11, 131

DPOF 指定、148

DRIVE ボタン、5

FUJIFILM Camera Remote、30, 122, 145,
170, 190, 202

FUJIFILM PC AutoSave、147, 192, 202

FUJIFILM instax SHARE、149, 171, 197,
201

HDMI、127, 128, 188

HDMI ケーブル、188

HDMI 出力情報表示、127

HDMI レックコントロール、128

HD ハイスピード撮影、125

instax プリンター接続設定、171, 197

instax プリンタープリント、149, 198

ISO 感度、118

ISO ブラケティング、84

LCD (液晶モニター)、7, 8

LCD 明るさ、11, 158

LCD 鮮やかさ、11, 158

MENU/OK ボタン、14, 92, 135, 152

MF アシスト、106

M マウントアダプター、120

M (マニュアル)、51

M (マニュアルフォーカス)、71

P (プログラム)、47

PC 保存、147, 170

Q (クイックメニュー) ボタン、175

RAW FILE CONVERTER EX、202

RAW 画像、93

RAW 現像、135

SD/SDHC/SDXC メモリーカード、25

S (シャッタースピード優先)、48

SP (シーンポジション)、57

T (タイム撮影)、49

USB 画像転送設定、171

USB ケーブル、26, 193

WB シフト、75, 97

Wi-Fi (無線 LAN)、190

【あ】

赤目補正、89, 123, 143
アドバンスト SR オート、46
アドバンストフィルター、60, 109
後幕シンクロ、88
アドレス、172
アフターサービス (修理)、245
アベレージ (測光)、116
位置情報、122, 170
色温度、78, 99
色空間、101, 136
色シェーディング補正、121
インジケーターランプ、7
インターバルタイマー撮影、111
液晶モニター (LCD)、7
エリア選択 (AF モード)、16
エリア選択 (動画 AF モード)、126
オート (ISO)、119
オートエリア (動画 AF モード)、126
オートパワーオフ (自動電源 OFF)、166
オートフォーカス (AF) 撮影、62
オート (フラッシュモード)、88
オール (AF モード)、65, 66, 103
お手入れについて、217
音設定 (セットアップメニュー)、156
オプション品 (別売アクセサリー)、200

【か】

海外で使うとき、211
外部マイク、40, 128
カウントダウン動画、125
顔検出 / 瞳 AF 設定、105
拡大表示、70, 72
画質設定 (撮影メニュー)、92
画質モード、93
カスタムホワイトバランス、77, 98
画像回転、142
画像サイズ、92
画像転送予約、144
画面のカスタマイズ、12, 161
カラー、100
感度 AUTO 設定、119
感度 (ISO 感度)、118
感度 (動画)、127
基本設定 (セットアップメニュー)、152
強制発光、88
共通設定、172
距離指標、72, 160
距離指標の単位、160
記録画素数、234
クイックメニュー (Q メニュー) ボタン、
163, 175, 177
クイックメニュー (Q メニュー) 登録 / 編集、
163, 177
クイックメニュー (Q メニュー) 割り当て変
更、177
クリップオンフラッシュ、201
減感 (増感 / 減感)、136
言語、32, 154
交換レンズ、21, 182
工場出荷時 (リセット)、155
合焦マーク、64

- コマ NO. (コマナンバー)、167
- コマ数、114
- コマ数 / ステップ数設定、114
- コマンダー、88
- コマンドダイヤル、6
- コンティニュアス AF、63, 102, 126
- [さ]**
- 再生音量、157
- 再生時の表示画面、130
- 再生ズーム、134
- 再生方法、133
- 再生メニュー、vi, 135
- 最長露光時間設定、116
- 撮影画像表示、158
- 撮影時のタッチ操作について、15
- 撮影時の表示画面、8
- 撮影順序設定、114
- 撮影設定 (撮影メニュー)、108
- 撮影メニュー、iv, 91
- 撮影モード、4, 46
- シーン選択、108
- シーンポジション (**SP**)、57
- 自動電源 OFF (オートパワーオフ)、166
- 自分撮り、90
- 絞り優先 (**A**) 撮影、50
- シャープネス、100
- シャッター音、157
- シャッター音量、157
- シャッタースピード、235
- シャッタースピード優先 (**S**) 撮影、48
- シャッター方式、117
- シャドウトーン、100
- 周辺光量補正、121
- 消去、37, 137
- 消費電力設定 (セットアップメニュー)、166
- 情報表示、172
- 情報表示の切り替え、11, 131
- ショートカット機能、174
- 初期設定、30
- 処理前画像記録、168
- シングル AF、63, 102, 126
- シングルポイント (AF モード)、65, 66, 103
- スタンダード画面、12
- ズームリング、35
- ステップ数、114
- ストラップ、20
- スポット (測光)、116
- スマートフォン、145, 191
- スライドショー、145
- スローシンクロナイズ、88
- 静止画 (再生)、36
- 静止画 (プログラム撮影)、47
- 世界時計、153
- 接続設定 (セットアップメニュー)、169
- セットアップメニュー、vii, 151
- セルフイー、90
- セルフタイマー、79, 110
- セルフタイマー音量、156
- センサークリーニング、154, 217
- 操作音量、156
- 増感 (増感 / 減感)、136
- 操作ボタン設定 (セットアップメニュー)、162
- ゾーン (AF モード)、65, 66, 103
- 測光、116
- 測光 & フォーカスエリア連動、107

【た】

ダイナミックレンジ、96
ダイナミックレンジブラケティング、85
タイム撮影 (T)、49
タイムラプス動画モード、113
多重露出撮影、59
タッチズーム、17, 122
タッチ操作、15, 107, 165
タッチパネル設定、165
タッチパネルモード、15, 107
縦横自動回転再生、160
ダブルタップ拡大、165
長秒時ノイズ低減、101
デジカメプリント、148
手ブレ、34, 185
テレビ接続 (HDMI 出力)、188
電源、28
電子音 & フラッシュ、154
電子式手ブレ補正、126
電子シャッター (シャッター方式)、117
電子水準器、13
動画 AF モード、126
動画再生、43
動画撮影、40
動画設定、42
動画設定 (撮影メニュー)、124
動画モード、124
トリミング、139

【な】

長押し (DISP/BACK ボタン)、11, 158
長押し (フォーカスレバー中央)、162
ナチュラルライブビュー、159
日時設定 / 日時変更、32, 153
ノイズリダクション、101

【は】

ハイライトトーン、100
パソコン接続、193
発光禁止、88
バッテリー、22, 26, 29
パノラマ、54
パフォーマンス、166
バルブ撮影 (B)、53
被写界深度確認、50
ヒストグラム表示、13
日付書き込み、168
美肌レベル、95
表示設定 (セットアップメニュー)、158
表示比率、150
標準撮影枚数 / 記録時間、233
ピントの確認、72
ファームウェアバージョン、219
ファイル名編集、168
ファンクション (Fn) 設定、164, 178, 179
ファンクションボタン、178
フィルムシミュレーション、94
フィルムシミュレーション BKT、84, 115
フォーカス位置拡大、106
フォーカスエリア、67, 69, 102
フォーカスエリア選択、102
フォーカス設定 (撮影メニュー)、102
フォーカスチェック、107
フォーカス点数切り替え、104
フォーカスピーキング、72, 106
フォーカスモード、63, 102
フォーカスモード (動画)、126
フォーカスリング、165
フォーカスレバー、5
フォーカスレバー設定、162
フォーマット (初期化)、152
フォトブックアシスト、146

付属品、xvi

ブライトモード、95

ブラケティング撮影、83

フラッシュ、88, 123

フラッシュ設定 (撮影メニュー)、123

フラッシュ調光補正、123

フラッシュモード、88, 123

プリ AF、104

プリント予約 (DPOF)、148

フレーミングガイド、160

プレゼントアイコン、36

ブレ防止モード、118

プログラム (P) 撮影、47

プログラムシフト、47

プロテクト、141

ペアリング、30, 169, 191

別売アクセサリ、200

保存設定 (セットアップメニュー)、167

ホワイトバランス、75, 97

ホワイトバランスブラケティング、84

【ま】

マイク/リモートレリーズ設定、49, 53, 128

マイクレベル設定、128

マウントアダプター設定、120

マニュアル (M) 撮影、51

マニュアル時モニター露出/WB 反映、159

マニュアルフォーカス、63, 102, 126

マニュアルフォーカス (M)、71

マルチ (測光)、116

マルチ再生、134

無線通信、190

銘板プレート、3

メカニカルシャッター (シャッター方式)、117

メモリーカード、22

【ら】

ライトレイル撮影設定、116

リサイズ、140

リセット、155

リモートレリーズ、49, 53

レリーズ操作、116

レリーズ優先/フォーカス優先、107

連写 (連続撮影)、86

レンズ (取付)、21

レンズ (交換レンズ)、182

レンズキャップ、183

レンズフード、184

レンズなしレリーズ、165

露出補正、73

【わ】

歪曲収差補正、120

ワイド/トラッキング (AF モード)、65, 66, 103

ワイヤレス設定初期化、172

ワイヤレス通信、122, 145

ソフトウェアのお問い合わせ

以下の手順でお問い合わせください。

1 お問い合わせの前にお確かめください。

ソフトウェアのインストールや使い方は使用説明書（本書）やソフトウェアのヘルプから調べることができます。

2 富士フイルム製品 Q&A・お問い合わせをご覧ください。

<http://fujifilm.jp/sd/> をご覧ください。

3 巻末のお問い合わせ先に FAX、電話でお問い合わせください。

より早く正確な回答のために、下記の情報をご用意ください。

- カメラの機種名
- ソフトウェアのバージョン
- エラーメッセージ
- どのようなときにトラブルが発生しますか？
トラブルが発生する直前の操作は？
カメラの状態は？
トラブルが発生する頻度は？
- ご使用の PC 機種名、OS バージョン、他の接続機器名

ご質問によっては回答するまでに時間を要する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

アフターサービスについて

保証書

- 保証書はお買上げ店に所定事項を記入していただき、大切に保存してください。
- 保証期間中は、保証書の記載内容に基づいて無償修理をさせていただきます。保証規定に基づく修理をご依頼になる場合には、必ず保証書を添付してください。なお、お買上げ店または修理サービスセンターにお届けいただく際の運賃などの諸費用は、お客様にてご負担願います。

修理

■ 調子が悪いときはまずチェックを

本書の「困ったときは」をご覧ください。使い方の問題か、故障が迷うときは、富士フィルムデジタルカメラサポートセンターへお問い合わせください。電話番号が巻末に記載されています。

■ 故障と思われるときは

富士フィルム修理サービスセンターまたは当社サービスステーションに修理をご依頼ください。富士フィルム修理サービスセンター、サービスステーションのご案内が巻末にあります。

■ 修理ご依頼に際してのご注意

- 本書巻末にある「修理依頼票」をコピーしていただき、必要事項をご記入の上、製品に添付してください。「修理依頼票」は、故障箇所を正確に把握し、迅速な修理を行うための貴重な資料になります。
- 修理料金の見積をご希望の場合には、「修理依頼票」の「見積」欄にご記入ください。ご指定のないときは、修理を進めさせていただきます。なお、見積は有料となります。
- 落下・衝撃、砂・泥かぶり、冠水・浸水などにより、修理をしても機能の維持が困難な場合には、修理をお断りする場合があります。

■ 修理部品について

- 本製品の補修用部品は、製造打ち切り後7年を目安に保有しておりますので、この期間中は原則として修理をお引き受けいたします。ただしこの期間中であっても、部品都合等により、同等の製品に交換させていただく場合もあります。その場合、旧機種でご使用の消耗品や付属品をご使用いただけないことや、対応OSが変更になることがあります。
- 本製品の修理の際には、環境に配慮し再生部品や再生部品を含むユニットと交換させていただく場合があります。交換した部品およびユニットは回収いたします。交換部品が必要な場合には、修理をご依頼されるときにその旨をお伝えください。

個人情報の取扱について

当社は、お客様の住所・氏名・電話番号等の個人情報を大切に保護するため、個人情報保護に関する法令を遵守するとともに、電話問い合わせ時あるいは修理依頼時にご提供いただいたお客様の個人情報を次のように取扱います。

1. お客様の個人情報は、お客様のお問い合わせに対する当社からの回答、修理サービスの提供およびその後のユーザーサポートの目的にのみ利用いたします。
2. 弊社指定の宅配業者、修理業務担当会社、その他の協力会社に当社が作業を委託する場合、委託作業実施のために必要な範囲内でお客様の個人情報を開示することがございます。開示にあたりましては、盗難・漏洩等の事故を防止し、また当社より委託した作業以外の目的に使用しないよう、適切な監督を行います。
3. ご提供いただいたお客様の個人情報に関するお問い合わせ等は、富士フィルムデジタルカメラサポートセンター等のお問合せ先、富士フィルム修理サービスセンターあるいは修理依頼先サービスステーション宛にお願いいたします。

- 本製品に関するお問い合わせは… ※あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

富士フイルムデジタルカメラサポートセンター

月曜日～金曜日 9:30～17:30 / 土曜日、日曜日、祝日 10:00～17:00 (年末年始を除く)

TEL 050-3786-1060 ご利用いただけない場合は 0228-30-2992

FAX 050-3786-2060 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

- 本製品の関連情報は… ※弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> の自己解決に役立つ「Q&A 検索」もご利用ください。

■ 修理サービスQ&A

修理依頼方法、紛失した付属品の購入方法など修理に関するよくある質問と回答をまとめて掲載しています。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/index.html>

■ 修理料金のご案内

当社サービスステーションに直接修理依頼された場合の目安の修理料金を確認できます。

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/estimate/index.html>

- 修理の受付は… ※詳細は本文中の「アフターサービスについて」をご覧ください。また、あらかじめ「アフターサービスについて」の項の「個人情報の取扱について」をご確認ください。

■ 修理のご相談受付窓口 富士フイルム修理サービスセンター

月曜日～金曜日 9:30～17:30 / 土曜日 10:00～17:00 (年末年始を除く)

TEL 050-3786-1040

FAX 050-3786-2040 受付時間：24時間 (返信対応は電話の受付時間と同一です)

■ 修理品ご送付受付窓口 富士フイルム修理サービスセンター

〒989-5501 宮城県栗原市若柳字川北中文字95-1 / TEL: 050-3786-1040

▶ 全国どこからでも【引き取り修理サービス】

引き取りからお届けまでお任せ修理

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/quick/index.html>

▶ お近くのサービスステーション【サービスステーション一覧】

<http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/repairservice/servicestation/index.html>

サービスステーションにつきましては、弊社ホームページ <http://fujifilm.jp/> または上記の「修理ご相談受付窓口」にてご確認ください。

- 本製品以外の富士フイルム製品のお問い合わせは…

お客様コミュニケーションセンター TEL 050-3786-1711

(月曜日～金曜日 9:30～17:30 ※土・日・祝日・年末年始を除く)

※各窓口の受付時間、サービス内容は予告なく変更する場合があります。最新の情報は弊社ホームページでご確認ください。

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

http://www.fujifilm.com/products/digital_cameras/index.html

